

みんなのちからで  
みんなが笑顔！

# 地区別計画

わたしたちの  
地区が目指す  
健康福祉のまち

課題の発見  
解決方法  
今後の活動

地区毎の  
実情に応じた  
行動計画

平成18年3月

柏市地域健康福祉活動計画  
柏市地域健康福祉計画

# 目 次

## 第1章 計画の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

### 1 地域健康福祉活動計画（民間計画）とは

- (1) なぜこの計画をつくるの？
- (2) 計画の期間は？
- (3) 計画の構成は？
- (4) 計画の目標と取り組みは？

### 2 地区別計画とは

- (1) 地区別計画のねらいは？
- (2) 地域健康福祉計画（行政計画）との関係は？

## 第2章 先行的取り組みとアンケートの実施・・・・・・・・ 3

### 1 平成15～16年度モデル地区の取り組み

- (1) 平成15～16年度モデル地区とは？
- (2) 平成15～16年度モデル地区活動の特徴は？  
※西原・南部地区の実績

### 2 地域福祉関係者アンケートの実施

## 第3章 地域における健康福祉のまちづくり・・・・・・・・ 7

### 1 地区計画はどのようにとりまとめられたの？

### 2 地域をとりまく状況は？

- (1) どのように変化していますか？
- (2) どんな健康福祉活動が行われていますか？
- (3) これから求められていることは？

### 3 地域におけるまちづくりのすがたは？

- (1) 懇談会ではどんな話し合いがされたのですか？
- (2) これからの地域における健康福祉活動は？

## 第4章 今後の取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

### 1 地区別計画にそった健康福祉活動の展開

### 2 地区懇談会の継続

### 3 活動マップの更新

## 第5章 地区別計画（24地区別計画）

# 第1章 計画の概要

## 1 地域健康福祉活動計画（民間計画）とは

**(1) なぜこの計画をつくるの？**  
 みんなで「助けあい」や「支えあい」のしくみをつくって、誰も安心して暮らせる地域にするためにこの計画をつくります。

地域が変化している⇒少子高齢化・地域環境の変化

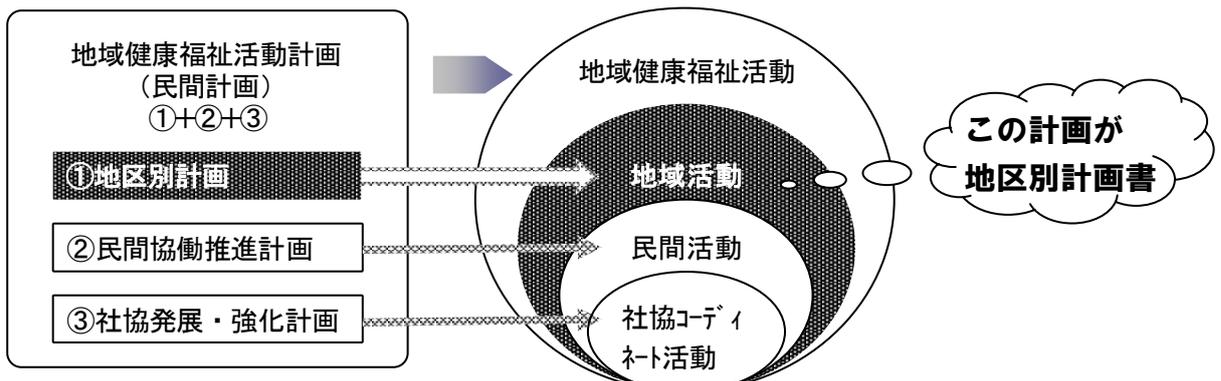
そこで、地域みんなのパワーをつなぐことが必要！

そして、みんなの協働で地域の健康福祉活動を推進！⇒実現するための計画づくり

**(2) 計画の期間は？**  
 平成18年度から20年度までの3年間です。

	14	15	16	17	18	19	20	21	22
地域健康福祉活動計画(民間計画)					策定期間	見直し期間	3ヵ年計画	新5ヵ年計画	

**(3) 計画の構成は？**  
 地区別計画、民間協働推進計画、社協発展・強化計画の3つで構成されています。

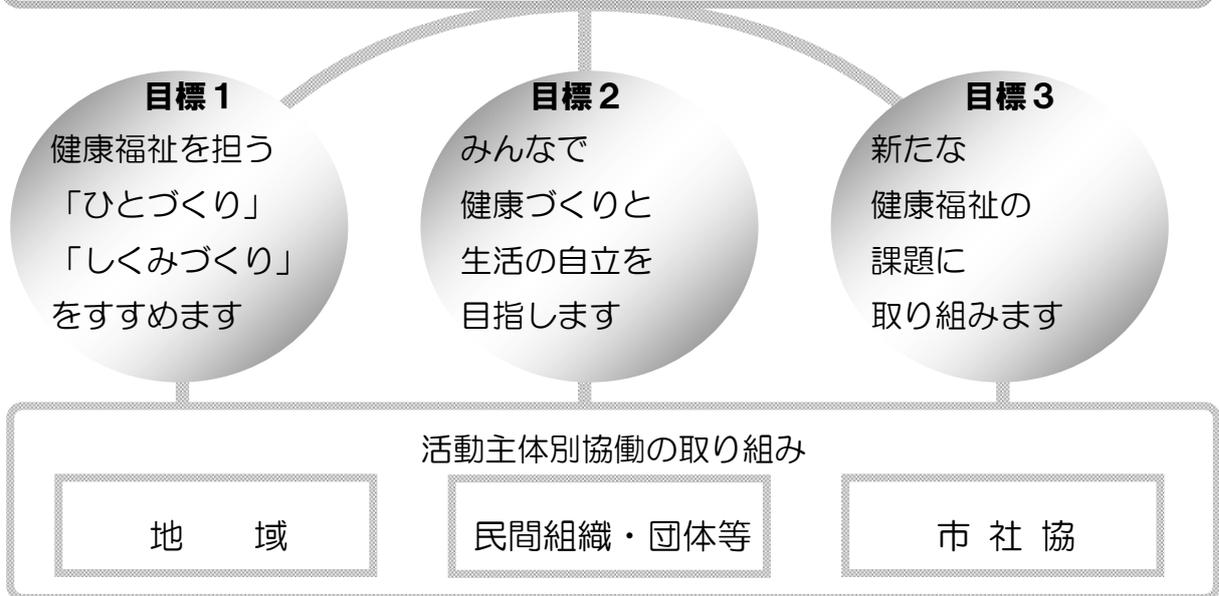


**(4) 計画の目標と取り組みは？**

地域（地区別計画）と民間活動（民間協働推進計画）は、独自の活動と協働の方向を探り、市社協がこれを支援します。

**望ましい地域健康福祉像**

「だれもが、その人らしく、住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまち 柏」



**2 地区別計画とは**

**(1) 地区別計画のねらいは？**

これから地域で「どんな健康福祉活動を行っていくか」を示します。

今後の健康福祉において最も重要なものは、「身近な地域における健康福祉のまちづくり」です。そこで、24の地区社協を中心に、あらゆる地域の方々とともに、懇談会を通じながら、「地域ができる今後の健康福祉活動は何か？」を示したのが地区別計画です。

**(2) 地域健康福祉計画（行政計画）との関係は？**

民間計画と行政計画の共有計画として位置づけています。

民間と行政の2つの計画は、地域における健康福祉をすすめる車の両輪であり、地区別計画は2つの計画の共有の位置づけです。



## 第2章 先行的取り組みとアンケートの実施

### 1 平成15～16年度モデル地区の取り組み

#### (1) 平成15～16年度モデル地区とは？

地区別計画づくりに向けて、西原と南部がモデル地区としてさまざまな健康福祉活動を実践し、他の地区の先行事例となりました。

##### 懇談会の実施

期間中に数回実施され、「課題の集約や情報交流」の場となりました

##### 町会・自治会単位の身近な助けあい支えあい活動の広がり

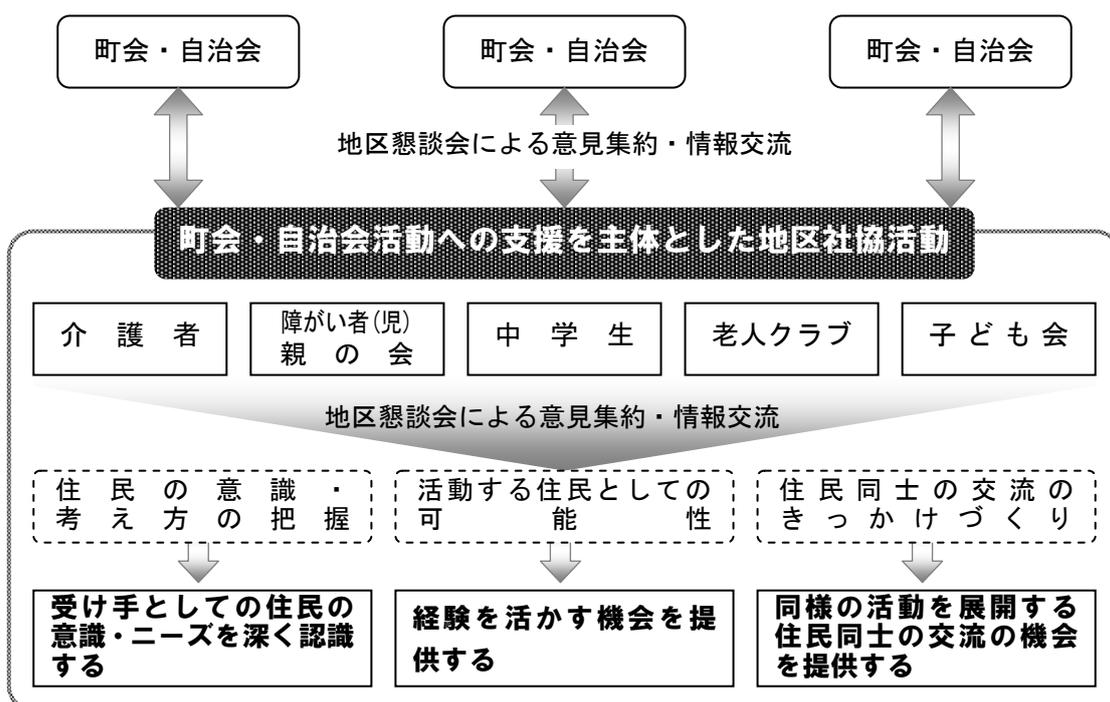
懇談会での話し合いから、地域に根づいた町会・自治会単位の活動が広がりました

##### 地域住民ヒアリングの実施

地域活動への新たな理解者や参加者が増え、市民各層の知恵や工夫による活動へとつながりました

#### (2) 平成15～16年度モデル地区の特徴は？

地区懇談会による意見集約と情報交流を通じ、町会・自治会活動への支援を主体とした地区社協活動です。



## 西原地区の取り組み

### ふれあい研修会の開催

モデル期間中3回の懇談会を実施。身近な地域での助けあい支えあいの必要性を話し合いました。



ふれあい研修会

### 身近な地域で子育て支援活動

就学前の親子が仲間づくりやふれあいが、より身近な地域の中で展開されています。



ぴよぴよくらぶ

### 町会単位の活動の広がり

身近な町会単位での健康福祉活動が展開されてきています。

- ◇町会単位の世代間交流
- ◇町会単位で高齢者のふれあいの場づくり
- ◇町会単位の健康福祉活動



グリーンピース（十余二緑町町会）

### 地域住民ヒアリングの実施

中学生、子ども会、老人クラブ、障がい者（児）、介護者の方々から、安全・安心・快適な「まちづくり」についての意見をいただきました。



お茶飲み会（西原第四町会）

### 今後の活動に向けて

安全・安心・快適なまちづくりの推進  
連携・協働の強化

- ◇高齢者や障がい者（児）の方々にとって参加しやすい環境づくり
- ◇防災マップの作成と個人情報保護の問題への取り組み
- ◇地域のボランティアの育成
- ◇町会・自治会との一層の協力
- ◇活動の積極的なPR
- ◇子育てサロン、訪問ボランティアの立ち上げ



## 南部地区の取り組み

モデル  
実績

### 地区懇談会の開催

モデル期間中5回の懇談会を開催。話し合いや事例発表を通じて、「町会単位の健康福祉活動」を推進しました。



地区懇談会

### 町会単位の支えあい活動

身近な町会単位での健康福祉活動が展開されてきています。

- わらびヶ丘町会・・・ふれあいサロン
- 小 新 山 町 会・・・日常生活支援、防犯
- 逆 井 町 会・・・ふれあいサロン、防犯
- 新 栄 町 町 会・・・送迎、軽作業、日常生活支援  
ふれあい喫茶
- 協 栄 町 会・・・声かけ、見守り
- 新 並 木 町 会・・・世代間交流



敬老事業（新並木町会）

### 地区社協の新しい支えあい活動

これまでの既存活動にくわえて、新しい支えあい活動が生まれました。

- ◇みんなの喫茶
- ◇障害者自立支援施設デイサービスたいようとの協働
- ◇地区ヒアリング



ふれあい喫茶「陽だまり」（新栄町会）

### 今後の活動に向けて

「やっぱり住んでて良かった南部地区に！！」

- ◇全町会・自治会での支えあい活動の推進
- ◇地区、町会・自治会単位での福祉懇談会の継続
- ◇地区ボランティアネットワークの拡大・充実



みんなの広場



みんなの喫茶

## 2 地域福祉関係者アンケートの実施

### 地域福祉関係者アンケートとは？

地区計画の策定に向けて各地社協（旧柏市19地区）の運営委員を対象に実施した「地域健康福祉」のアンケートです。

**調査実施時期** 平成17年2月～3月

#### 調査回収状況

【調査方法】各地区社協運営委員を対象。各地区社協単位で配布回収。

【協力依頼数】 842人 【有効回収数】 486人 【有効回収率】 57.7%

- ①回答者の平均年齢は、61.6歳で、性別は男性36.8%、女性61.9%。
- ②健康福祉活動年数は、「3～5年未満」と「5～10年未満」の方が約40%を占めています。
- ③現在取り組んでいる主な活動
 

高齢者福祉（見守りや定期訪問、健康づくりなど）	61.5%
-------------------------	-------
- ④今後重視すべきと思う活動
 

防犯、防災対策（巡回パトロール、情報提供など）	37.0%
-------------------------	-------
- ⑤地域住民からの相談方法
 

本人や関係者からの電話	47.9%
-------------	-------
- ⑥連携している団体
 

町会・自治会	60.5%
--------	-------
- ⑦今後連携を深めたい団体
 

町会・自治会	52.7%
--------	-------
- ⑧地域で支えあうしくみづくりをするために必要と思われること
 

地域の方々が知り合う機会や活動する場所を確保する	62.8%
--------------------------	-------
- ⑨健康福祉を推進するため、地域住民が取り組むべき課題
 

地域での支えあいによる高齢者の支援	58.4%
-------------------	-------
- ⑩健康福祉を推進するため、組織が取り組むべき課題
 

地域の人材（地域ボランティア等）を育てる	60.3%
----------------------	-------
- ⑪健康福祉を推進する地域の人材を増やすために必要なこと
 

催し物等を通じて、地域健康福祉への協力を呼びかける	60.3%
---------------------------	-------
- ⑫地区社協の活動を充実していくために必要なこと
 

地域住民の方に活動内容を積極的にアピールしていく	66.9%
--------------------------	-------
- ⑬市社協や行政に対する要望や期待
 

高齢者福祉（見守りや定期訪問、健康づくりなど）	61.5%
-------------------------	-------

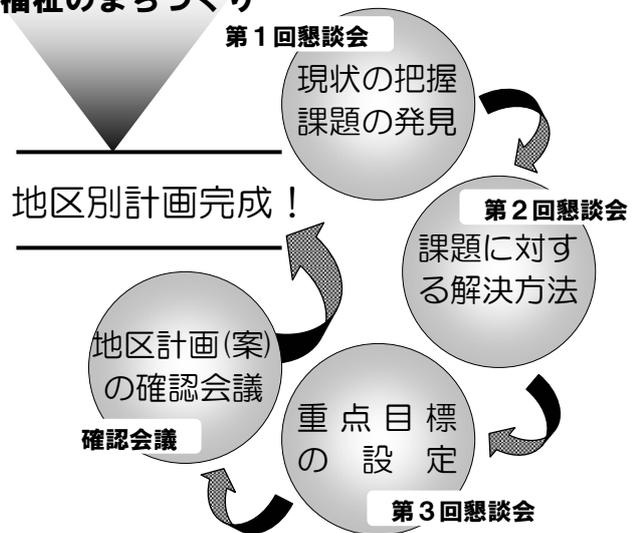
## 第3章 地域における健康福祉のまちづくり

### 1 地区計画はどのようにとりまとめられたの？

全地区合わせて、合計98回、延べ2,272名の参画により、各地区で懇談会を積み重ねて出来ました。

地区計画の策定は、平成15～16年度モデル地区の実績や計画をもとに、他の22地区の計画づくりをしました。策定作業は、合計4回の懇談の場をつくり、懇談会には各地区社協を中心に、地区内の各種団体・組織など、あらゆる分野の方々が集い、市社協や行政も一緒になって計画づくりに参画しました。

#### 身近な地域における健康福祉のまちづくり



### 2 地域をとりまく状況は？

近年の急速な社会構造の変化により、地域における健康福祉活動は、地域、民間組織・団体等、行政、市社協が一体となって協働で取り組むことが必要になっていま

#### 助けあい支えあい活動の必要性

昭和期は交流活動が中心でしたが、少子高齢化・核家族化などにより、身近な地域での助けあい支えあい活動の必要性が生まれ、今日の活動につながっています。

#### これから求められていること

近年の社会構造の変化は、さまざまな影響を与えており、単に行政サービスや地域活動だけでは、支えきれない状況に直面しつつあります。そこで、地域、民間組織・団体等、行政、市社協が一体となって、協働で健康福祉活動に取り組むことが必要になっています。

# 3

## 地域におけるまちづくりのすがたは？

### 懇談会ではどんな話し合いがされたのですか？

地域の課題や理想の地域、これからの地域における健康福祉活動について話し合いました。

全98回、延べ2,272名が参画した懇談会では、さまざまな意見が交わされました。地域の課題や理想の地域、これからの活動について整理すると次のようになります。

### 地域の悩み・活動の課題

- ・ 町会未加入世帯の増加
- ・ 人材不足（若い世代、団塊の世代など）
- ・ 活動の場（拠点）の確保が難しい
- ・ 情報の収集、提供、共有の方法や場（機会）づくりが難しい
- ・ 活動資金、活動のマンネリ化 など



### みんなが願う理想の地域

- ・ あいさつを交わしあい、知らせあい、誘いあい、相談しあえる関係がある地域
- ・ 町会、自治会、区等の活動を理解し、向こう三軒両隣の付き合いがある地域
- ・ 子どもから、障がい者、(児)、高齢者まで、多くの人互いに「助けあい支えあう」地域



### これからの地域福祉活動

- ・ さまざまな場面で「ひとづくり」
- ・ 活動をすすめる「しくみづくり」
- ・ 世代を問わず地域のみんなで「交流」
- ・ 地域のみんなで楽しく「健康づくり」
- ・ 地域のみんなで「助けあい支えあい」
- ・ 万一にそなえて「防犯防災活動」
- ・ 新たなニーズから「活動づくり」



**これからの地域における健康福祉活動は？**

さまざまな“ひと”が集う“協働の場”（地区社協や地区懇談会など）から、地域の健康福祉活動を広く展開します。

計画の目標

地域における健康福祉活動

活動の具体例

**目標1**

健康福祉を担う「ひとづくり」「しくみづくり」をすすめます

**さまざまな場面で「ひとづくり」**

- ☆あいさつ・声かけ運動の展開
- ☆地域活動のPR

あいさつ通り、隣近所との声かけなど  
広報紙発行、さまざまな場面でのPR活動など

- ☆町会加入の促進
- ☆研修・講座の開催
- ☆リーダー・担い手の育成

転入世帯への町会加入の声かけなど  
ボランティア講座、地域活動の研修など  
さまざまな場面でリーダー・担い手の育成など

**活動をすすめる「しくみづくり」**

- ☆連携・情報（ニーズ）共有の場づくり
- ☆多くの人が地域活動に参画できるしくみづくり

地区懇談会をはじめ、連携・情報共有のできる場づくりなど  
だれもが参画していける環境づくりなど

**目標2**

みんなで健康づくりと生活の自立を目指します

**世代を問わず地域みんなで「交流」**

- ☆世代間交流の推進
- ☆身近な方々との交流
- ☆おせっ会・サロン活動の推進

世代を越えた活動の場づくり、世代間交流教室など  
あいさつ・声かけ運動、町会活動など  
町会単位のおせっ会・サロン活動、子育てサロンなど

**地域みんなで楽しく「健康づくり」**

- ☆健康づくり活動の推進
- ☆介護予防の推進

サロン（おせっ会）、健康体操教室など  
閉じこもり、認知症予防、低栄養予防活動、運動など

**地域みんなで「助けあい支えあい」**

- ☆見守り合う活動の推進
- ☆日常生活支援の推進

近隣同士の互いの見守り活動など  
子育て、障がい者（児）、高齢者支援など

**目標3**

新たな健康福祉の課題に取り組みます

**万々に備えて「防犯防災活動」**

- ☆子ども達と地域を守る防犯パトロールの推進
- ☆助けあい支えあいの中での防災活動の推進

多くの住民による防犯パトロールなど  
災害に備えた避難・安否確認体制づくりなど

**新たなニーズから「活動づくり」**

- ☆見守り、連携、情報共有からのニーズを「地域健康福祉活動」につなげる取り組み

地域の健康福祉課題を具体的な活動へ

地区社協や地区懇談会の場が

**地域の協働の場**（プラットフォーム）

地域にかかわるさまざまな個人や団体・組織など、みんなが一緒になって参画

## 第4章 今後の取り組み

### 1 地区別計画にそった健康福祉活動の展開

#### 地区別計画は、どのように取り組むの？

地区社協を中心に、計画に対する具体的な活動について話し合いながらすすめていきます。

具体的な活動にはさまざまなものが考えられます。

実践事例などの情報を共有しながら、話し合いの積み重ねで、活動を展開していきます。



### 2 地区懇談会の継続

#### 地区懇談会は継続していくのですか？

それぞれの地域の健康福祉課題を話し合える場として地区社協を中心に継続していきます。



計画策定に伴い実施した地区懇談会では、「このような話し合いの場を継続してほしい。」という声が多くあげられました。

そこで、地区懇談会は、今後の地区別計画を協働の中ですすめていくための場や地域の健康福祉課題を話し合える場として、地区社協を中心に継続していきます。

### 3 活動マップの更新

#### 活動マップの更新はどうするの？

地域活動の情報の一つとして、毎年更新します。

活動マップは毎年更新をしながら、地域活動に必要な情報源として活用していきます。



# 第5章 地区別計画（24地区別計画）

懇談会を通じて策定された各地区の計画です。  
これから各地区ですすめていく健康福祉活動です。

わたしたちの  
地区が目指す  
健康福祉のまち

課題の発見  
解決方法  
今後の活動

地区毎の  
実情に応じた  
行動計画

ゾーン	地区名	頁
中 央	柏 中 央 地 区	12
	新 田 原 地 区	18
	永 楽 台 地 区	24
	富 里 地 区	30
	豊四季台西地区	36
	豊四季台地区	42
	旭 町 地 区	48
	新 富 地 区	54
北 部	高 田 地 区	60
	高 松 葉 地 区	66
	田 中 地 区	72
	西 原 地 区	78
	富 勢 地 区	84
南 部	土 地 地 区	90
	藤 心 地 区	96
	光ヶ丘地区	102
	南光ヶ丘地区	108
	酒井根地区	114
	南 部 地 区	120
沼 南	大津ヶ丘地区	126
	風早北部地区	132
	風早南部地区	138
	高 柳 地 区	144
	手 賀 地 区	150

# 柏中央地区計画書

## 柏中央地区データ

	人口データ	
	平成17年4月1日現在	
	柏中央地区	柏市全域
人口(人)	22,813	376,018
世帯数(世帯)	9,514	129,680
4歳以下人口(人)	1,127	16,713
4歳以下人口比率(%)	4.9	4.4
14歳以下人口(人)	3,081	51,823
14歳以下人口比率(%)	13.5	13.8
65歳以上人口(人)	3,136	58,342
高齢化率(%)	13.7	15.5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 柏中央地区社会福祉協議会の概要

平成16年度実績

事務所	会長宅
役員数	11名
運営委員数	63名(21町会加入)
部会等	企画部会、ボランティア部会
主な活動	広報紙発行、アンケート調査、ボランティア研修会、ふれあいサロン、敬老の集い、ふれあいの集い運動会、ひとり暮らしの方を励ます会

### 柏中央地域ふるさと協議会の概要

平成16年度実績

事務所	柏中央近隣センター
役員・運営委員数	12名・55名
専門部	総務部、広報部、文化部、保健体育部、環境部、防災安全部
主な活動	広報紙発行、運動会、文化祭、花自動車作製、ウォーキング

## 柏中央地区懇談会の様子



## 柏中央地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 17 年 7 月 15 日 (金) 14:00～15:00	第 1 回懇談会打ち合せ	1	2	0
第 1 回懇談会	平成 17 年 8 月 4 日 (木) 13:30～15:45	現状の把握と課題の発見	8	3	4
打 ち 合 せ	平成 17 年 9 月 1 日 (木) 13:00～14:00	第 2 回懇談会打ち合せ	1	2	0
第 2 回懇談会	平成 17 年 9 月 28 日 (水) 13:30～16:30	課題に対する解決方法	17	4	2
打 ち 合 せ	平成 17 年 10 月 7 日 (金) 11:00～12:00	第 3 回懇談会打ち合せ	1	2	0
第 3 回懇談会	平成 17 年 10 月 31 日 (月) 9:00～10:00	今後の地域活動に向けて	13	3	2
打 ち 合 せ	平成 18 年 1 月 11 日 (水) 13:00～14:00	確認会議打ち合せ	1	2	0
確 認 会 議	平成 18 年 2 月 8 日 (水) 13:30～16:00	地区計画（案）確認	6	2	2

■会議及び懇談会開催数／全4回開催

■参加延べ人数／地域延べ48名／市社協職員延べ20名／行政職員延べ10名

■会場はいずれも、いきいきプラザ

柏中央地区計画

柏中央地区 地域健康福祉活動

① 住民主体の地域づくり  
を目指して

- ★町会役員、民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員などの制度ボランティアが連携を取り、地域のパイプ役となり、さまざまな手法や機会を通じ情報を提供する。
- ★地域内の行事を整理し充実を図る。
- ★計画段階から地域の人と一緒に事業を考える祭りなどでのきっかけや交流を持ち、急がず、ゆっくり「ふれあっていく」取り組みをすすめる。

② よりよい連携の中での  
活動を目指して

- ★地域に無関心な方々を引き入れるため、その必要性を理解してもらうための啓発。
- ★地域の問題・課題を町会、民生委員・児童員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員、消費生活コーディネーターなどへつなげ、連携を深めるしくみをつくる。
- ★地域内で連携が必要とされる団体との新たな活動の取り組み（消防団・消費生活コーディネーター・学校・青少年健全育成推進協議会の連携、老人クラブと子供会のつながり）。

重点目標

☆地域活動の大切さを住民に知ってもらい、より多くの人がかかわりを持つ環境や体制の整備。

③ 活動上の悩みの  
解決方法

- ★リーダーの育成や活動のPR。
- ★隣近所の支えあいによる人間関係をつくるための交流や協働での年間計画づくり。
- ★意識の啓発やお互いの活動を知る機会をつくる。
- ★地域住民の意見をより多く反映できる組織づくり。
- ★地域内で実施しているさまざまな活動評価に基づく事業の推進。
- ★身近な活動拠点の確保（空家等の借用）。

④ 安心して住み続けられる  
地区を目指して

- ★現在の活動を充実させる。
- ★住民の理解と参加を求めるとともに地域健康福祉意識を高める取り組み。
- ★老人クラブ、若い母親、新住民に地域健康福祉活動への参加を働きかける。
- ★地域内の人材発掘・育成により人とひととのつながりを深めていく取り組み。

柏市社会福祉協議会・柏市

## 柏中央地区懇談会のまとめ

①

### 住民主体の地域づくりを目指して

#### 現状

◇町会活動に無関心な若い世代が増えている。マンションでは高齢者が少なく若い親子が多い。町会とうまく付き合っている所と孤立している所に分かれている。

#### 理想

◇気軽に相談できる人が身近にいて、だれもが挨拶を交わせる安全・安心・清潔な街。そこに住む人が、互いに分け隔てなく思いやりを持ち、長屋的付き合いができる住民。

◇郷土意識を持ちお互いが連携し、信頼関係を築き支援ができる住民。

#### 理想に向けて

★町会役員、民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員などの制度ボランティアが連携を取り、地域のパイプ役となり、さまざまな手法や機会を通じ情報を提供する。

★地域内の行事を整理し充実を図る。

★計画段階から地域の人と一緒に事業を考える。祭りなどできっかけや交流を持ち、急がず、ゆっくり「ふれあっていく」取り組みをすすめる。

②

### よりよい連携の中での活動を目指して

#### 現状

◇町会を中心に、学校や施設などの社会資源を活用した活動が豊富である。ただし、若い親子や個別ニーズに対する活動になると、民生委員・児童委員（主任児童委員）や健康づくり推進員等が中心となって連携し活動を推進している。

#### よりよい連携関係に向けて

★地域に無関心な方々を引き入れるため、その必要性を理解してもらうための啓発。

★地域の問題・課題を町会、民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員、消費生活コーディネーターなどへつなげ連携を深めるしくみをつくる。

★地域内で連携が必要とされる団体との新たな活動の取り組み（消防団・消費生活コーディネーター・学校・青少年健全育成推進協議会の連携、老人クラブと子ども会のつながり）。

③

### 活動上の悩みの解決方法

#### 活動上の課題

◇リーダーや担い手が不足している。住民の意見がより多く反映する組織になっていない。情報の取り扱いが困難になってきた。活動の評価がされていない。気軽に利用できる活動拠点が少ない。

#### 解決方法

★リーダーの育成や活動のPR。

★隣近所の支えあいによる人間関係をつくるための交流や協働での年間計画づくり。

★意識の啓発やお互いの活動を知る機会をつくる。

★地域住民の意見をより多く反映できる組織づくり。

★地域内で実施しているさまざまな活動評価に基づく事業の推進。

★身近な活動拠点の確保（空家等の借用）。

④

### 安心して住み続けられる地区を目指して

#### 現状

◇【良いところ】老人クラブの活動が活発である。情報の共有化や新旧住民の連携ができてきている地域がある。住環境は豊かである。

◇【問題なところ】地域意識が薄い。地域活動を豊かにするための計画が示されていない。

#### これからの地区に向けて

★現在の活動を充実させる。

★住民の理解と参加を求めるとともに地域健康福祉意識を高める取り組み。

★老人クラブ、若い母親、新住民に地域健康福祉活動への参加を働きかける。

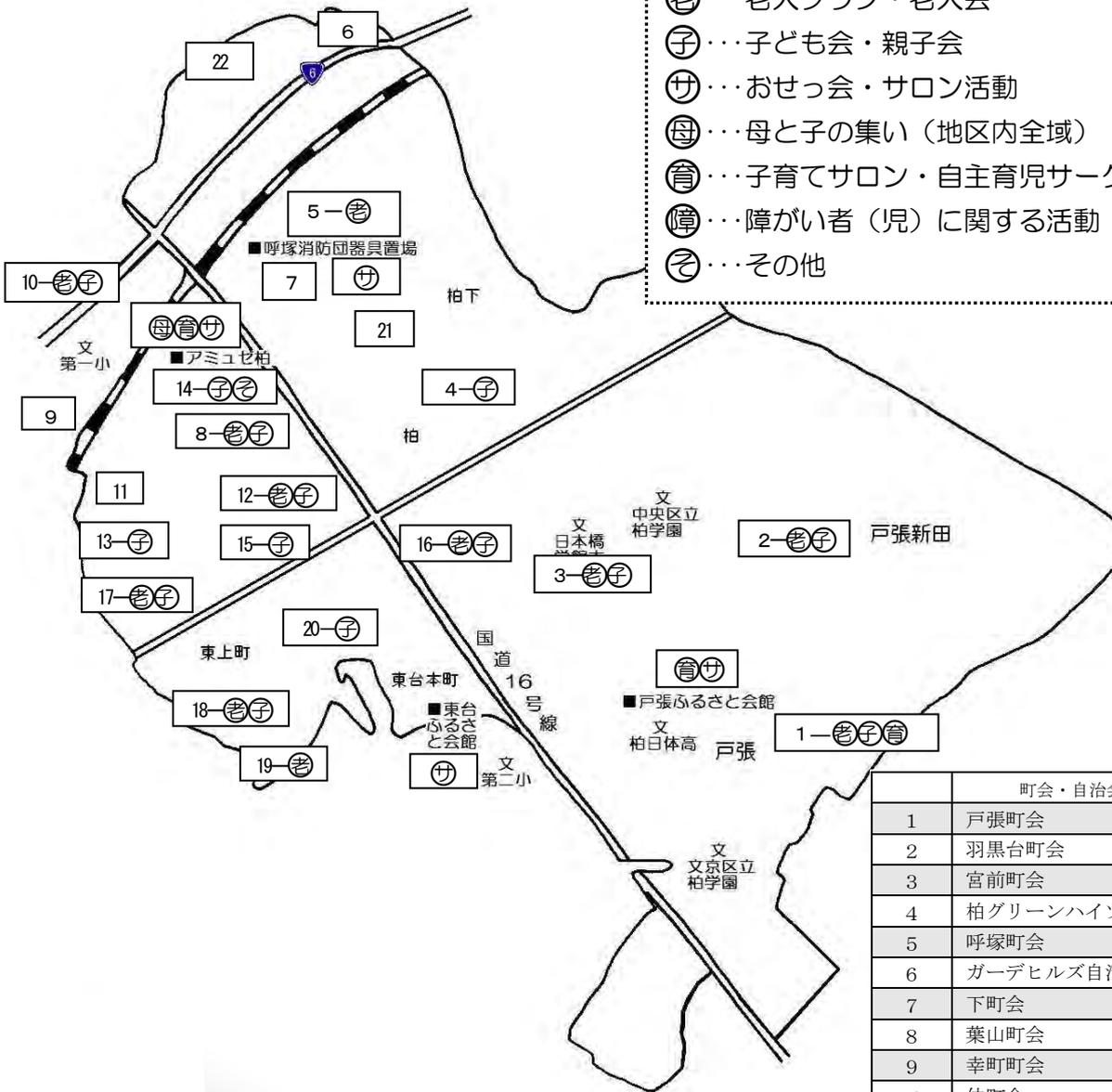
★地域内の人材発掘・育成により人とひとのつながりを深めていく取り組み。

柏中央地区活動マップ

その1

地図記号一覧

- 数字…町会・自治会・区等
- ⊗…老人クラブ・老人会
- ⊙…子ども会・親子会
- ⊕…おせっ会・サロン活動
- ⊗…母と子の集い（地区内全域）
- ⊙…子育てサロン・自主育児サークル等
- ⊗…障がい者（児）に関する活動
- ⊙…その他



	町会・自治会・区等
1	戸張町会
2	羽黒台町会
3	宮前町会
4	柏グリーンハイツ自治会
5	呼塚町会
6	ガーデヒルズ自治会
7	下町会
8	葉山町会
9	幸町町会
10	仲町会
11	元町町会
12	柏上一丁目町会
13	柏上二丁目町会
14	柏上三丁目町会
15	桜台町会
16	東台町会
17	東一丁目町会
18	東一丁目第二町会
19	東町会
20	エステート荒工山自治会
21	ソフィア柏町会
22	デュオガーデン柏見晴らしの丘自治会

# 柏中央地区活動マップ

# その2

## ■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

《数字》町会・自治会・区等		《☎》老人クラブ・老人会		《☎》子ども会・親子会	
名 称	総世帯数(加入世帯)	クラブ名	会員数	名 称	会員数
1 戸張町会	694( 674)	東光会	53	戸張親子会	65
2 羽黒台町会	610( 572)	羽黒友の会	63	羽黒台親子会	48
3 宮前町会	239( 234)	宮前手賀クラブ	57	宮前親子会	39
4 柏グリーンハイツ自治会	132( 132)			グリーンハイツ親子会	13
5 呼塚町会	889( 830)	呼塚友の会	60		
6 ガーデヒルス自治会	187( 151)				
7 下町会	537( 437)				
8 葉山町会	620( 600)	葉山長寿会	61	葉山親子会	37
9 幸町町会	100( 90)				
10 仲町会	810( 610)	仲よし東会/仲よし西会	38/53	仲町親子会	30
11 元町町会	136( 136)				
12 柏上一丁目町会	94( 74)	一二三会/百命会	60/45	柏上一丁目町会親子会	9
13 柏上二丁目町会	94( 94)			柏上二丁目町会親子会	
14 柏上三丁目町会	1,250( 650)			上三丁目親子会	35
15 桜台町会	480( 380)			桜台親子会	40
16 東台町会	1,176(1,078)	親友会	51	東台親子会	135
17 東一丁目町会	370( 185)	東寿会	52	東一丁目町子供会	45
18 東一丁目第二町会	283( 283)	東クラブ	55	東一丁目子ども会	18
19 東町会	440( 340)				
20 エステート荒工山自治会	75( 50)			エステート荒工山親子会	5
21 ソフィア柏町会	170( 170)				
22 デュオガーデン柏見晴らしの丘自治会	128( 75)				

## ■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

町会・自治会・区等		《☎》おせっ会・サロン活動		制度ボランティア	
名 称	名 称	会 場	民生委員 児童委員	健康づく り推進員	
1 戸張町会			2(2)	2(1)	
2 羽黒台町会	ふれあいサロン戸張	戸張ふるさと会館	2(1)	1(1)	
3 宮前町会			1(1)	1(1)	
4 柏グリーンハイツ自治会	ふれあいサロンすみれ	アミュゼ柏	1(1)	1(0)	
5 呼塚町会	ふれあいサロン呼塚	呼塚消防団器具置場	2(2)	2(2)	
6 ガーデヒルス自治会			1(0)	1(1)	
7 下町会	ふれあいサロンすみれ	アミュゼ柏	3(2)	1(0)	
8 葉山町会			2(1)	1(1)	
9 幸町町会			1(1)	—	
10 仲町会			2(2)	1(1)	
11 元町町会	ふれあいサロンアミュゼのぞみ	アミュゼ柏	1(1)	1(1)	
12 柏上一丁目町会			1(1)	1(0)	
13 柏上二丁目町会			1(0)	1(0)	
14 柏上三丁目町会			2(2)	2(2)	
15 桜台町会	ふれあいサロンたんぼぼ	アミュゼ柏	2(2)	1(1)	
16 東台町会	ふれあいサロンひだまり	東台町会ふるさと会館	3(3)	2(2)	
17 東一丁目町会			1(1)	1(1)	
18 東一丁目第二町会	ふれあいサロンたんぼぼ	アミュゼ柏	1(1)	1(0)	
19 東町会			1(1)	1(1)	
20 エステート荒工山自治会			1(1)	1(0)	
21 ソフィア柏町会	ふれあいサロン呼塚	呼塚消防団器具置場	1(0)	0(0)	
22 デュオガーデン柏見晴らしの丘自治会			1(0)	—	
			主任児童員 2(2)	食生活推進員 3(3)	

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位に活動を示したものです。

※民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、（ ）内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

## ■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

### 《☎》子育てサロン・自主育児サークル等

名 称	会 場
ママの井戸端かいぎ	アミュゼ柏
ふれあいサロン戸張	戸張ふるさと会館

### 《☎》母と子の集い（地区内全域）

名 称	会 場
母と子のつどい	アミュゼ柏

### 《☎》障がい者（児）に関する活動

名 称	会 場

### 《☎》その他

名 称	会 場
ゴミゼロ運動	上三町会（5/30に限らず）
不審者情報パトロール	中学校区ごと（青少協・補導員）

# 新田原地区計画書

## 新田原地区データ

	人口データ	
	平成 17 年 4 月 1 日現在	
	新田原地区	柏市全域
人口(人)	14,393	376,018
世帯数(世帯)	4,541	129,680
4歳以下人口(人)	504	16,713
4歳以下人口比率(%)	3.5	4.4
14歳以下人口(人)	1,750	51,823
14歳以下人口比率(%)	12.2	13.8
65歳以上人口(人)	2,708	58,342
高齢化率(%)	18.8	15.5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 新田原地区社会福祉協議会の概要

平成 16 年度実績

事務所	新田原近隣センター内
役員数	19名
運営委員数	29名
部会等	企画部会、広報部会、ボランティア部会
主な活動	広報紙発行、視察研修、健康講座、一声の会（ふれあいサロン）、世代間ふれあい交流教室、敬老会、三世代ふれあいの集い、運動会、ひとり暮らし高齢者を囲む会、健康かむかむシルバー大会、高齢者交通事故予防講座、悪徳商法対処講座

### 新田原ふるさと協議会の概要

平成 16 年度実績

事務所	新田原近隣センター内
役員・運営委員数	124人
専門部	総務部、広報部、文化部、体育部、環境部
主な活動	広報紙発行、防災訓練、ゴミゼロ運動、視察研修、囲碁将棋大会、文化祭、運動会、環境学習会、防犯活動（年末防犯パトロールなど）、三世代ふれあいの集い、防犯活動（年末防犯パトロール）ほか

## 新田原地区懇談会の様子



## 新田原地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成17年 7月15日(金) 10:00～12:00	第1回懇談会打ち合せ	6	2	0
第1回懇談会	平成17年 8月 8日(月) 15:00～17:00	現状の把握と課題の発見	11	2	2
第2回懇談会	平成17年 9月 7日(水) 12:00～15:00	課題に対する解決方法	22	5	3
第3回懇談会	平成17年10月26日(水) 12:00～15:00	今後の地域活動に向けて	20	4	1
確 認 会 議	平成18年 1月18日(水) 13:30～15:30	地区計画(案)確認	10	2	1

■会議及び懇談会開催数／全5回開催

■参加延べ人数／地域延べ69名／市社協職員延べ15名／行政職員延べ7名

■会場はいずれも、新田原近隣センター

新田原地区計画

新田原地区 地域健康福祉活動

① 住民主体の地域づくり  
を目指して

- ★町会毎に個人情報把握し、地域での交流参加を促進につなげていく。
- ★転入者に対し、町会や地域の情報を市役所窓口で提供してもらう。
- ★一声運動を推進する。

③ よりよい連携の中での  
活動を目指して

- ★活動の連携以前にまず情報の共有化が必要。
- ★さまざまな団体の意見交換の場をつくること重要。
- ★人材バンクなどの設置により、高齢者などの経験や知識を生かし、地域活動につなげていくための連携が必要。
- ★学校と地域が連携して、防災・防犯や交通安全などで、人材や情報を共有することが必要。
- ★医療機関、在宅介護支援センター、老人会、ふるさと協、地区社協の連携強化が大切。
- ★個々の団体活動に専念することが先決。その上で隙間を連携しあうことが大切。

重点目標

☆隣近所の見守り活動を中心にした「助けあい・支えあい」のしくみづくりによる心の健康づくりの推進。

② 活動上の悩みの  
解決方法

- ★情報開示の条件づくりを行政に推進してもらう。
- ★地域住民への積極的なPR活動を展開する。
- ★人材バンクの設置などにより、住民のキャリアを活かす地域活動のしくみづくりをすすめる。
- ★住民活動を活性化させるための既存施設の充実。
- ★身近な交流場所の確保。

④ 安心して住み続けられる  
地区を目指して

- ★地域住民の意向を反映させるためのアンケート調査の実施。
- ★リーダーや担い手発掘のシステムづくり。
- ★子育て支援や身障者を対象にした取り組み。
- ★町会全体で参加できる防犯防災対策の推進。
- ★子どもや高齢者に優しい環境づくり。（施設・道路整備）
- ★隣近所のふれあい交流の場づくり。

柏市社会福祉協議会・柏市

## 新田原地区懇談会のまとめ

①

### 住民主体の地域づくりを目指して

#### 現状

◇昔は、家も人も少ない中で近所づきあいを大切にし、子ども達の見守りや助け合いも行なわれていたが、現在では、少子高齢化や核家族化などから、町会活動に関心が薄く、近所づきあいに無関心な人たちが増えてきたように思える。

#### 理想

◇お互いに一声掛けあい、助け合える人。  
◇不信感のない「安心・安全」な地域を創り、支える人。

#### 理想に向けて

- ★町会毎に個人情報把握し、地域での交流参加を促進につなげていく。
- ★転入者に対し、町会や地域の情報を市役所窓口で提供してもらう。
- ★一声運動を推進する。

②

### 活動上の悩みの解決方法

#### 活動上の課題

◇個人情報保護の問題が、福祉活動の支障となっている。／福祉活動の担い手である若手が集まらない。／ボランティアによる地域福祉活動の可能性と限界が見えない。／高齢化を考えた活動拠点の整備がなされていない。

#### 解決方法

- ★情報開示の条件づくりを行政に推進してもらう。
- ★地域住民への積極的なPR活動を展開する。  
また、人材バンクの設置などにより、住民のキャリアを活かす地域活動のしくみづくりをすすめる。
- ★住民活動を活性化させるための既存施設を充実させる。また、身近な交流場所を確保する。

③

### よりよい連携の中での活動を目指して

#### 現状

◇新田原地区は、町会をはじめ、地区社協やふるさと協の情報の共有化が図られている。また、柏市民健康づくり推進員、民生委員・児童委員（主任児童委員）、ボランティアによる団体や学校、在宅介護支援センターとの共同事業が展開されている。同時に、団体間の緊密な連携が図られている。

#### よりよい連携関係に向けて

- ★活動の連携以前にまず情報の共有化が必要。
- ★さまざまな団体の意見交換の場をつくらなければならない。
- ★人材バンクなどの設置により、高齢者などの経験や知識を生かし、地域活動につなげていくための連携が必要。
- ★学校と地域が連携して、防災・防犯や交通安全などで、人材や情報を共有することが必要。
- ★医療機関、在宅介護支援センター、老人会、ふるさと協、地区社協の連携強化が大切。
- ★個々の団体活動に専念することが先決。その上で隙間を連携しあうことが大切。

④

### 安心して住み続けられる地区を目指して

#### 現状

【良いところ】町会、地区社協やふるさと協、また、制度ボランティアである健康づくり推進員や民生児童委員それぞれのリーダーが健在で、活発な活動が展開されている。  
【問題なところ】特に高齢者や子供たちにとって重要な道路の安全対策や施設整備に関する住民要望に対して、行政の前向きな姿勢が見えない。

#### これからの地区に向けて

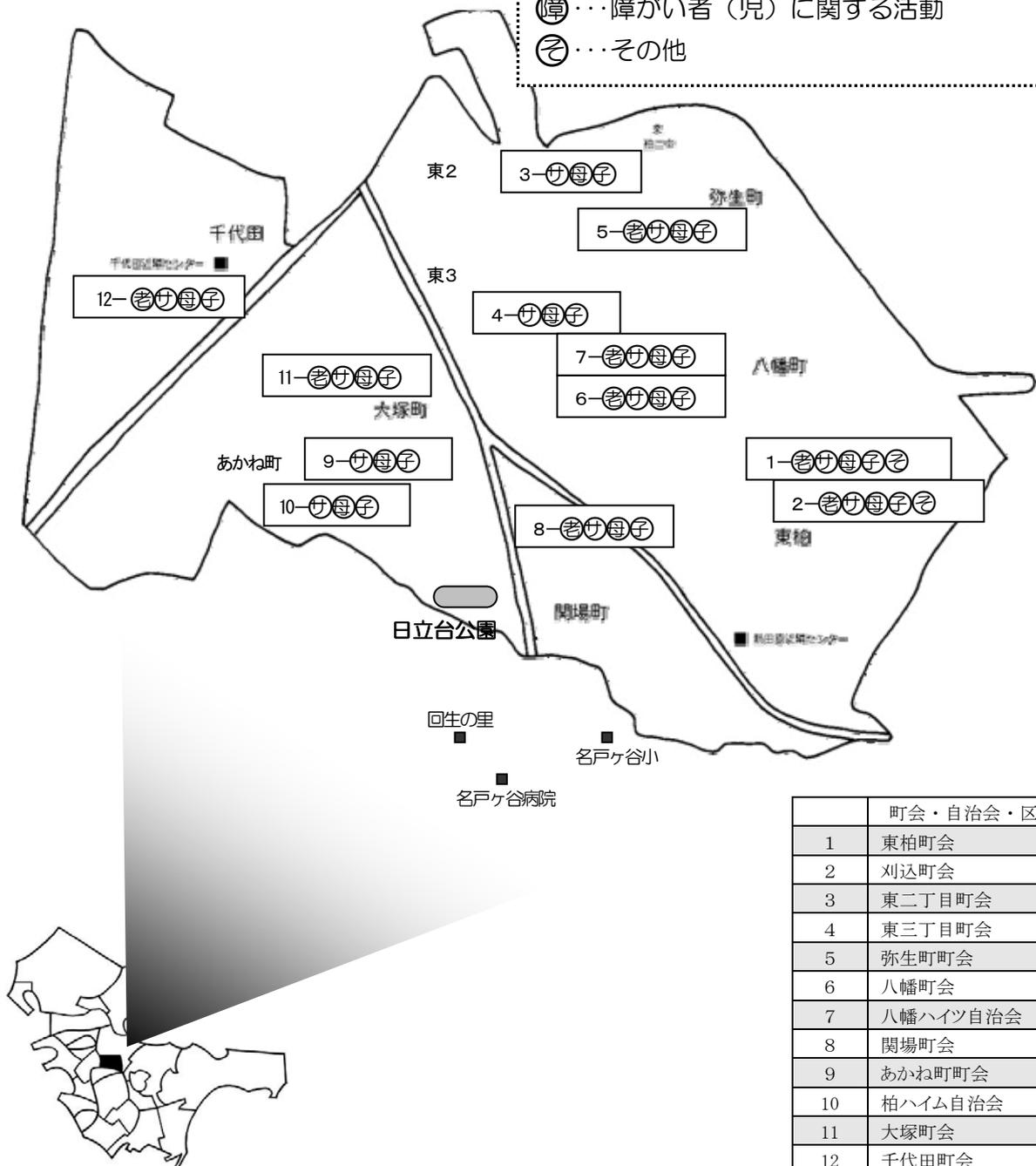
- ★地域住民の意向を反映させるためのアンケート調査の実施。
- ★リーダーや担い手発掘のシステムづくり。
- ★子育て支援や身障者を対象にした取り組み。
- ★町会全体で参加できる防災防災対策の推進。
- ★子どもや高齢者に優しい環境づくり（施設・道路整備）
- ★隣近所のふれあい交流の場づくり

新田原地区活動マップ

その1

地図記号一覧

- 数字…町会・自治会・区等
- ⊙…老人クラブ・老人会
- ⊚…子ども会・親子会
- ⊞…おせっ会・サロン活動
- ⊕…母と子の集い（地区内全域）
- ⊙育…子育てサロン・自主育児サークル等
- ⊞障…障がい者（児）に関する活動
- ⊞そ…その他



	町会・自治会・区等
1	東柏町会
2	刈込町会
3	東二丁目町会
4	東三丁目町会
5	弥生町町会
6	八幡町会
7	八幡ハイム自治会
8	関場町会
9	あかね町町会
10	柏ハイム自治会
11	大塚町会
12	千代田町会

新田原地区活動マップ

その2

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

〈数字〉町会・自治会・区等			〈㊟〉老人クラブ・老人会		〈㊦〉子ども会・親子会		〈㊧〉祭り
名 称	総世帯数(加入世帯)	名 称	会員数	名 称	会員数	有無	
1 東柏町会	100 ( 100)	鶴 亀 会	5 0	かりごめ親子会	4 7		
2 刈込町会	390 ( 360)						
3 東二丁目町会	350 ( 300)			東二丁目子ども会	2 2	○ 東連合で 合同開催	
4 東三丁目町会	390 ( 300)			東三丁目子ども会	2 6		
5 弥生町町会	340 ( 305)	高 砂 会	6 0	弥生町親子会	2 9		
6 八幡町会	523 ( 485)			八幡町子ども会	2 1		
7 八幡ハイツ自治会	53 ( 41)						
8 関場町会	410 ( 370)	関 栄 会	5 4	関場町子ども会	5 1	○	
9 あかね町町会	368 ( 343)			あかね町子供会	3 4	○	
10 柏ハイム自治会	116 ( 116)			柏ハイム子供会	1 3		
11 大塚町会	315 ( 300)	い さ み 会	5 7	大塚町親子会	2 5	○	
12 千代田町会	1,186 (1,012)	む つ み 会	1 0 5	千代田町親子会 あかね町親子会	1 0 7	○	

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

町会・自治会・区等		〈㊨〉おせっかい・サロン活動		制度ボランティア	
名 称	名 称	会 場	民生委員 児童委員	健康づく り推進員	
1 東柏町会			1 (1)	1 (1)	
2 刈込町会			2 (1)	1 (1)	
3 東二丁目町会			1 (1)	1 (1)	
4 東三丁目町会			1 (1)	1 (1)	
5 弥生町町会			1 (1)		
6 八幡町会			1 (1)	1 (1)	
7 八幡ハイツ自治会			1 (0)		
8 関場町会			1 (1)	1 (1)	
9 あかね町町会			1 (1)	1 (1)	
10 柏ハイム自治会			1 (1)	1 (1)	
11 大塚町会			1 (1)	1 (1)	
12 千代田町会			4 (4)	3 (3)	
地区全域	一声の会	①千代田近隣センター ②新田原近隣センター ③亀さんルーム	主任児童委員 2 (2)	食生活推進員 3 (3)	

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位に活動を示したものです。

※民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、（ ）内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

〈㊩〉子育てサロン・自主育児サークル等

名 称	会 場

〈㊪〉母と子の集い（地区内全域）

名 称	会 場
母と子の集い	新田原・千代田近隣センター

〈㊫〉障がい者（児）に関する活動

名 称	会 場

〈㊬〉その他

名 称	会 場
町会婦人部活動	千代田町、あかね町
青少年健全育成推進協議会	地区全域

# 永楽台地区計画書

## 永楽台地区データ

	人口データ	
	平成 17 年 4 月 1 日現在	
	永楽台地区	柏市全域
人口(人)	11,713	376,018
世帯数(世帯)	4,267	129,680
4歳以下人口(人)	510	16,713
4歳以下人口比率(%)	4.4	4.4
14歳以下人口(人)	1,748	51,823
14歳以下人口比率(%)	14.9	13.8
65歳以上人口(人)	2,066	58,342
高齢化率(%)	17.6	15.5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 永楽台地区社会福祉協議会の概要

平成 16 年度実績

事務所	会長宅
役員数	11名
運営委員数	30名
部会等	総務部会、事業部会、ボランティア部会
主な活動	広報紙発行、ふれあいサロン代表者・子育てサポーター連絡会議・研修、ボランティア育成事業、(視察・講習)、高齢者ふれあいサロン、子育てサロン、男性料理教室、要援護者訪問活動、世代間交流教室、遊びのフリーマーケット、敬老祝い品配布、ひとり暮らし高齢者の集い

### 永楽台地域ふるさと協議会の概要

平成 16 年度実績

事務所	永楽台近隣センター
役員・運営委員数	12名・46名
専門部	企画総務、広報、生涯学習・文化、環境、保健体育、防災安全、只見交流部
主な活動	広報紙発行、三世代ふれあいの広場、新春芸能大会、ふれあいピクニック、グランドゴルフ大会、環境美化運動、手賀沼船上見学、ゴミ減量ツアー、防災体験学習・研修・講習会、柏・只見町との友好交流事業

## 永楽台地区懇談会の様子



## 永楽台地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 17 年 7 月 1 日 (金) 13:00～14:00	第 1 回懇談会打ち合せ	2	1	0
第 1 回懇談会	平成 17 年 7 月 29 日 (金) 12:30～14:30	現状の把握と課題の発見	10	2	4
打 ち 合 せ	平成 17 年 9 月 27 日 (火) 11:00～12:00	第 2 回懇談会打ち合せ	2	1	0
第 2 回懇談会	平成 17 年 10 月 12 日 (水) 15:00～17:40	課題に対する解決方法	25	3	3
打 ち 合 せ	平成 17 年 10 月 12 日 (水) 17:40～18:30	第 3 回懇談会打ち合せ	2	1	0
第 3 回懇談会	平成 17 年 11 月 12 日 (土) 9:30～12:00	今後の地域活動に向けて	24	4	2
打 ち 合 せ	平成 18 年 1 月 6 日 (金) 13:00～14:00	確認会議打ち合せ	2	1	0
確 認 会 議	平成 18 年 2 月 22 日 (水) 15:00～17:00	地区計画（案）確認	9	1	2

■会議及び懇談会開催数／全4回開催

■参加延べ人数／地域延べ76名／市社協職員延べ14名／行政職員延べ11名

■会場はいずれも、永楽台近隣センター

永楽台地区計画

永楽台地区 地域健康福祉活動

① 住民主体の地域づくり  
を目指して

- ★家庭内や隣近所のコミュニケーションを大切にする。
- ★地域内でさまざまな活動をしている個人や団体との場を設け、情報や知識の交換をする。
- ★子供を通じた活動や若い人達と顔見知りになるための活動を実施する。

② よりよい連携の中での  
活動を目指して

- ★永楽台地区は、各種事業や行事の推進を通じ、比較的連携協力関係がうまくいっている。さらなる連携・協力関係づくりができるようにするために、お互いの組織リーダーの目配り・気配りが必要。
- ★高齢者の豊富な知識や経験を生かす活動の展開、ある年代だけの行事ではなく幅広い分野と活動を通じて連携を図る。
- ★連携を図る上で、何処にどんな人や組織があり活動しているのかを知り、参加できる土壌づくりをすすめ、さらに「人財バンク的」なものを地区社協や町会で蓄積していく。

重点目標

- ☆隣組のような近所づきあいの復活。
- ☆地域に関心を持ち活動に参加してもらえるための働きかけ。
- ☆年齢層を問わず住みよい街づくり。（挨拶・近所づきあい・危険な箇所を改善する。）

③ 活動上の悩みの  
解決方法

- ★地域活動を豊かにしていくために、各種事業を推進するためのリーダーや担い手は不可欠であり、人財の発掘や育成への取り組みに努める。
- ★身近な地域での活動を充実する。

④ 安心して住み続けられる  
地区を目指して

- ★世代を超えお互い尊重して暮らすという気持ちを持つ仕組み。
- ★地域で暮らすだれもが参加できる環境や条件を整備する取り組み。
- ★人とひとの横のつながりを大切にしていく取り組み。
- ★豊かな人財を活用し、問題解決に向け支援ができる取り組み。
- ★地域で暮らす人が融合できるような交流の場を設ける取り組み。

柏市社会福祉協議会・柏市

## 永楽台地区懇談会のまとめ

1

### 住民主体の地域づくりを目指して

#### 現状

◇年齢、居住年数、居住形態によって町会への理解、ライフスタイル、考え方に違いがある。

#### 理想

◇気軽に挨拶ができ隣近所と仲良く付き合える中、困りごとなどの相談にのれる住民。住環境などにより住民像の違う世代、世代、世代の良さを引き出す。各世代の「良さ」を継承していきけるよう地域づくり。

#### 理想に向けて

- ★家庭内や隣近所のコミュニケーションを大切にする。
- ★地域内でさまざまな活動をしている個人や団体との場を設け、情報や知識の交換をする。
- ★子供を通じた活動や若い人達と顔見知りになるための活動を実施する。

2

### よりよい連携の中での活動を目指して

#### 現状

◇地域内の団体と、各種事業を通じ連携が図られている。また、組織内での連携も豊である。

#### よりよい連携関係に向けて

- ★永楽台地区は、各種事業や行事の推進を通じ、比較的連携協力関係がうまくいっている。さらなる連携・協力関係づくりができるようにするために、お互いの組織リーダーの目配り・気配りが必要。
- ★高齢者の豊富な知識や経験を生かす活動の展開、ある年代だけの行事ではなく幅広い分野と活動を通じて連携を図る。
- ★連携を図る上で、何処にどんな人や組織があり活動しているのかを知り、参加できる土壌づくりをすすめ、さらに「人財バンク的」なものを地区社協や町会で蓄積していく。

3

### 活動上の悩みの解決方法

#### 活動上の課題

◇現状では、リーダーや担い手不足による組織の維持が難しくなっていく。財源的にも厳しくなることは明らかである。組織ごとの活動のエリアに違いがあるため、活動に支障がある。

#### 解決方法

- ★地域活動を豊かにしていくために、各種事業を推進するためのリーダーや担い手は不可欠であり、人財の発掘や育成への取り組みに努める。
- ★身近な地域での活動を充実する。

4

### 安心して住み続けられる地区を目指して

#### 現状

- ◇【良いところ】中央エリア内にあり、住みやすい環境にある。潜在している人財は、豊かである。町会により居住者の特色（社宅等）があり、課題を見出しやすい。
- ◇【問題なところ】古い人と新しい人の交流がない。サロンに来て欲しい人は足が悪く、これない人がいる。

#### これからの地区に向けて

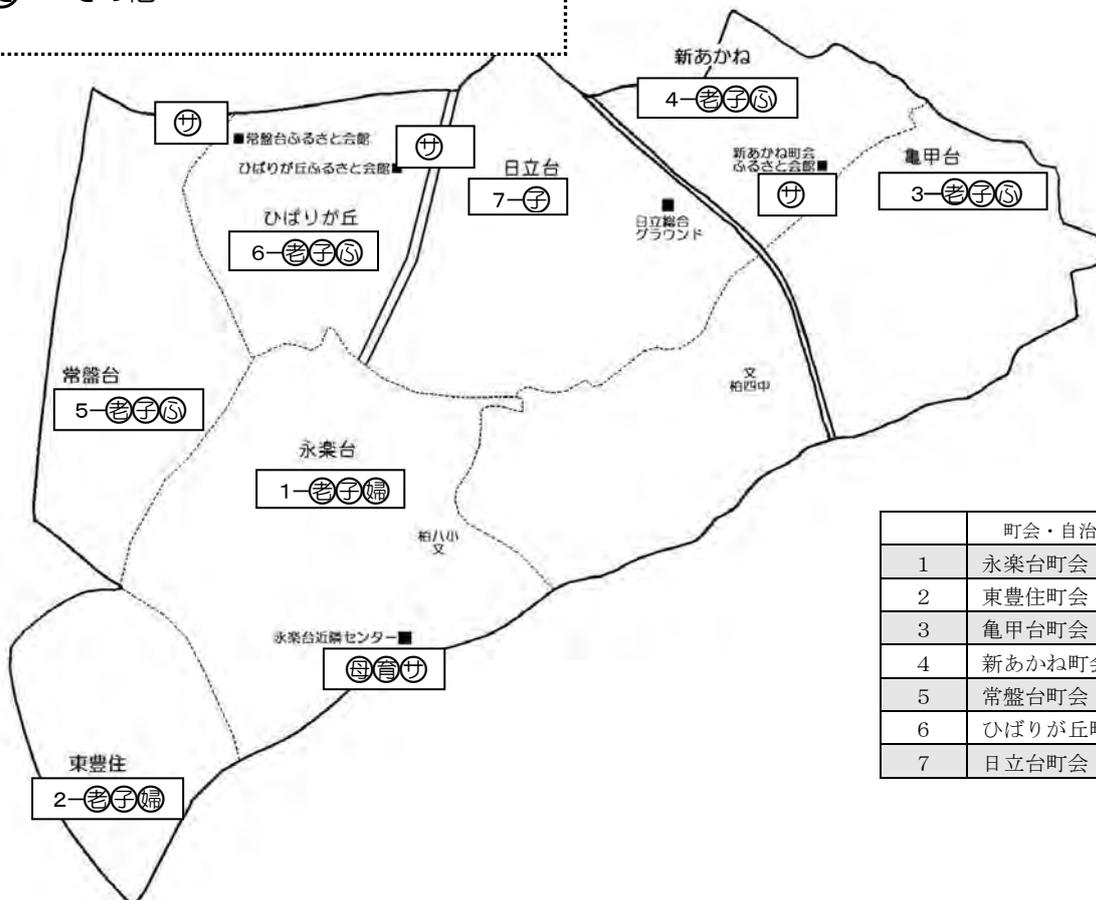
- ★世代を超えお互い尊重して暮らすという気持ちを持つ仕組み。
- ★地域で暮らす誰もが参加できる環境や条件を整備する取り組み。
- ★人とひとの横のつながりを大切にしていく取り組み。
- ★豊かな人財を活用し、問題解決に向け支援ができる取り組み。
- ★地域で暮らす人が融合できるような交流の場を設ける取り組み。

# 永楽台地区活動マップ

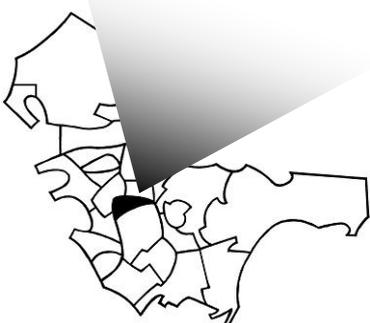
その1

## 地図記号一覧

- 数字・・・町会・自治会・区等
- ⊗・・・老人クラブ・老人会
- ⊙・・・子ども会・親子会
- ⊕・・・おせっ会・サロン活動
- ⊖・・・母と子の集い（地区内全域）
- ⊗育・・・子育てサロン・自主育児サークル等
- ⊗障・・・障がい者（児）に関する活動
- ⊗⑤・・・ふるさと会館
- ⊗⑦・・・その他



	町会・自治会・区等
1	永楽台町会
2	東豊住町会
3	亀甲台町会
4	新あかね町会
5	常盤台町会
6	ひばりが丘町会
7	日立台町会



## 永楽台地区活動マップ

## その2

### ■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

〈数字〉町会・自治会・区等		〈㊟〉老人クラブ・老人会		〈㊦〉子ども会・親子会		〈㊧〉婦人の会
名 称	総世帯数(加入世帯)	クラブ名	会員数	名 称	会員数	内 容
1 永楽台町会	1,363(1,293)	永楽会 永和会	100 51	永楽台子ども会	184	永楽台婦人の会
2 東豊住町会	785(535)	東豊住寿会	55	東豊住子ども会	66	東豊住婦人会
3 亀甲台町会	503(476)	亀甲台クラブ	86	亀甲台子ども会	61	
4 新あかね町会	270(270)	新あかねクラブ	42	新あかね子ども会	28	
5 柏市常盤台町会	780(720)	常盤台常友会	81	常盤台親子会	95	
6 柏市ひばりが丘町会	416(366)	ひばり会	80	ひばりが丘・日立台子供会	50	
7 日立台町会	150(141)					

### ■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

町会・自治会・区等		〈㊟〉おせっ会・サロン活動		制度ボランティア		
名 称	名 称	会 場	民生委員 児童委員	健康づく り推進員	消費生活 コーディネーター	
1 永楽台町会	サロンやまびこ	永楽台近隣センター	4(4)	3(3)	1	
2 東豊住町会			3(3)	2(2)		
3 亀甲台町会	サロンなかよし	亀甲台公園内集会所 新あかね町ふるさと会館	2(2)	2(2)		
4 新あかね町会			1(1)	1(1)		
5 柏市常盤台町会	サロンときわ	常盤台ふるさと会館	3(3)	3(3)	1	
6 柏市ひばりが丘町会	ふれあいサロン気楽会	ひばりが丘ふるさと会館	2(2)	1(1)		
7 日立台町会			1(1)	1(1)		
			主任児童委員 2(2)	食生活推進員 3(3)		

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位に活動を示したものです。

※民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、（ ）内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

### ■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

#### 〈㊟〉子育てサロン・自主育児サークル等

名 称	会 場
ほほえみ会親子グループ	永楽台児童センター
子育てサロン	

#### 〈㊟〉母と子の集い（地区内全域）

名 称	会 場
母と子の集い	永楽台近隣センター

#### 〈㊟〉障がい者（児）に関する活動

名 称	会 場
柏市身体障害者福祉会(相談)	(注)標記の仕方を検討

#### 〈㊟〉その他

名 称	会 場
訪問ボランティアきんりんの会	個人の家
理容ボランティア	老人ホーム

# 富里地区計画書

## 富里地区データ

	人口データ	
	平成17年4月1日現在	
	富里地区	柏市全域
人口(人)	29,277	376,018
世帯数(世帯)	6,863	129,680
4歳以下人口(人)	1,643	16,713
4歳以下人口比率(%)	5.6	4.4
14歳以下人口(人)	3,880	51,823
14歳以下人口比率(%)	13.3	13.8
65歳以上人口(人)	4,320	58,342
高齢化率(%)	14.8	15.5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 富里地区社会福祉協議会の概要

平成16年度実績

事務所	富里近隣センター内
役員数	20名
運営委員数	52名
部会等	総務広報部・保健福祉部・児童福祉部高齢者生活福祉部・地域ボランティア部・給食ボランティア部
主な活動	広報紙発行、役員等研修、ウォーキング、ヘルシークッキング糖尿病予防、ダンベル体操、一人暮らし高齢者昼食会ゆうゆうサロン、おでんの会、敬老お祝い事業実態調査、敬老の日お祝い品贈呈、友愛訪問、飯盒炊飯と防災訓練、ニュースポーツの集い、ふれあいまつり

### 柏市富里地域ふるさと協議会の概要

平成16年度実績

事務所	富里近隣センター内
役員・運営委員数	46名
専門部	総務部・文化部・保健体育部・広報部 生活環境部・防災部
主な活動	広報誌発行、文化祭、囲碁大会、花と緑の教室、春のハイキング、ふれあいゴルフ大会、ボウリング大会、グランドゴルフ大会、ゴミゼロ運動、牛乳パックでアイス作り、ゴミ袋説明会、一人テントの立て方、寝袋体験、防災無線トランシーバーテスト、西部松戸防災センター見学、ふれあい体育祭

## 富里地区懇談会の様子



## 富里地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 17 年 7 月 14 日 (木) 10:00～11:00	第 1 回懇談会打ち合せ	1	2	0
第 1 回懇談会	平成 17 年 7 月 29 日 (金) 13:00～16:30	現状の把握と課題の発見	1 1	3	2
第 2 回懇談会	平成 17 年 8 月 29 日 (月) 14:30～18:00	課題に対する解決方法	1 8	4	1
第 3 回懇談会	平成 17 年 10 月 8 日 (土) 13:00～16:00	今後の地域活動に向けて	1 5	4	2
確 認 会 議	平成 17 年 12 月 10 日 (土) 13:00～16:30	地区計画（案）確認	1 1	3	2

■会議及び懇談会開催数／全5回開催

■参加延べ人数／地域延べ56名／市社協職員延べ16名／行政職員延べ7名

■会場はいずれも、富里近隣センター

富里地区計画

# 富里地区 地域健康福祉活動

## ① 住民主体の地域づくりを目指して

★町会の主催事業を増やし、住民同士の交流を図ると共に、学校や子供会等へ働きかけ子供達の参加を積極的に促進し、三世代の交流を図る。又地道なPR活動を続けると同時に、人材の育成や発掘に努めていく。

## ② よりよい連携の中での活動を目指して

★連携・協力するためには、あきらめずに積極的に働きかける必要がある。  
★また、学校との連携は、今行っている関わりをもう少し工夫すれば、もっと良い関係が築けると思われる。

## 重点目標

☆若い人も高齢者も多い富里の特色を生かした三世代交流の促進。  
☆町会に加入せず地域活動に関心な人への町会加入促進対策の強化。

## ③ 活動上の悩みの解決方法

★個人情報情報は情報を収集する側(主催者側)がもう一度その取り扱いについて考え直し、信頼されるようになる事も必要である。  
★役員等の担い手の不足については、一人で何役も担うのではなく皆で分担して、役員員の負担を減らすと共に、活動者の裾野の拡大に努める。  
★地域と市社協・行政の意見のズレをなくすために、しっかりとした現状把握をする。

## ④ 安心して住み続けられる地区を目指して

★【良い点】既存の活動の充実を図る。  
★【問題な点】マンション入居時の加入を徹底し行政が転入時に町会加入を後押しする。／地域活動への参加を積極的にPRし、若い世代の町会加入を促進する／拠点の活用・整備をすすめると共に行政側の意識の転換。

柏市社会福祉協議会・柏市

## 富里地区懇談会のまとめ

1

### 住民主体の地域づくりを目指して

#### 現状

◇マンション建設がすすみ、住宅形態や家族構成がまちまちな富里地区では、町会未加入世帯が増加し、地域意識の希薄化が進行している。特に若い世代は近所づきあいを嫌うため、情報交換がすすまず、コミュニティがおいっていない。

#### 理想

◇三世代が交流し、ともに助け合い・支えあいながら、誰もがその人らしく生きることが出来る町。  
そして学びあいの心を持った住民。  
壮年層が地域活動に積極的に参加しリーダーシップを発揮できる町。

#### 理想に向けて

★町会の主催事業を増やし、住民同士の交流を図ると共に、学校や子供会等へ働きかけ子供達の参加を積極的に促進し、三世代の交流を図る。又地道なPR活動を続けると同時に、人材の育成や発掘に努めていく。

2

### よりよい連携の中での活動を目指して

#### 現状

◇地域活動ボランティアの間の連携は、地区社協や町会、ふる協活動を通して共同事業が展開されている。

また、町会と子供会や高齢者の会の関係は町会の資金援助や事業相互支援などで際立った連携が見受けられる。

#### よりよい連携関係に向け

★連携・協力するためには、あきらめずに積極的に働きかける事が必要である。

また、学校との連携は、今行っている関わりをもう少し工夫すれば、もっと良い関係が築けると思われる。

3

### 活動上の悩みの解決方法

#### 活動上の課題

- ◇個人情報保護法が、ボランティア活動の支障となっている。
- ◇高齢化により活動範囲が狭まる中で身近な拠点施設がない。
- ◇町会推薦による制度ボランティアの発掘に苦慮している。
- ◇地域活動の主体である地区住民と行政や市社協、教育現場との地域づくり意識にずれがある。

#### 解決方法

- ★個人情報は情報を収集する側（主催者側）がもう一度その取り扱いについて考え直し、信頼されるようになる事も必要である。
- ★役員等の担い手の不足については、一人でも役も担うのではなくみんなで分担して、役員負担を減らすと共に、活動者の裾野の拡大に努める。
- ★地域と市社協・行政の意見のズレをなくす為にも、しっかりと現状把握をする。

4

### 安心して住み続けられる地区を目指して

#### 現状

◇【良い点】町会、ふる協、地区社協活動の連携が図られ、地域全体としてのまとまりのある地区。特にボランティア意識の高い住民が多く、介護予防にも力を入れ、寝かせきりがすくない。

◇【問題な点】活発な地域活動に見合った、行政サービスや拠点整備がなされていない。

急激な人口増加と町会未加入世帯の増加からかコミュニティが追いつかず、防災対策や福祉の推進が難しい。

#### これからの地区に向けて

- ★【良い点】既存の活動の充実を図る。
- ★【問題な点】マンション入居時の加入を徹底し行政が転入時に町会加入を後押しする。／地域活動への参加を積極的にPRし、若い世代の町会加入を促進する。／拠点の活用・整備をすすめると共に行政側の意識の転換。

富里地区活動マップ

その1

地図記号一覧

数字・・・町会・自治会・区等

⊙老・・・老人クラブ・老人会

⊙子・・・子ども会・親子会

⊙サ・・・サロン活動・おせっ会

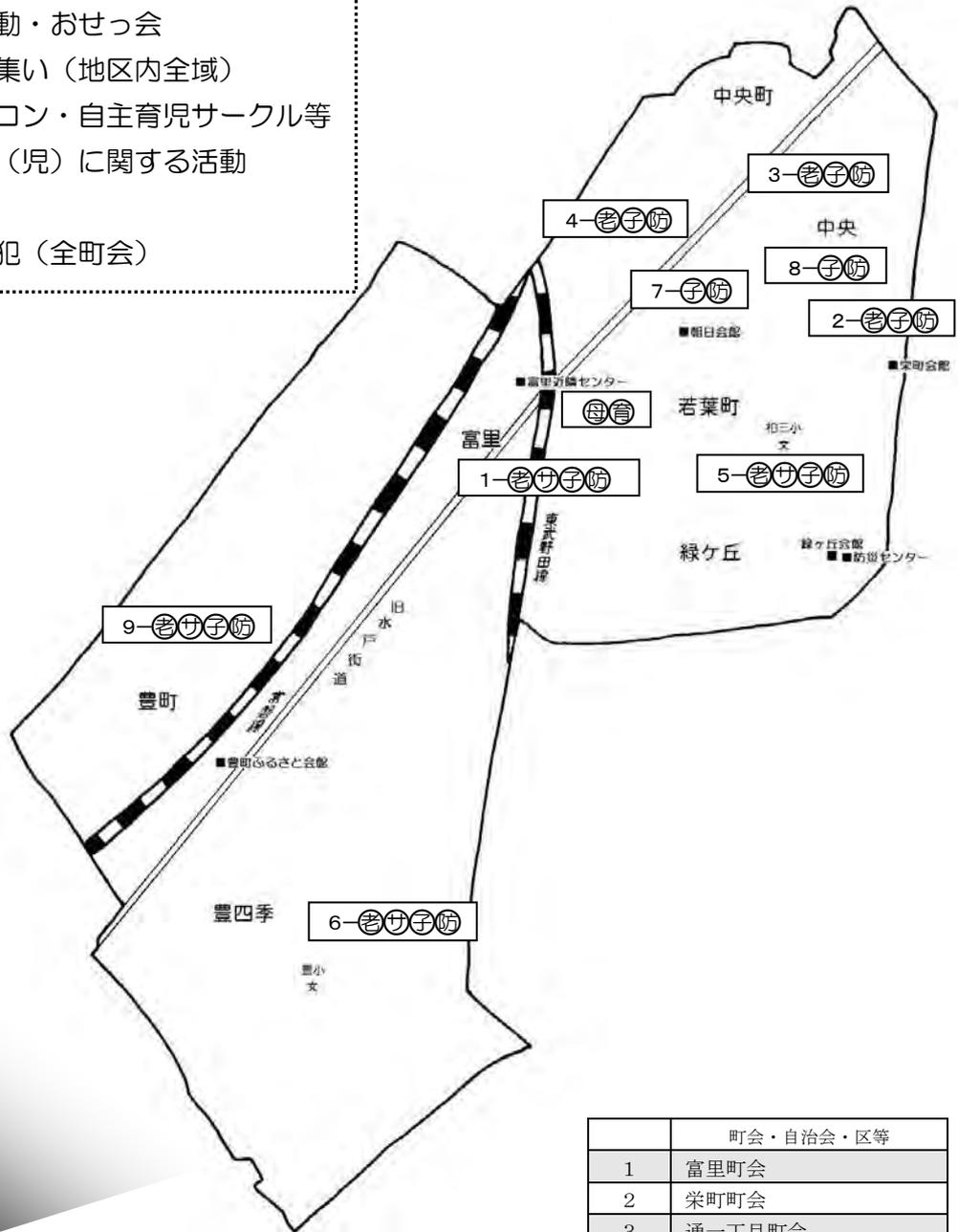
⊙母・・・母と子の集い（地区内全域）

⊙育・・・子育てサロン・自主育児サークル等

⊙障・・・障がい者（児）に関する活動

⊙そ・・・その他

⊙防・・・防災・防犯（全町会）



	町会・自治会・区等
1	富里町会
2	柴町町会
3	通一丁目町会
4	泉町町会
5	緑ヶ丘町会
6	豊町東町会
7	柏中央住宅柏会
8	柏中央住宅自治会白ゆり会
9	豊町西町会

富里地区活動マップ

その2

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

	〈数字〉町会・自治会・区等		〈㊟〉老人クラブ・老人会		〈㊦〉子ども会・親子会	
	名 称	総世帯数(加入世帯)	名 称	会員数	名 称	会員数
1	富里町会	1,850(1,050)	富里神明会	52	富里子ども会	154
2	栄町町会	680( 650)	栄寿会	82	栄町親子会	30
3	通一丁目町会	560( 495)	通宝会	80	通一丁目子ども会	36
4	泉町町会	280( 262)	双葉クラブ	30	泉町子ども会	20
5	緑ヶ丘町会	700( 500)	明和会	87	緑ヶ丘子ども会	68
6	豊町東町会	2,000(1,682)	明寿会	82	豊町東子ども会	185
7	柏中央住宅柏会	36( 36)			中央東子ども会	50
8	柏中央住宅自治会白ゆり会	30( 30)				
9	豊町西町会	747( 695)	豊西クラブ	24	ウエストキッズ豊	65

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

	町会・自治会・区等 名 称	〈㊟〉おせっかい・サロン活動		制度ボランティア		地域ボランティア		
		名 称	会 場	民生委員 児童委員	健康づく り推進員	地 域 ボランティ ア	給 食 ボランティ ア	消費生活 コーディネ ーター
1	富里町会	ゆうゆうサロン	富里近隣センター	5 (5)	4 (4)	7	5	
2	栄町町会			2 (2)	1 (1)	1	4	1
3	通一丁目町会			2 (2)	2 (2)	3	2	
4	泉町町会			2 (2)	1 (1)		6	
5	緑ヶ丘町会	緑ヶ丘ふれあいサロン 緑ヶ丘おしゃべり会	緑ヶ丘会館 緑ヶ丘防災センター	4 (4)	2 (2)	22	3	
6	豊町東町会	豊友サロン	豊町ふるさと会館	5 (5)	4 (4)	2	2	1
7	柏中央住宅柏会			1 (0)	—			
8	柏中央住宅自治会白ゆり会			1 (0)	—			
9	豊町西町会	豊友サロン	豊町ふるさと会館	2 (2)	2 (2)		2	
	地区全域	ゆうゆうサロン活動	富里近隣センター	主任児童委員 2 (2)	食生活推進員 2 (2)			

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位の活動を示したものです。

※民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、（ ）内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

〈㊧〉子育てサロン・自主育児サークル等

名 称	会 場
遊YOUくらぶ	富里近隣センター

〈㊨〉母と子の集い（地区内全域）

名 称	会 場
母と子の集い	富里近隣センター

〈㊩〉障がい者（児）に関する活動

名 称	会 場

〈㊪〉その他

名 称	会 場
星を見る会	緑ヶ丘町会
グランドゴルフ	全町会

〈㊫〉防災活動

名 称	会場（活動エリア）
自主活動	豊町東町会・緑ヶ丘・富里

# 豊四季台西地区計画書

## 豊四季台西地区データ

	人口データ	
	平成17年4月1日現在	
	豊四季台西地区	柏市全域
人口(人)	21,107	376,018
世帯数(世帯)	7,963	129,680
4歳以下人口(人)	985	16,713
4歳以下人口比率(%)	4.7	4.4
14歳以下人口(人)	2,730	51,823
14歳以下人口比率(%)	12.9	13.8
65歳以上人口(人)	3,303	58,342
高齢化率(%)	15.6	15.5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 豊四季台西地区社会福祉協議会の概要

平成16年度実績

事務所	会長宅
役員数	13名
運営委員数	35名
部会等	総務部会、福祉部会、ボランティア部会
主な活動	ふれあいサロン、要援護者在宅訪問、地域よろず相談、敬老事業、子どもと高齢者の集会、誕生日ふれあい会、敬老会

### 豊四季台地域ふるさと協議会の概要

平成16年度実績

事務所	豊四季台近隣センター内
役員・運営委員数	60名
専門部	総務部、広報部、文化部、体育部、環境部、福祉部
主な活動	役員会、視察研修、センター大掃除、広報紙発行、写真記録、ビデオ製作、ふれあい文化祭、夏休み子ども映画祭、町会対抗ソフトボール大会、少年町会対抗野球大会、ごみゼロ運動、ふれあいダンスパーティー、生涯学習講座（ヤングの部、中高年の部）

豊四季台西地区懇談会の様子



豊四季台西地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 17 年 7 月 15 日 (金) 15:00~17:00	第 1 回懇談会打ち合せ	1	1	0
第 1 回懇談会	平成 17 年 9 月 8 日 (木) 10:30~12:30	現状の把握と課題の発見	8	3	1
打 ち 合 せ	平成 17 年 10 月 4 日 (火) 17:00~17:30	第 2 回懇談会打ち合せ	1	1	0
第 2 回懇談会	平成 17 年 11 月 9 日 (水) 15:30~16:30	課題に対する解決方法	16	3	2
打 ち 合 せ	平成 17 年 11 月 16 日 (水) 17:00~17:30	第 3 回懇談会打ち合せ	1	1	0
第 3 回懇談会	平成 17 年 12 月 6 日 (火) 15:00~18:00	今後の地域活動に向けて	18	4	2
打 ち 合 せ	平成 18 年 1 月 6 日 (金) 17:00~17:30	確認会議打ち合せ	1	1	0
確 認 会 議	平成 18 年 2 月 13 日 (月) 13:30~16:30	地区計画（案）確認	11	1	1

■会議及び懇談会開催数／全4回開催

■参加延べ人数／地域延べ57名／市社協職員延べ15名／行政職員延べ6名

■会場はいずれも、豊四季台近隣センター

豊四季台西地区計画

豊四季台西地区 地域健康福祉活動

① 住民主体の地域づくり  
を目指して

- 「必要なときに助けあえるような、子どもから、障がい者、高齢者まで、多くの人が互いに思いやれる地域。」「子どもにふるさとだと思ってもらえるような地域。」にするために
- ★回覧をまわすときに一声かけるなど小さなことから始める。
  - ★あいさつ・声かけができるようにする
  - ★子どもは地域の皆で育てるのだという大人の意識変革。
  - ★地域の幅広い活動者が対話できるような場の設定。

よりよい連携の中での  
活動を目指して

②

- ★お互いの活動内容を知るために、活動の場にお互いに招きあったり、互いの活動を情報交換する場を設定する。
- ★町会を中心に地域活動をPRする。
- ★子どもが夢を持ち、健全に育てられるように、幅広い世代間の交流をすすめる。

重点目標

- ★あいさつ・声かけがしあえる地域にする。
- ★話し合いの場をつくる。
- ★人材の育成。
- ★常に新たな活動の立上げに挑戦する。

③ 活動上の悩みの  
解決方法

- ★あいさつを通して向こう三軒両隣の関係づくりをすることで、日頃の活動がやりやすくなる。
- ★日頃の活動を通じて、早めに人材発掘をしていく。それぞれの団体で、リーダーの役割を分担していくことで、後継者の育成をしていく。
- ★新たな活動をはじめることより、現在の活動をお互いに知り合い、互いの活動がより効果的にすすめられるようにする。
- ★困難な相談を受けたときに、行政などの専門分野などに抱え込まずつなげる。

安心して住み続けられる  
地区を目指して

④

- ★連携を生むための会合。
- ★周知の徹底。
- ★後継者を育成する。
- ★回覧と一緒に声かけ・小さな近隣への気配りからはじめる。
- ★顔見知りになりあいさつをし合うこと。
- ★地区社協活動の見直し。
- ★防犯・防災への取り組み。

柏市社会福祉協議会・柏市

豊四季台西地区懇談会のまとめ

①

住民主体の地域づくり  
を目指して

現状

- ◇町会によって、転入者の状況が違い、少子高齢化の状況も様々である。
- ◇地区全体では、柏市の平均に近い少子高齢化率。
- ◇支援が必要な高齢者が多い。
- ◇昔ながらの向こう三軒両隣の付き合いが薄れてきている。

理想

- ◇以前のような向こう三軒両隣の関係が薄れていて共通する住民像を掲げることが難しい、ただし、活動者として描く理想は、「普段から助けあえる、子どもから、障がい者、高齢者まで、多くの人が互いに思いやれる地域。」「子どもにふるさとだと思ってもらえるような地域。」

理想に向けて

- ★回覧をまわすときに一声かけるなど小さなことから始める。
- ★あいさつ・声かけができるようにする。
- ★子どもは地域の皆で育てるのだという大人の意識変革。
- ★地域の幅広い活動者が対話できるような場の設定。

②

よりよい連携の中での  
活動を目指して

現状

- ◇地区社協は、町会や民生児童委員を中心に連携をしている。
- ◇ふるさと協議会のふれあい文化祭では、各団体が協力している。
- ◇各団体は、それぞれの活動を通して、連携をさまざまな団体と持っている。

よりよい連携関係に向けて

- ★お互いの活動内容を知るために、活動の場にお互いに招きあったり、互いの活動を情報交換する場を設定する。
- ★町会を中心に地域活動をPRする。
- ★子どもが夢を持ち、健全に育てられるように、幅広い世代間の交流をすすめる。

③

活動上の悩みの  
解決方法

活動上の課題

- ◇活動者は、それぞれ悩みを抱えこんでいる人が多い。
- ◇活動のPRが難しい。
- ◇新しい活動者が入ってこない。

解決方法

- ★あいさつを通して向こう三軒両隣の関係づくりをすることで、日頃の活動がやりやすくなる。
- ★日頃の活動を通じて、早めに人材発掘をしていく。それぞれの団体で、リーダーの役割を分担していくことで、後継者の育成をしていく。
- ★新たな活動をはじめることより、現在の活動をお互いに知り合い、互いの活動がより効果的にすすめられるようにする。
- ★困難な相談を受けたときに、行政などの専門分野などに抱え込まずつなげる。

④

安心して住み続けられる  
地区を目指して

現状

- ◇【良いところ】便利な環境で新しい若い世帯が転入してきている。意識が高く、積極的に地域で活動している人が多い。
- ◇【問題なところ】支援が必要な人が多く、活動者は、負担を抱え込んでいる。次の担い手が心配。

これからの地区に向けて

- ★連携を生むための会合。
- ★周知の徹底。
- ★後継者を育成する。
- ★回覧と一緒に声かけ・小さな近隣への気配りからはじめる。
- ★顔見知りになりあいさつをしあうこと。
- ★地区社協活動の見直し。
- ★防犯・防災への取り組み。

— 豊四季台西地区活動マップ — その1 —

地図記号一覧

数字・・・町会・自治会・区等

⊙<sub>老</sub>・・・老人クラブ・老人会

⊙<sub>子</sub>・・・子ども会・親子会

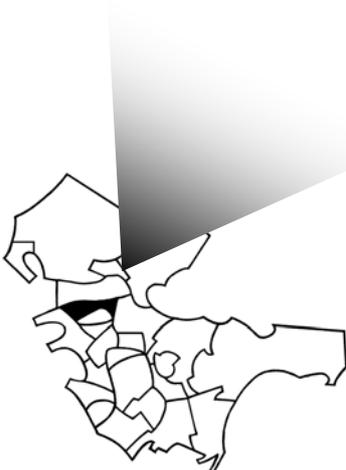
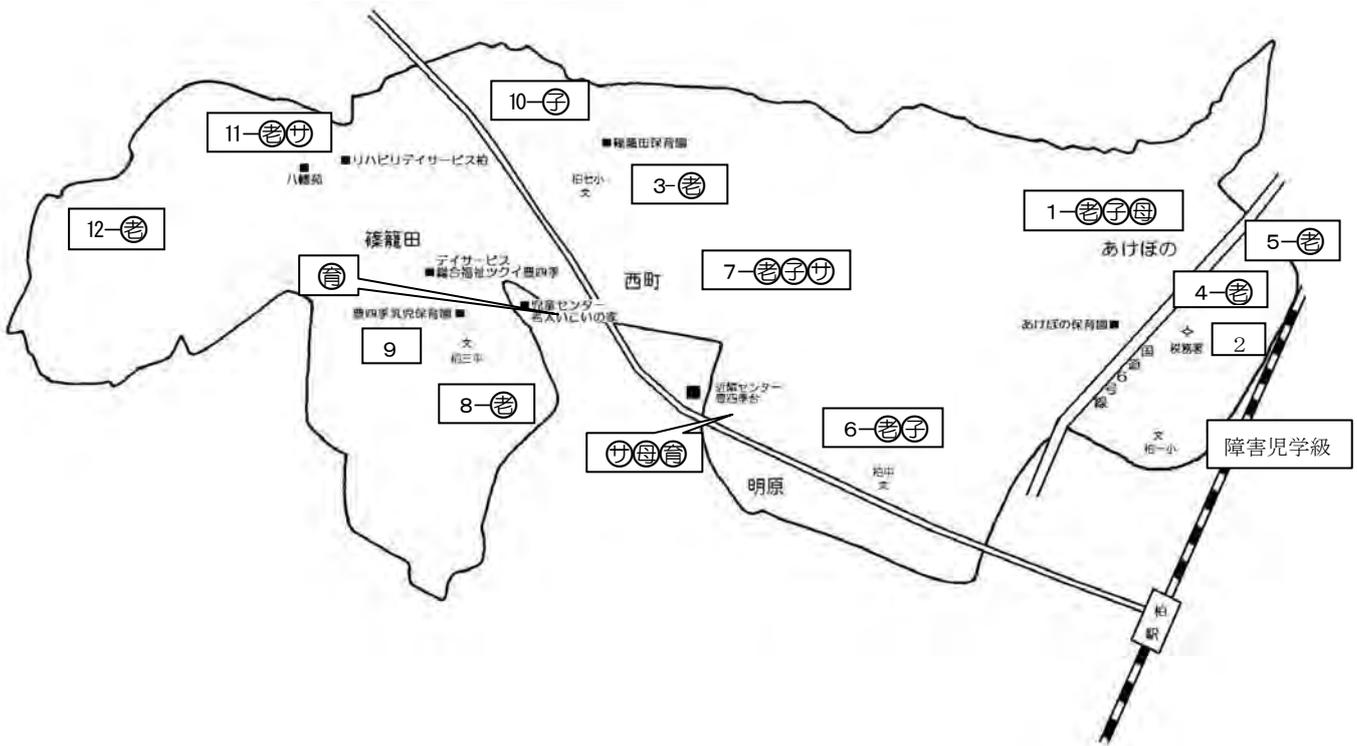
⊙<sub>サ</sub>・・・おせっ会・サロン活動

⊙<sub>母</sub>・・・母と子の集い（地区内全域）

⊙<sub>育</sub>・・・子育てサロン・自主育児サークル等

⊙<sub>障</sub>・・・障がい者（児）に関する活動

⊙<sub>そ</sub>・・・その他



	町会・自治会・区等
1	あけぼの町会
2	メイツ柏自治会
3	篠籠田町会
4	桃山町会
5	千代田橋町会
6	柏市明原町会
7	柏市西町町会
8	かやの町会
9	今泉台町会
10	サルビア会
11	八ツ原町会
12	四季原町会

— 豊四季台西地区活動マップ — その2 —

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

〈数字〉町会・自治会・区等			〈㉞〉老人クラブ・老人会		〈㉟〉子ども会・親子会	
	名 称	総世帯数(加入世帯)	名 称	会員数	名 称	会員数
1	あけぼの町会	2,012(1,435)	あけぼの第一クラブ あけぼの第二クラブ	55 59	あけぼの親子会	120
2	メイツ柏自治会	150(146)				
3	篠籠田町会	1,567(1,277)	柏西会	54	篠籠田子ども会4団体	250
4	桃山町会	210(180)	桃山 友の会	55		
5	千代田橋町会	80(80)	千代田橋 なの花会	55		
6	柏市明原町会	2,110(1,304)	明原第一寿会 明原第二寿会	56 84	明原親子会	150
7	柏市西町町会	530(430)	西寿会	71	西町子ども会	
8	かやの町会	220(152)	かやの会			
9	今泉台町会	112(111)				
10	サルビア会	209(183)			サルビア子ども会 サルビア中学生会	10 10
11	八ツ原町会	467(441)	八ツ原弥生会	53		
12	四季原町会	296(238)	還喜会	52		

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

町会・自治会・区等		〈㊦〉おせっ会・サロン活動		制度ボランティア	
	名 称	名 称	会 場	民生委員 児童委員	健康づく り推進員
1	あけぼの町会			7(5)	4(4)
2	メイツ柏自治会			1(1)	1(0)
3	篠籠田町会			4(4)	4(4)
4	桃山町会			1(1)	1(0)
5	千代田橋町会			1(0)	1(1)
6	柏市明原町会			6(6)	5(5)
7	柏市西町町会	ふれあいサロンこぶしの会	西町ふるさと会館	2(2)	2(2)
8	かやの町会			1(1)	1(1)
9	今泉台町会			1(0)	1(1)
10	サルビア会			1(1)	1(1)
11	八ツ原町会	よつ葉会	八ツ原町会ふるさと会館	2(2)	1(1)
12	四季原町会			1(1)	1(1)
	地区全域	ゆずり葉の会ふれあいサロン	豊四季台近隣センター	主任児童委員 2(2)	食生活推進員 3(2)

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位に活動を示したものです。

※民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、（ ）内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

〈㊧〉子育てサロン・自主育児サークル等

名 称	会 場

〈㊨〉母と子の集い（地区内全域）

名 称	会 場
母と子の集い	豊四季台KC 1/月 あけぼの町会ふるさと会館 6/年

〈㊩〉障がい者（児）に関する活動

名 称	会 場

〈㊪〉その他

名 称	会 場
あけぼの福祉まつり	柏一小（あけぼの町会）

# 豊四季台地区計画書

## 豊四季台地区データ

人口データ	平成 17 年 4 月 1 日現在	
	豊四季台地区	柏市全域
人 口(人)	8, 0 3 2	3 7 6, 0 1 8
世 帯 数(世帯)	4, 7 5 6	1 2 9, 6 8 0
4 歳以下人口(人)	2 1 6	1 6, 7 1 3
4歳以下人口比率(%)	2. 7	4. 4
14 歳以下人口(人)	6 5 6	5 1, 8 2 3
14歳以下人口比率(%)	8. 2	1 3. 8
65 歳以上人口(人)	2, 3 4 1	5 8, 3 4 2
高 齢 化 率(%)	2 9. 1	1 5. 5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 豊四季台地区社会福祉協議会の概要

平成 16 年度実績

事 務 所	豊四季台団地自治会事務所内
役 員 数	12 名
運営委員数	65 名
部 会 等	総務部会、事業部会、ボランティア部会
主な活動	広報紙発行、住民福祉アンケート、ふれあいサロン、ふれあい喫茶、ふれあいの店とよしき、見守り声かけ運動、高齢者生活支援事業、男性料理教室、地域よろず相談、敬老会、ひとり暮らし高齢者の集い、ふれあいの集い、新春輪投げ大会、健康福祉講座

### 豊四季台地域ふるさと協議会の概要

平成 16 年度実績

事 務 所	豊四季台近隣センター
役員・運営委員数	13 名・40 名
専 門 部	総務部、広報部、福祉部、環境部、文化部、体育部
主な活動	センターだより発行、写真・ビデオ作成、文化祭、夏休み子供映画会、ソフトボール大会、少年野球大会、ゴミゼロ運動、水環境プランたよりの作成、緑と公演を愛する会への協力、ふれあいダンスパーティー、地区社協事業協力

## 豊四季台地区懇談会の様子



## 豊四季台地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 17 年 7 月 20 日 (水) 15:00～16:00	第 1 回懇談会打ち合せ	1	1	0
第 1 回懇談会	平成 17 年 7 月 28 日 (木) 14:00～16:00	現状の把握と課題の発見	14	2	3
打 ち 合 せ	平成 17 年 8 月 11 日 (木) 16:00～17:00	第 2 回懇談会打ち合せ	1	1	0
第 2 回懇談会	平成 17 年 9 月 20 日 (火) 13:00～16:30	課題に対する解決方法	26	5	1
打 ち 合 せ	平成 17 年 9 月 21 日 (水) 16:00～17:00	第 3 回懇談会打ち合せ	1	1	0
第 3 回懇談会	平成 17 年 10 月 6 日 (木) 13:30～16:40	今後の地域活動に向けて	26	4	1
打 ち 合 せ	平成 18 年 1 月 12 日 (木) 15:00～16:00	確認会議打ち合せ	1	1	0
確 認 会 議	平成 18 年 2 月 9 日 (木) 13:30～16:30	地区計画（案）確認	11	1	2

■会議及び懇談会開催数／全4回開催

■参加延べ人数／地域延べ81名／市社協職員延べ16名／行政職員延べ7名

■会場はいずれも、団地集会所

豊四季台地区計画

豊四季台地区 地域健康福祉活動

① 住民主体の地域づくり  
を目指して

- ★身近なところから挨拶を実施し、輪を広げ行事への参加を促す。
- ★特に三世代がかかわれるように事業をすすめる。

② よりよい連携の中での  
活動を目指して

- ★まず、さまざまな団体との意見交換の場を設ける。
- ★各々の役割を理解する。
- ★新しい協力者が参加できる環境をつくる。

重点目標

- ☆知り合いの輪を広げて、みんなが多く希望している活動に取り組んでいく。
- ☆課題としては、一切参加しない人へのつながりをいかにするか考える。
- ☆日常生活で困ったら（緊急時24時間体制）気軽に相談できる仕組みをつくる。
- ☆みんなが、話し合いや交流の場を持ち、災害時等困ったときに助け合えるしくみづくり。

③ 活動上の悩みの  
解決方法

- ★リーダー確保のため、他の団体との意見交換の場を設定する。
- ★新たな担い手の発掘と、活動しやすい雰囲気づくりと環境整備。小さいころから担い手を育てていく活動を考える。
- ★理解を深めるため、PR方法を考える。
- ★個人情報の取り扱いについて明確な方針を行政に求める。

④ 安心して住み続けられる  
地区を目指して

- ★ニーズキャッチする取り組み。
- ★無関心な人へ関心を高める取り組み。
- ★ふれあいの場と時間をつくる取り組み。
- ★気軽に相談できる人を持つ取り組み。
- ★閉じこもりを防ぐ取り組み。
- ★地区社協をPRする取り組み。
- ★団結し和やかに物事をする取り組み。
- ★環境の変化に対応できない人を支えるしくみづくり。

柏市社会福祉協議会・柏市

豊四季台地区懇談会のまとめ

①

住民主体の地域づくり  
を目指して

現状

◇自己中心の人や高齢者世帯が増加しており、日常生活での関係が希薄になってきている。

理想

◇知り合いの輪を広げ、お互いに話し合  
いができる住民関係。  
◇三世代が地域で交流しているまち。

理想に向けて

★身近なところから挨拶を実施し、輪を  
広げ行事への参加を促す。  
★特に三世代がかかわれるように事業を  
すすめる。

②

よりよい連携の中での  
活動を目指して

現状

◇個々の活動が豊かで、さまざまな団体と  
連携しながら活動をしている。

よりよい連携関係に向けて

★まず、さまざまな団体との意見交換の  
場を設ける。  
★各々の役割を理解する。  
★新しい協力者が参加できる環境をつく  
る。

③

活動上の悩みの  
解決方法

活動上の課題

◇活動者が熱心に活動している様子を理  
解してくれている住民が少ない。

解決方法

★リーダー確保のため、他の団体との意  
見交換の場を設定する。  
★新たな担い手の発掘と、活動しやすい  
雰囲気作りと環境整備。小さいころか  
ら担い手を育てていく活動を考える。  
★理解を深めるため、PR方法を考える。  
★個人情報の取り扱いについて明確な方  
針を行政に求める。

④

安心して住み続けられる  
地区を目指して

現状

◇【良いところ】活動者が熱心。生活環  
境が同じなので接点を持ちやすい。  
◇【問題なところ】精神疾患や認知症が  
増えてきており地域だけの対応が困  
難である。

これからの地区に向けて

★ニーズキャッチする取り組み。  
★無関心な人へ関心を高める取り組み。  
★ふれあいの場と時間をつくる取り組  
み。  
★気軽に相談できる人を持つ取り組み。  
★閉じこもりを防ぐ取り組み。  
★地区社協をPRする取り組み。  
★団結し和やかに物事をする取り組み。  
★環境の変化に対応できない人を支える  
しくみづくり。

豊四季台地区活動マップ その1

地図記号一覧

- 数字・・・町会・自治会・区等
- ⊙(老)・・・老人クラブ・老人会
- ⊙(子)・・・子ども会・親子会
- ⊙(サ)・・・おせっ会・サロン活動
- ⊙(母)・・・母と子の集い（地区内全域）
- ⊙(育)・・・子育てサロン等
- ⊙(障)・・・障害児（者）に関する活動
- ⊙(その他)・・・その他



	町会・自治会・区等
1	豊四季台団地自治会

豊四季台地区活動マップ その2

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

〈数字〉町会・自治会・区等		〈㊟〉老人クラブ・老人会		〈㊦〉子ども会・親子会	
名 称	総世帯数(加入世帯)	名 称	会員数	名 称	会員数
1 豊四季台団地自治会	4,756(3,000)	豊四季台クラブ梅の会	54	—	—
		豊四季台クラブ梅の会	51		

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

〈数字〉町会・自治会・区等		〈㊦〉おせっかい・サロン活動		制度ボランティア	
名 称	総世帯数(加入世帯)	名 称	会 場	民生委員 児童委員	健康づくり 推進員
1 豊四季台団地自治会	4,756(3,000)	ふれあいサロン	豊四季台団地集会所	15 (15)	12 (12)
		ふれあい喫茶にここサロン	豊四季台団地商店会にここサロン		
				主任児童委員	食生活推進員
				2 (2)	3 (1)

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位の活動を示したものです。  
 ※民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、（ ）内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

〈㊦〉子育てサロン・自主育児サークル等

名称	会場
わたげの会「たんぼぼ」	豊四季台児童センター
NPOこどもスペース	豊四季台近隣センター

〈㊦〉母と子の集い（地区内全域）

名称	会場
母と子の集い	豊四季台近隣センター

〈㊦〉障がい者（児）に関する活動

名称	会場
豊四季台作業所	豊四季台地名店会

〈㊦〉その他

名称	会場
ふれあいの店・とよしき	豊四季台地名店会
チューリップの会	保育園
柏市遊歩会	
ウォーキング講座	
いきがい活動通所支援事業	老人憩いの家
豊四季台地域よろず相談	豊四季台近隣センター

# 旭町地区計画書

## 旭町地区データ

	人口データ	
	平成 17 年 4 月 1 日現在	
	旭町地区	柏市全域
人 口(人)	10,932	376,018
世 帯 数(世帯)	6,024	129,680
4 歳以下人口(人)	634	16,713
4歳以下人口比率(%)	5.8	4.4
14 歳以下人口(人)	1,577	51,823
14歳以下人口比率(%)	14.4	13.8
65 歳以上人口(人)	1,311	58,342
高 齢 化 率(%)	12.0	15.5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 旭町地区社会福祉協議会の概要

平成 16 年度実績

事 務 所	旭町近隣センター内
役 員 数	13名
運営委員数	26名
部 会 等	事業部会、親睦部会、ボランティア部会、広報部会
主な活動	広報紙発行、介護事業要望等のアンケート調査、視察研修、敬老会、ゆうゆうサロン、クレヨン子育てサロンとお話し会、ふれあい訪問、ふれあい盆踊、ふれあい運動会、近隣センター祭り、旭東小祭り、G・G大会、世代間交流教室事業

### 旭町近隣センター運営協議会の概要

平成 16 年度実績

事 務 所	旭町近隣センター内
役員・運営委員数	27名
専 門 部	広報スタッフ
主な活動	定期総会、役員会、広報紙発行近隣センター祭り（地区社協と共催）

## 旭町地区懇談会の様子



## 旭町地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 17 年 7 月 15 日 (金) 15:30～17:00	第 1 回懇談会打ち合せ	2	1	0
第 1 回懇談会	平成 17 年 8 月 10 日 (水) 9:30～12:30	現状の把握と課題の発見	8	2	3
打 ち 合 せ	平成 17 年 8 月 24 日 (水) 13:30～16:00	第 2 回懇談会打ち合せ	2	1	0
第 2 回懇談会	平成 17 年 9 月 26 日 (月) 9:30～12:30	課題に対する解決方法	17	3	1
打 ち 合 せ	平成 17 年 10 月 26 日 (水) 15:30～17:00	第 3 回懇談会打ち合せ	1	1	0
第 3 回懇談会	平成 17 年 11 月 29 日 (火) 14:00～17:00	今後の地域活動に向けて	12	3	3
打 ち 合 せ	平成 17 年 12 月 27 日 (火) 9:00～10:00	確認会議打ち合せ	1	1	0
確 認 会 議	平成 18 年 1 月 23 日 (月) 9:30～12:00	地区計画（案）確認	8	2	2

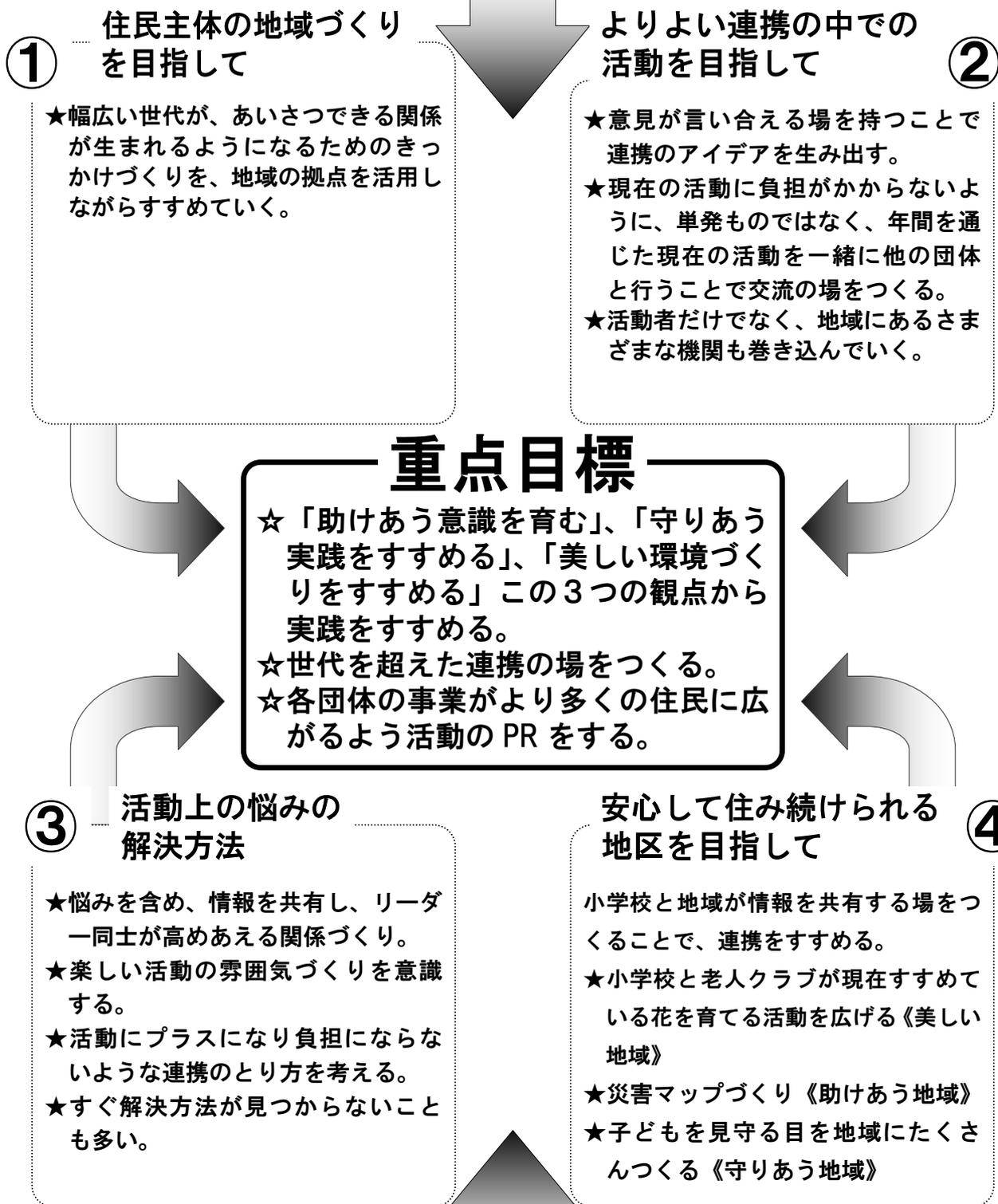
■会議及び懇談会開催数／全8回開催

■参加延べ人数／地域延べ51名／市社協職員延べ14名／行政職員延べ9名

■会場はいずれも、旭町近隣センター

旭町地区計画

# 旭町地区 地域健康福祉活動



柏市社会福祉協議会・柏市

## 旭町地区懇談会のまとめ

①

### 住民主体の地域づくりを目指して

#### 現状

◇便利さを求めて新しい住民が増えているが、それぞれ忙しく生活しており、昔ながらの近所つきあいが薄くなってきている。

#### 理想

◇地域に住む世代を越えた多様な住民がお互いを知り、いざというときに助けあえるような関係を持つ。

#### 理想に向けて

★幅広い世代が、あいさつできる関係が生まれるようになるためのきっかけづくりを、地域の拠点を活用しながらすすめていく。

③

### 活動上の悩みの解決方法

#### 活動上の課題

◇担い手が少ないため、活動している人の負担が大きい。活動資金の負担も大きくなっている。さらに、個人情報保護の問題から情報の伝達が不便になり、活動の継続に苦労している。

#### 解決方法

★悩みを含め、情報を共有し、リーダー同士が高めあえる関係づくり。  
★楽しい活動の雰囲気づくりを意識する。  
★活動にプラスになり負担にならないような連携のとり方を考える。  
★すぐ解決方法が見つからないことも多い。

②

### よりよい連携の中での活動を目指して

#### 現状

◇町会・自治会をはじめ、地域で活動している諸団体が、互いに事業を行う際に協力し合っている。

#### よりよい連携関係に向けて

★意見が言い合える場を持つことで連携のアイデアを生み出す。  
★現在の活動に負担がかからないように、単発ものではなく、年間を通じた現在の活動を一緒に他の団体と行うことで交流の場をつくる。  
★活動者だけでなく、地域にあるさまざまな機関も巻き込んでいく。

④

### 安心して住み続けられる地区を目指して

#### 現状

【良いところ】  
事業が活発で充実しており、組織内の連携が取れている。  
【問題なところ】  
多様な住民がおり、問題を抱えている人も多い。そのため、防犯の面で心配がある。

#### これからの地区に向けて

小学校と地域が情報を共有する場をつくることで、連携をすすめる。  
◇小学校と老人クラブが現在すすめている花を育てる活動を広げる《美しい地域》  
◇災害対策マップづくり《助けあう地域》  
◇子どもを見守る目を地域にたくさんつくる《守りあう地域》

旭町地区活動マップ

その1

地図記号一覧

数字・・・町会・自治会・区等

⊙老・・・老人クラブ・老人会

⊙子・・・子ども会・親子会

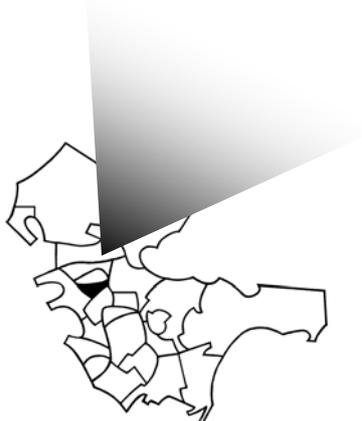
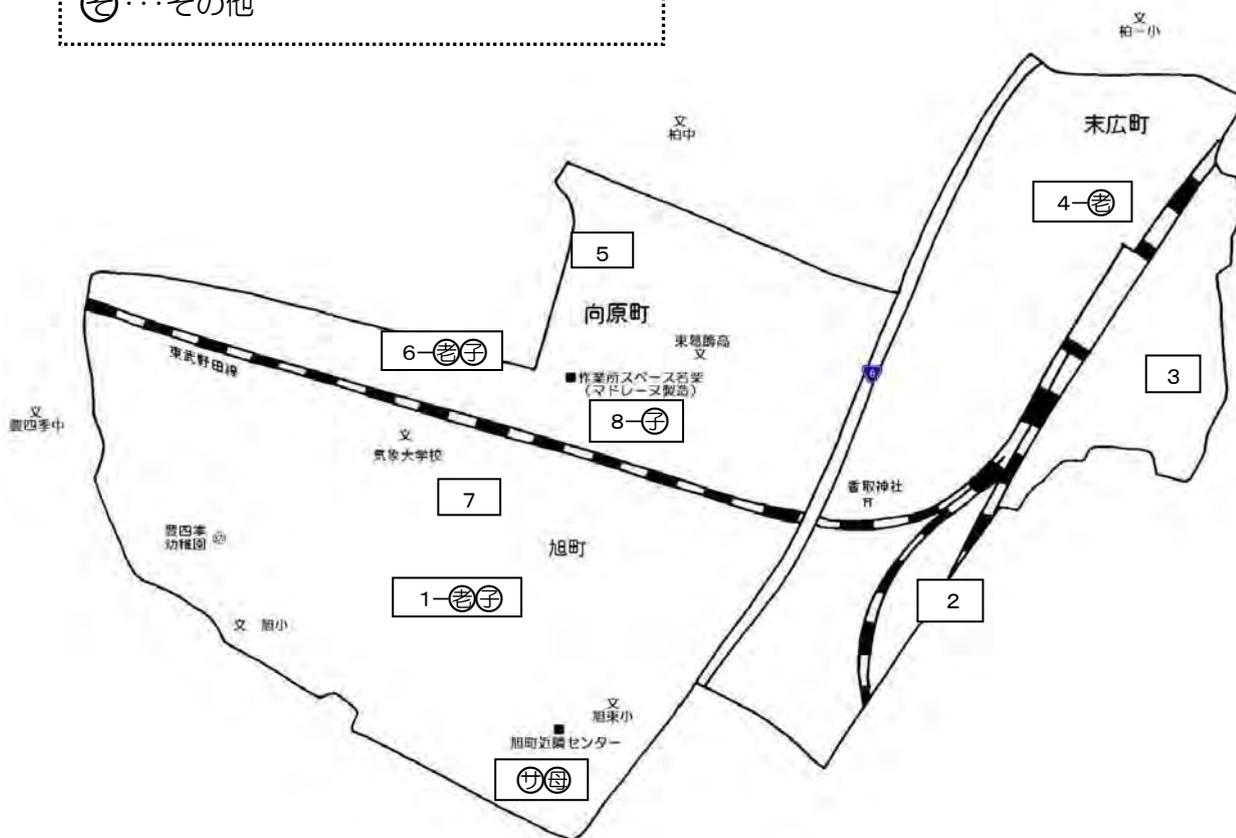
⊙サ・・・おせっ会・サロン活動

⊙母・・・母と子の集い（地区内全域）

⊙育・・・子育てサロン・自主育児サークル等

⊙障・・・障がい者（児）に関する活動

⊙その他



	町会・自治会・区等
1	旭町町会
2	三区二丁目町会
3	小柳町町会
4	末広町町会
5	柏市向原町会
6	旭町七・八丁目町会
7	気象大学校智明寮町会
8	JR向原自治会

# 旭町地区活動マップ

# その2

## ■ 町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

〈数字〉町会・自治会・区等		〈老〉老人クラブ・老人会		〈子〉子ども会・親子会	
名 称	総世帯数(加入世帯)	名 称	会員数	名 称	会員数
1 旭町町会	4,650 (2,750)	長寿クラブ	57	旭町若草子ども会	121
		あさひシニアクラブ	54	旭町親子会	153
		伯寿クラブ	50	一本松子ども会	
		旭寿老人クラブ	32		
		豊寿クラブ	38		
		旭町福寿クラブ	51		
2 三区二丁目町会	204 (204)				
3 小柳町町会	120 (120)				
4 末広町町会	171 (141)	末広 柏寿クラブ	42		
5 柏市向原町会	100 (70)				
6 旭町七・八丁目町会	435 (393)	松寿会	50	旭町七丁目子ども会	46
7 気象大学校智明寮町会	57 (5)				
8 J R向原自治会	287 (287)			向原子ども会	38

## ■ 町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

町会・自治会・区等		〈おせっ会〉おせっ会・サロン活動		制度ボランティア	
名 称	名 称	会 場	民生委員 児童委員	健康づく り推進員	
1 旭町町会			15 (15)	11 (11)	
2 三区二丁目町会			1 (0)	11 (0)	
3 小柳町町会			1 (1)	1 (0)	
4 末広町町会			1 (1)	1 (1)	
5 柏市向原町会			1 (1)	2 (0)	
6 旭町七・八丁目町会			1 (1)	1 (1)	
7 気象大学校智明寮町会			1 (0)	1 (0)	
8 J R向原自治会			1 (1)	2 (2)	
地区全域	ゆうゆうサロン	旭町近隣センター	主任児童委員 2 (2)	食生活推進員 3 (3)	

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位に活動を示したものです。

※民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、（ ）内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

## ■ 地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

### 〈育〉子育てサロン・自主育児サークル等

名 称	会 場
わんぱく広場（1歳半～2歳）	旭町近隣センター
クレヨン子育てサロン（3歳～）	旭町近隣センター

### 〈母〉母と子の集い（地区内全域）

名 称	会 場
母と子の集い（0歳～1歳半）	旭町近隣センター

### 〈障〉障がい者（児）に関する活動

名 称	会 場

### 〈其〉その他

名 称	会 場
パトロール	老人クラブ

# 新富地区計画書

## 新富地区データ

	人口データ	
	新富地区	柏市全域
人口(人)	7,348	376,018
世帯数(世帯)	6,498	129,680
4歳以下人口(人)	343	16,713
4歳以下人口比率(%)	4.7	4.4
14歳以下人口(人)	1,011	51,823
14歳以下人口比率(%)	13.8	13.8
65歳以上人口(人)	1,062	58,342
高齢化率(%)	14.5	15.5

平成17年4月1日現在

※上記データは、柏市社協の独自データです。  
(注) 人口に豊四季在住人口は含まれていません。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 新富地区社会福祉協議会の概要

平成16年度実績

事務所	会長宅
役員数	11名
運営委員数	35名
部会等	総務広報部会、ボランティア部会
主な活動	広報紙発行、ボランティア育成講座、健康講座、介護予防講座、ふれあいサロン、要援護者在宅訪問、世代間交流教室、敬老の集い、三世代ふれあい運動会、ひとり暮らし高齢者の集い

### 新富地域ふるさと協議会の概要

平成16年度実績

事務所	新富近隣センター
役員・運営委員数	16名・100名
専門部	総務部、健康福祉部、文化部、青少年部、環境部、広報部
主な活動	グランドゴルフ、ふれあい運動会、文化祭、ゴミゼロ運動、センターの環境美化、手賀沼船上見学会、広報紙発行

## 新富地区懇談会の様子



## 新富地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 17 年 7 月 12 日 (火) 13:00～15:00	第 1 回懇談会打ち合せ	3	1	0
第 1 回懇談会	平成 17 年 7 月 29 日 (金) 10:00～12:00	現状の把握と課題の発見	1 2	2	4
打 ち 合 せ	平成 17 年 8 月 31 日 (水) 16:00～17:00	第 2 回懇談会打ち合せ	1	1	0
第 2 回懇談会	平成 17 年 9 月 3 日 (土) 9:30～12:00	課題に対する解決方法	2 8	3	4
打 ち 合 せ	平成 17 年 9 月 14 日 (水) 10:00～11:00	第 3 回懇談会打ち合せ	2	1	0
第 3 回懇談会	平成 17 年 9 月 26 日 (月) 13:30～16:30	今後の地域活動に向けて	2 4	2	3
打 ち 合 せ	平成 18 年 2 月 10 日 (金) 11:00～12:00	確認会議打ち合せ	1	1	0
確 認 会 議	平成 18 年 2 月 23 日 (木) 10:00～12:00	地区計画（案）確認	9	1	5

■会議及び懇談会開催数／全4回開催

■参加延べ人数／地域延べ80名／市社協職員延べ12名／行政職員延べ16名

■会場はいずれも、新富近隣センター

新富地区計画

新富地区 地域健康福祉活動

**① 住民主体の地域づくりを目指して**

- ★町会の必要性をアピールしていく。
- ★地域・学校・家庭の役割を明確にする。
- ★主に子供を通じた活動を展開していく。
- ★色々な行事を通じて交流を図る。

**② よりよい連携の中での活動を目指して**

- ★活動は、町会単位を中心とし、さらに細かい班単位を中心として推進する。
- ★新富地区内で活動している組織が、何でも気軽に話し合い・連携ができる場をつくる。
- ★新富地区内で活動している組織が、その目的・役割を明確に持ち、個々の活動を充実させる。
- ★組織間の情報の共有を図ると共に、住民へ発信して知る・理解する・活動参加へとつなげる。そのための人的な養成に取り組む。

**重点目標**

- ★リーダーや担い手の確保のための活動。
- ★各組織グループの連携のための集まりや活動。
- ★平常時や災害時にも対応できる安心安全な地域を目指す防犯活動。
- ★情報が隅々までいきわたる方策の検討と体制づくり。
- ★活動しやすくなるよう弊害となっている環境の整備。

**③ 活動上の悩みの解決方法**

- ★（リーダーや担い手）各役員や担い手の役割を明確にし、役割分担をすると共に段階的に育てていくなどの仕組みづくり。
- ★（活動内容）小さいころの思い出づくりや大人になったときに次世代に伝えていく取り組み。
- ★（拠点）学校やふるさと会館など身近な現存施設の活用。気軽に利用できるバスの導入を働きかける。
- ★（情報）組織同士のつながりや連絡網の整備、活動を広く知らす広報（回覧などによる）、啓発の充実。

**④ 安心して住み続けられる地区を目指して**

- ★意見交換の場を設ける。行事の評価により次の事業へ反映させるようにする。子供との事業などの協働活動を通じてグループ間の連携強化。
- ★町会に入りやすい環境をつくるとともに、役員の負担を軽減する（部員の巻き込み方の検討）。
- ★活動の担い手を増やすために情報を末端まで提供する。

柏市社会福祉協議会・柏市

## 新富地区懇談会のまとめ

①

### 住民主体の地域づくりを目指して

#### 現状

◇町会により、新旧うまく付き合っている地区と、マンションや商店主との付き合いが希薄な地域もある。趣味的な活動や、町会での余暇活動でのつながりはあるものの、地域的な活動には比較的協力が得られないように思える。

#### 理想

- ◇全世帯が町会加入を原則に、リーダーシップが発揮できる住民。
- ◇住民が責任をもち、近隣同士が助け合い、特に地域の子供に目を向け見守れる住民。

#### 理想に向けて

- ★町会の必要性をアピールしていく。
- ★地域・学校・家庭の役割を明確にする。
- ★主に子供を通じた活動を展開していく。
- ★色々な行事を通じて交流を図る。

②

### よりよい連携の中での活動を目指して

#### 現状

◇町会や自治会、地区社協、民生委員・児童委員（主任児童委員）や柏市民健康づくり推進員などの制度ボランティア、在宅介護支援センター、行政などが相互に連携をとりながら活動をしている。

#### よりよい連携関係に向けて

- ★活動は、町会単位を中心とし、さらに細かい班単位を中心として推進する。
- ★新富地区内で活動している組織が、何でも気軽に話し合い・連携ができる場をつくる。
- ★新富地区内で活動している組織が、その目的・役割を明確に持ち、個々の活動を充実させる。
- ★組織間の情報の共有を図ると共に、住民へ発信して知る・理解する・活動参加へとつなげる。そのための人的な養成に取り組む。

③

### 活動上の悩みの解決方法

#### 活動上の課題

◇活動の担い手の不足と養成・研修が必要。活動拠点の不足。新規事業への理解が得られにくい。情報が得られにくい。

#### 解決方法

- ★（リーダーや担い手）各役員や担い手の役割を明確にし、役割分担をすると共に段階的に育てていくなどの仕組みづくり。
- ★（活動内容）小さいころの思い出づくりや大人になったときに次世代に伝えていく取り組み。
- ★（拠点）学校やふるさと会館など身近な現存施設の活用。気軽に利用できるバスの導入を働きかける。
- ★（情報）組織同士のつながりや連絡網の整備、活動を広く知らす広報（回覧などによる）、啓発の充実。

④

### 安心して住み続けられる地区を目指して

#### 現状

- ◇【良いところ】各地域福祉活動の役員の連携が取れている。
- ◇【問題なところ】後継者が育たない。町会の未加入者が増えている。

#### これからの地区に向けて

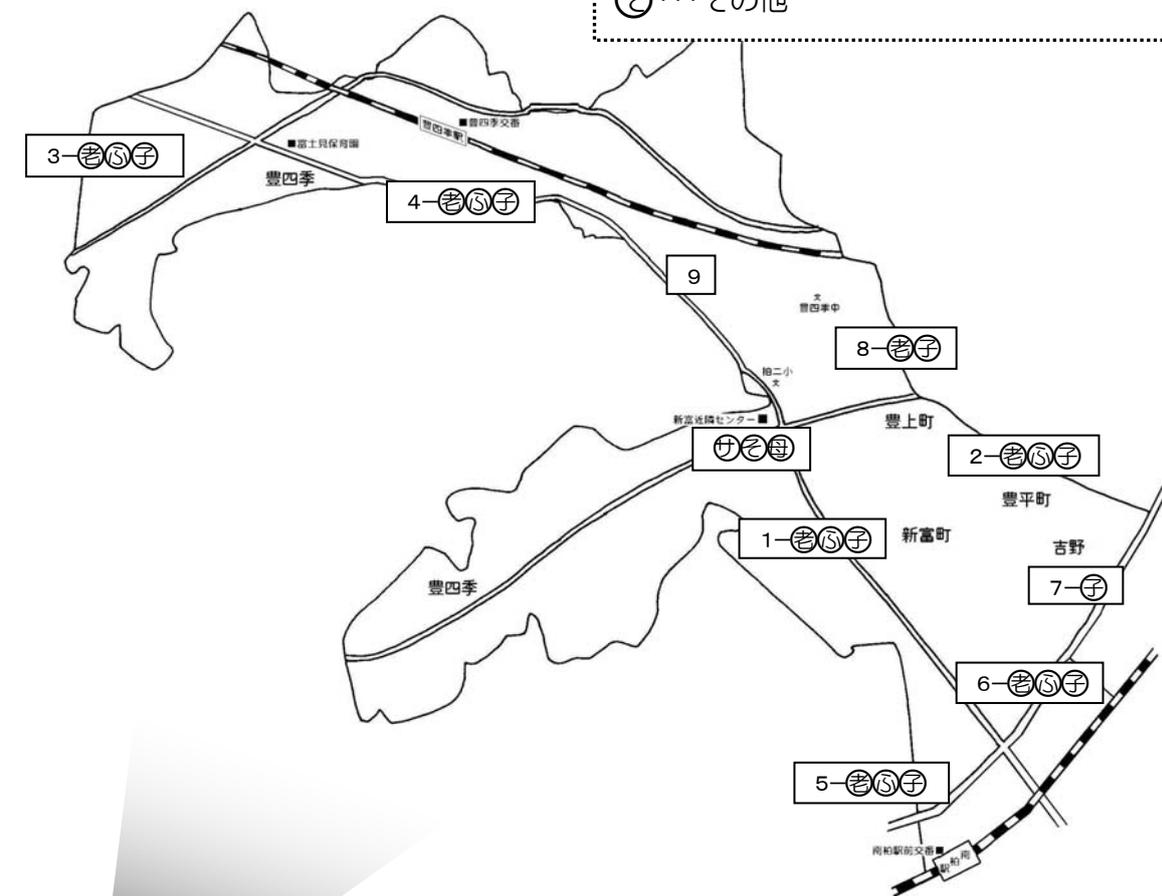
- ★意見交換の場を設ける。行事の評価により次の事業へ反映させるようにする。子供との事業などの協働活動を通じてグループ間の連携強化。
- ★町会に入りやすい環境をつくるとともに、役員の負担を軽減する（部員の巻き込み方の検討）。
- ★活動の担い手を増やすために情報を末端まで提供する。

新富地区活動マップ

その1

地図記号一覧

- 数字・・・町会・自治会・区等
- ⊗・・・老人クラブ・老人会
- ⊙・・・子ども会・親子会
- ⊕・・・おせっ会・サロン活動
- ⊕・・・母と子の集い（地区内全域）
- ⊕・・・子育てサロン・自主育児サークル等
- 障・・・障がい者（児）に関する活動
- ⑤・・・ふるさと会館
- ⊗・・・その他



	町会・自治会・区等
1	新富町町会
2	つばめ自治会
3	富士見町町会
4	豊四季町会
5	南柏町会
6	南柏第一住宅自治会
7	吉野町会
8	柏市豊上町々会
9	ベルシェ柏自治会

# 新富地区活動マップ

# その2

## ■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

〈数字〉町会・自治会・区等			〈㊟〉老人クラブ・老人会		〈㊦〉子ども会・親子会	
	名 称	総世帯数(加入世帯)	クラブ名	会員数	名 称	会員数
1	新富町会	1,750(1,580)	ことぶき会	53	新富親子会	271
2	つばめ自治会	255(225)	シルバークラブ	60	つばめ子ども会	50
3	富士見町会	1,010(710)	富寿会	58	富士見町親子会	45
4	豊四季町会	1,550(1,400)	寿楽会	50	豊四季親子会	160
5	南柏町会	1,020(530)	瑞穂クラブ	50	南柏親子会	62
6	南柏第一住宅自治会	150(150)	南柏第一クラブ	35	南柏第一住宅親子会	15
7	吉野町会	103(93)			双葉子ども会	50
8	柏市豊上町々会	590(500)	親和クラブ	51	豊上親子会	32
9	ベルシェ柏自治会	40(40)				

## ■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

町会・自治会・区等		〈㊟〉おせっかい・サロン活動		制度ボランティア	
	名 称	名 称	会 場	民生委員 児童委員	健康づく り推進員
1	新富町会			6(6)	4(4)
2	つばめ自治会			1(1)	1(1)
3	富士見町会			3(3)	2(2)
4	豊四季町会			5(5)	3(3)
5	南柏町会			2(2)	2(2)
6	南柏第一住宅自治会			1(1)	1(0)
7	吉野町会			1(1)	1(1)
8	柏市豊上町々会			2(1)	1(1)
9	ベルシェ柏自治会			1(0)	1(0)
	地区全域	ゆうゆうサロン	新富近隣センター	主任児童委員 2(2)	食生活推進員 3(3)

## ■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

### 〈㊟〉子育てサロン・自主育児サークル等

名 称	会 場

### 〈㊟〉母と子の集い（地区内全域）

名 称	会 場
母と子の集い	新富近隣センター

### 〈㊟〉障がい者（児）に関する活動

名 称	会 場

### 〈㊟〉その他

名 称	会 場
フラワー道路を守る会	
青少年健全育成推進協議会	中学校
訪問ボランティアこかぶの会	新富近隣センター
ゆうゆうサロンクローバーの会	新富近隣センター

# 高田地区計画書

## 高田地区データ

	人口データ	
	平成17年4月1日現在	
	高田地区	柏市全域
人口(人)	16,166	376,018
世帯数(世帯)	5,800	129,680
4歳以下人口(人)	794	16,713
4歳以下人口比率(%)	4.9	4.4
14歳以下人口(人)	2,428	51,823
14歳以下人口比率(%)	15.0	13.8
65歳以上人口(人)	2,095	58,342
高齢化率(%)	13.0	15.5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 高田地区社会福祉協議会の概要

平成16年度実績

事務所	高田近隣センター内
役員数	13名
運営委員数	25名
部会等	総務部会、広報部会、ボランティア部会、世代間交流地域福祉部会
主な活動	広報紙発行、ふれあい研修、視察研修、世代間交流教室（ふれあい給食）、敬老事業、三世代ふれあい運動会

### 高田ふるさと協議会の概要

平成16年度実績

事務所	高田近隣センター内
役員・運営委員数	15名
専門部	総務部、文化部、体育部、広報部、環境部、防災部
主な活動	視察研修、地域夏祭り、サークル育成、文化祭、囲碁大会、広報紙発行、ゴミゼロ運動、花いっぱい運動、センター清掃、防災訓練

## 高田地区懇談会の様子



## 高田地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 17 年 8 月 9 日 (火) 16:00～17:00	第 1 回懇談会打ち合せ	2	1	0
第 1 回懇談会	平成 17 年 8 月 27 日 (土) 9:30～11:50	現状の把握と課題の発見	9	3	3
第 2 回懇談会	平成 17 年 9 月 17 日 (土) 9:30～11:45	課題に対する解決方法	18	3	1
第 3 回懇談会	平成 17 年 12 月 10 日 (土) 13:30～16:00	今後の地域活動に向けて	17	3	1
確 認 会 議	平成 18 年 2 月 19 日 (日) 10:00～12:00	地区計画（案）確認	9	1	1

■会議及び懇談会開催数／全5回開催

■参加延べ人数／地域延べ55名／市社協職員延べ11名／行政職員延べ6名

■会場はいずれも、高田近隣センター

高田地区計画

高田地区 地域健康福祉活動

① 住民主体の地域づくり  
を目指して

- ★あいさつ、声をかけ合うことの積み重ねを行い、日頃から関係をつくっていく。
- ★各世代が集まって、話し合う「場」を多くつくる。

② よりよい連携の中での  
活動を目指して

- ★各世代や地域活動している団体が集まって、それぞれの活動を紹介したり情報交換を通じて、団体や個人の相互連携と協力の“きっかけ”をつくっていく。
- ★若い世代や学校関係者も交えて、地域の懇談会を継続して行う。

重点目標

- ★あいさつ、声をかけあうことの積み重ねを行い、日頃からの関係づくり。
- ★地域ぐるみで子育て家庭を支援する活動。
- ★介護予防の取り組みや要援護者を把握する体制づくり。
- ★リーダー、担い手不足を解消するための取り組み。

③ 活動上の悩みの  
解決方法

- ★役員やリーダーの負担を軽減するよう周りがきちんとフォローする。リーダーは、後継者を育てていく工夫を行う。
- ★活動内容をPR（説明）する機会を設け、まずは活動を知ってもらい、そこから人の繋がりを生み、担い手の裾野を広げる。
- ★小さなところでよいので、活動場所、拠点を確保する。

④ 安心して住み続けられる  
地区を目指して

- ★地域の組織力を活かして、地域環境がよくなるよう行政等へ要請するとともに、住民参加の地域見守り活動の取り組みを行う。
- ★だれもが参加できる井戸端会議などの情報交換する場を設け、地域情報の共有化と活動の拡充を図っていく。

柏市社会福祉協議会・柏市

## 高田地区懇談会のまとめ

①

### 住民主体の地域づくりを目指して

#### 現状

- ◇高田地区は、新旧住民の地域が混在する。今後、ますます新住民の転入が予想され、若い世代が個人情報保護もあって、地域や隣人の付き合い方に変化がみられる。
- ◇地域行事への参加、不参加と2極化している。

#### 理想

- ◇だれとでもあいさつでき、知り合い、顔なじみのある地域。知らせあい、誘い合い、相談しあえる関係ができていく地域。
- ◇世代を越えた話合いができ、地域に関心を持った住民が多く住むまち。

#### 理想に向けて

- ★あいさつ、声をかけ合うことの積み重ねを行い、日頃から関係をつくっていく。
- ★各世代が集まって、話し合う「場」を多くつくる。

②

### よりよい連携の中での活動を目指して

#### 現状

- ◇町会をはじめ、民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員、ふるさと協議会、地区社協、学校、体育指導員、老人会、福祉施設など高田地区内の団体が相互に連携しあい、活動を取り組んでいる。
- ◇その一方で、情報のない団体もある。

#### よりよい連携関係に向けて

- ★各世代や地域活動している団体が集まって、それぞれの活動を紹介したり、情報交換を通じて、団体や個人の相互連携と協力の“きっかけ”をつくっていく。
- ★若い世代や学校関係者も交えて、地域の懇談会を継続して行う。

③

### 活動上の悩みの解決方法

#### 活動上の課題

- ◇地域活動のリーダーや担い手を見つけることが難しく、同じ人が色々な役を兼務することになってしまう。
- ◇参加者の固定化と事業のマンネリ化。
- ◇個人情報保護による活動への支障。
- ◇地域活動と家庭の両立。

#### 解決方法

- ★役員やリーダーの負担を軽減するよう周りがきちんとフォローする。リーダーは、後継者を育てていく工夫を行う。
- ★活動内容をPR(説明)する機会を設け、まずは活動を知ってもらい、そこから人の繋がりを生み、担い手の裾野を広げる。
- ★小さなところでよいので、活動場所、拠点を確保する。

④

### 安心して住み続けられる地区を目指して

#### 現状

- 【良いところ】
- ◇高田地区は、なんといっても大堀川の畔の環境が良い。
- 【問題なところ】
- ◇柏警察署があるにもかかわらず、不審者など少し治安が悪い。
- ◇香取台、大山台の地域から国道を越える歩道橋の整備が必要。

#### これからの地区に向けて

- ★地域の組織力を活かして、地域環境が良くなるよう行政等へ要請するとともに、住民参加の地域見守り活動の取り組みを行う。
- ★だれもが参加できる井戸端会議などの情報交換する場を設け、地域情報の共有化と活動の拡充を図っていく。

高田地区活動マップ

その1

地図記号一覧

数字・・・町会、自治会、区等

⊖・・・老人クラブ、老人会

⊕・・・子ども会、親子会

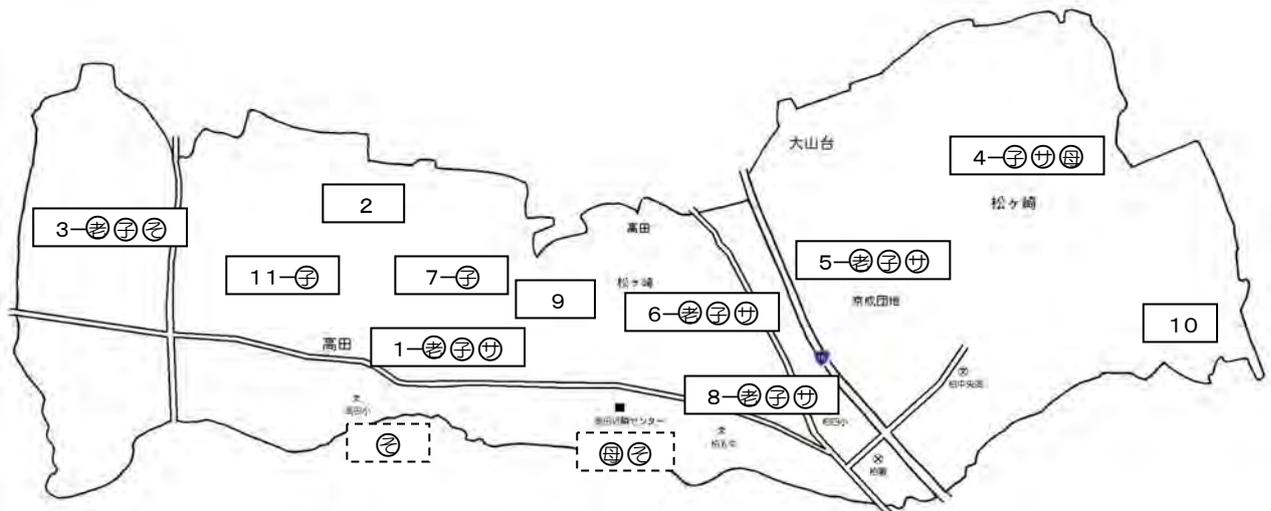
⊗・・・おせっ会、サロン活動

⊙・・・母と子の集い（地区内全域）

⦿・・・子育てサロン・自主育児サークル等

⦿・・・障がい児（者）に関する活動

⦿・・・その他



	町会・自治会・区等
1	高田町会
2	高田川岸自治会
3	梅林町会
4	松ヶ崎町会
5	香取台町会
6	松ヶ丘町会
7	熊野台町会
8	寿町会
9	めじろ台町会
10	クレスト柏自治会
11	オーベル柏自治会

# 高田地区活動マップ

# その2

## ■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

〈数字〉町会・自治会・区等		〈㊟〉老人クラブ・老人会		〈㊤〉子ども会・親子会	
名 称	総世帯数(加入世帯)	クラブ名	会員数	名 称	会員数
1 高田町会	902 ( 847)	高田長寿会	53	篠籠田高田小子ども会	
2 高田川岸自治会	29 ( 29)				
3 梅林町会	981 ( 871)	梅林ことぶき会	55	梅林親子会	
4 松ヶ崎町会	1,857 (1,744)			松ヶ崎親子会	22
				松ヶ崎そよ風子ども会	95
5 香取台町会	363 ( 327)	香取台クラブ	58	香取台親子会	43
6 松ヶ丘町会	540 ( 525)	松ヶ丘クラブ	50	松ヶ丘親子会	78
7 熊野台町会	145 ( 145)			熊野台親子会	24
8 寿町会	650 ( 620)	歓会クラブ	57	寿町親子会	82
9 めじろ台町会	108 ( 108)				
10 クレスト柏自治会	76 ( 76)				
11 オーベル柏自治会	149 ( 130)			オーベル柏子ども会	63

## ■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

町会・自治会・区等		〈㊦〉おせっかい・サロン活動		〈㊧〉その他		制度ボランティア	
名 称	名 称	会 場	名 称	会 場	民生委員 児童委員	健康づく り推進員	
1 高田町会	お達者ふるさとサロン	高田ふれあいセンター			3 (3)	2 (2)	
2 高田川岸自治会					1 (0)	1 (0)	
3 梅林町会			梅林ふれあいサークル	梅林ふるさと会館	3 (3)	2 (2)	
4 松ヶ崎町会	よつたいな	松ヶ崎集会所 松ヶ崎ふるさとセンター			5 (5)	3 (3)	
5 香取台町会	わになろう会	香取台ふるさと会館			1 (1)	1 (1)	
6 松ヶ丘町会	松の実会	松ヶ丘ふるさと会館			2 (2)	1 (1)	
7 熊野台町会					1 (0)	1 (0)	
8 寿町会	ことぶき会ふれあいサロン	寿町会館			2 (2)	2 (2)	
9 めじろ台町会					1 (1)	1 (1)	
10 クレスト柏自治会					2 (0)	欠員	
11 オーベル柏自治会					1 (0)	欠員	
					主任児童委員 2 (2)	食生活推進員 3 (3)	

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位に活動を示したものです。

※民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、（ ）内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

## ■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

### 〈㊨〉子育てサロン・自主育児サークル等

名 称	会 場

### 〈㊩〉母と子の集い（地区内全域）

名 称	会 場
母と子の集い	偶数月：松ヶ崎集会所 奇数月：高田近隣センター

### 〈㊪〉障がい者（児）に関する活動

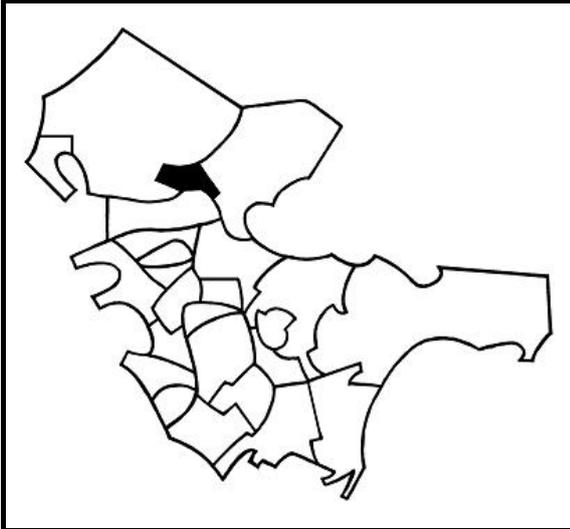
名 称	会 場

### 〈㊫〉その他

名 称	会 場
高田クラブ	高田小学校
世代間交流教室（ふれあい給食）	高田小学校
ウォーキング(柏市民健康づくり推進員)	高田近隣センター
ふれあいリハビリ	高田近隣センター

# 松葉地区計画書

## 松葉地区データ

	人口データ	
	平成17年4月1日現在	
	松葉地区	柏市全域
人口(人)	12,993	376,018
世帯数(世帯)	4,648	129,680
4歳以下人口(人)	408	16,713
4歳以下人口比率(%)	3.1	4.4
14歳以下人口(人)	1,503	51,823
14歳以下人口比率(%)	11.6	13.8
65歳以上人口(人)	1,468	58,342
高齢化率(%)	11.3	15.5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 松葉地区社会福祉協議会の概要

平成16年度実績

事務所	松葉町4-11 松葉地区社会福祉協議会
役員数	16名
運営委員数	59名
部会等	高齢者部会、一般部会、障害者部会、ボランティア部会
主な活動	広報紙発行、アンケート調査、ボランティア育成研修(学習会、福祉施設見学、健康体操講習、手話講座、車いす・高齢者疑似体験)、春・秋の集い(敬老)、七夕まつり、ふるさと祭り、ふれあいチャリティコンサート(障がい者交流)、ふれあい子ども映画会、男の料理教室、車いすの貸出、在宅介護支援相談

### 松葉町地域ふるさとづくり協議会の概要

平成16年度実績

事務所	松葉町4-11 松葉町地域ふるさとづくり協議会
役員・運営委員数	18名
専門部	本部、自治代表部会、総務安全委員会、環境委員会、文化体育委員会
主な活動	ふるさと祭り、広報紙発行、ホームページ開設、シバざくらまつり、防犯パトロール、松葉中学校花壇整備、ゴミゼロ運動、チャリティゴルフ、グランドゴルフ大会、ふれあいむかし遊び、文化祭、新春のつどい、市民講座、防災センター見学、環境施設見学

## 松葉地区懇談会の様子



## 松葉地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 17 年 8 月 1 日 (月) 13:00～13:30	第 1 回懇談会打ち合せ	4	1	0
第 1 回懇談会	平成 17 年 9 月 10 日 (土) 13:00～15:45	現状の把握と課題の発見	1 1	2	3
第 2 回懇談会	平成 17 年 9 月 24 日 (土) 13:00～15:30	課題に対する解決方法	2 5	4	1
第 3 回懇談会	平成 17 年 11 月 5 日 (土) 13:00～15:30	今後の地域活動に向けて	1 5	4	1
確 認 会 議	平成 18 年 2 月 25 日 (土) 13:00～15:00	地区計画（案）確認	7	1	1

■会議及び懇談会開催数／全5回開催

■参加延べ人数／地域延べ62名／市社協職員延べ12名／行政職員延べ6名

■会場はいずれも、松葉近隣センター

松葉地区計画

松葉地区 地域健康福祉活動

**① 住民主体の地域づくりを目指して**

- ★あいさつや声かけを交わし、住民同士のつながりを持っていく。
- ★地域活動の情報を発信し、情熱を持って積極的な働きかけを行う。
- ★小地域単位でだれでも集える場を設け、近隣の輪を広げていく。
- ★個人の自立を尊重しつつ、いざというときのサポート体制を構築する。

**② よりよい連携の中での活動を目指して**

- ★学校、地域に携わる団体が相互連携、協力体制が図られるよう情報・意見交換する機会を設け、より良い関係の実績を積み重ねていく。（地域全体・小地域）
- ★関係機関に相談したり、活動を宣伝しながら協力と連携の輪を広げていく。
- ★中長期的な計画づくり、取り組みができるよう、関係する委員の任期を見直していく。

**重点目標**

- ☆あいさつ運動、声かけ運動への取り組み。
- ☆子育て家庭や高齢者が気軽に集える場の取り組み。
- ☆各種団体が情報交換できる機会の取り組み。特に子ども関係との連携
- ☆地域の担い手を育てる取り組み。

**③ 活動上の悩みの解決方法**

- ★リーダーや担い手は、任期を見直し、後継者を育て、人材を養成する取り組みを行う。また若い世代が入れるポストもついでにつけていく。
- ★各自が負担とならないよう役割の分散化を図っていく。
- ★活動（学習）は、住民の意識を高揚する機会も設け、活動の必要性を理解し、環境を整えようとする。
- ★活動の場を確保し、継続的に活動できるように工夫を凝らす。
- ★頑張りすぎないよう、表彰や評価していただく。参加しやすい、地域に行き届いた身近な活動を展開する。
- ★身近に相談できる環境（拠点）を整備する。

**④ 安心して住み続けられる地区を目指して**

- ★地域内の団体と連携を図る。類似事業は整理していく。
- ★エンジョイパトロールをPRし、活動者は積極的にあいさつを交わす。
- ★マナー（特にペット）の特集を組んだ広報を行う。
- ★町会役員や担い手などの任期を見直し、事業の継続性を図る。
- ★子どもたちを巻き込んだ世代間の活動を展開する。

柏市社会福祉協議会・柏市

## 松葉地区懇談会のまとめ

1

### 住民主体の地域づくりを目指して

#### 現状

- ◇松葉地区は、まつり等の行事が充実し、ふるさと運動を継承している。
- ◇高齢化がすすむ地域。世帯構成（家族形態）や個々の考え方の変容がみられる。
- ◇会社勤務している人は、地域の活動に参加する機会が少ない。

#### 理想

- ◇多くの住民が“コミュニティ活動、ボランティア活動をやってみよう！”という意識をもち、思いやりの心をもった相互扶助の関係づくりがある地域。
- ◇町会等への加入も多く、次世代に継承できる関係づくりがある地域。

#### 理想に向けて

- ★あいさつや声かけを交わし、住民同士のつながりをもっていく。
- ★地域活動の情報を発信し、情熱をもって積極的な働きかけを行う。
- ★小地域単位でだれでも集える場を設け、近隣の輪を広げていく。
- ★個人の自立を尊重しつつ、いざというときのサポート体制を構築する。

3

### 活動上の悩みの解決方法

#### 活動上の課題

- ◇リーダーや担い手が高齢化してきている。
- ◇各種委員の選出に苦慮している。
- ◇個人情報保護の過剰な反応により、活動に支障がでている。
- ◇高齢化が進む地域であるため、病気や介護世帯が多くなってしまわないか不安。

#### 解決方法

- ★リーダーや担い手は、任期を見直し後任を育てる、人材を育成する取り組みを行い、また若い世代が入れるポストもつくっていく。
- ★各自が負担とならないよう役割の分散化を図っていく。
- ★活動は、住民の意識を高揚する機会(学習)や活動の必要性を理解してもらう機会を設け、継続的な活動ができる環境を整えていく。また、楽しく活動できるよう工夫を凝らす。
- ★頑張っている人へは、表彰や評価していく。
- ★だれもが参加しやすい、地域に行き届いた身近な小活動を展開する。
- ★身近に相談できる環境(拠点)を整備する。

2

### よりよい連携の中での活動を目指して

#### 現状

- ◇地域の行事は、ふるさと協議会を中心に地区内の各種団体、商店会等が協力し合うなど、全体の態勢が整っている。
- ◇個々の団体においては、事業を展開するために、より緊密な連携関係を築きたい考えもある。

#### よりよい連携関係に向けて

- ★学校、地域に携わる団体が相互連携、協力体制が図られるよう情報・意見交換する機会を設け、より良い関係の実績を積み重ねていく。(地域全体・小地域)
- ★関係機関に相談したり、活動を宣伝しながら、協力と連携の輪を広げていく。
- ★中期的な計画づくり、取り組みができるよう、関係する委員の任期を見直ししていく。

4

### 安心して住み続けられる地区を目指して

#### 現状

- ◇【良いところ】松葉地区は、各種の行事が活発で充実している。全体的にまとまり感がある地域。交通の便も良く、買物にも便利な地域。公園や緑があり、子どもの姿も多く見られる。エンジョイパトロールに協力してくれる人が多い。
- ◇【問題なところ】交通量が多い。空き巣、車上荒しなどの犯罪が多い。商店街の活性化。ペットによる飼い主のマナー、エチケットが悪い。近所づきあいの希薄化がみられる。

#### これからの地区に向けて

- ★地域内の団体と連携を図る。類似事業は整理していく。
- ★エンジョイパトロールをPRし、活動者は積極的にあいさつを交わす
- ★マナー（特にペット）の特集を組んだ広報を行う。
- ★町会役員や担い手などの任期を見直し、事業の継続化を図る。
- ★子どもたちを巻き込んだ世代間の活動を展開する。

松葉地区活動マップ

その1

地図記号一覧

数字・・・町会・自治会・区等

⊙老・・・老人クラブ・老人会

⊙子・・・子ども会・親子会

⊙サ・・・おせっ会・サロン活動

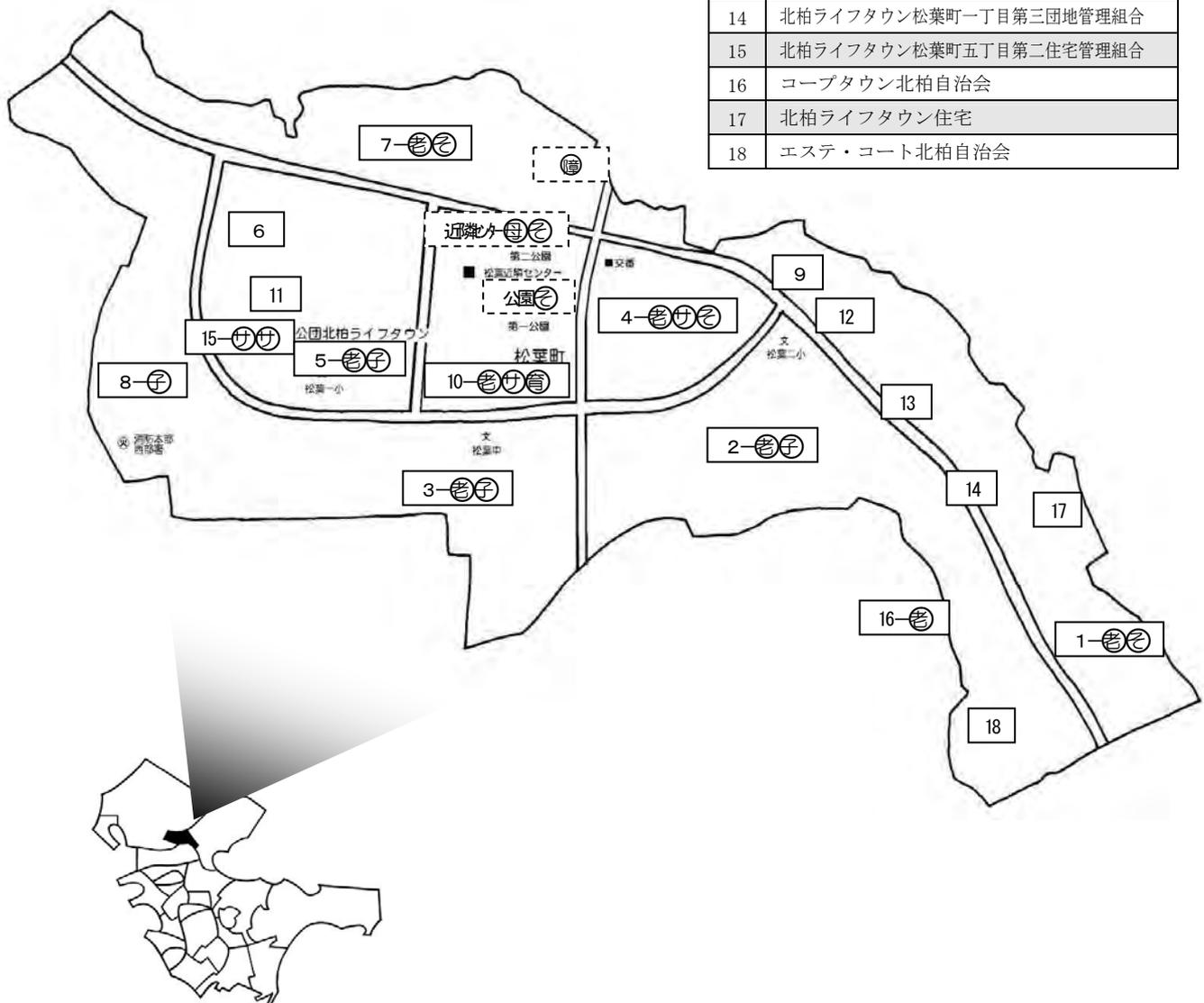
⊙母・・・母と子の集い（地区内全域）

⊙育・・・子育てサロン・自主育児サークル等

⊙障・・・障がい者（児）に関する活動

⊙その他

	町会・自治会・区等
1	松葉町一丁目第一町会
2	松葉町二丁目町会
3	松葉町三丁目町会
4	松葉町四丁目第二町会
5	松葉町五丁目第一自治会
6	松葉町五丁目町会
7	松葉町六丁目町会
8	松葉町七丁目町会
9	松葉町一丁目第一自治会
10	松葉町四丁目第一町会
11	松葉町五丁目第三町会
12	グランヴィル松葉自治会
13	北柏ライフタウン松葉町一丁目第二団地管理組合
14	北柏ライフタウン松葉町一丁目第三団地管理組合
15	北柏ライフタウン松葉町五丁目第二住宅管理組合
16	コープタウン北柏自治会
17	北柏ライフタウン住宅
18	エステ・コート北柏自治会



# 松葉地区活動マップ

# その2

## ■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

〈数字〉町会・自治会・区等			〈㊟〉老人クラブ・老人会		〈㊟〉子ども会・親子会		〈㊟〉その他
名称	総世帯数(加入世帯)	名称	会員数	名称	会員数	名称	
1 松葉町一丁目第一町会	195(162)	一声の会(老連未加入)	30			各種サークル	
2 松葉町二丁目町会	305(210)	松柏クラブ	81	松葉町二丁目子ども会			
3 松葉町三丁目町会	327(288)	松柏クラブ(再掲1)	(81)	松葉町三丁目親子会(西)	20		
4 松葉町四丁目第二町会	687(635)	松葉町ふれあいサークル	112			ゴルフ同好会	
5 松葉町五丁目第一自治会	687(650)	睦会	59	松葉町五丁目第一子ども会	20		
6 松葉町五丁目町会	120(113)						
7 松葉町六丁目町会	440(380)	松寿クラブ	53			防犯パトロール	
8 松葉町七丁目町会	403(326)			まつぼっくりクラブ	28		
9 松葉町一丁目第一自治会	352(350)						
10 松葉町四丁目第一町会	215(209)	さつき会(老連未加入)	30				
11 松葉町五丁目第三町会	90(89)						
12 グランヴィル松葉自治会	98(98)						
13 北柏ライフタウン松葉町一丁目第二団地管理組合	50(50)						
14 北柏ライフタウン松葉町一丁目第三団地管理組合	99(99)						
15 北柏ライフタウン松葉町五丁目第二住宅管理組合	205(205)						
16 コープタウン北柏自治会	86(84)	松柏クラブ(再掲2)	(81)				
17 北柏ライフタウン住宅	60(60)						
18 エステコート北柏自治会	229(229)						

## ■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数(つづき)

町会・自治会・区等		〈㊟〉おせつ会・サロン活動		制度ボランティア	
名称	名称	会場	民生委員 児童委員	健康づく り推進員	
1 松葉町一丁目第一町会			1(1)	1(1)	
2 松葉町二丁目町会			1(1)	1(1)	
3 松葉町三丁目町会			1(1)	1(1)	
4 松葉町四丁目第二町会	お茶のみ会	松葉町四丁目第二管理組合集会所	2(2)	1(1)	
5 松葉町五丁目第一自治会			2(2)	1(1)	
6 松葉町五丁目町会			1(0)	1(0)	
7 松葉町六丁目町会			2(2)	1(1)	
8 松葉町七丁目町会			1(1)	1(1)	
9 松葉町一丁目第一自治会			1(1)	—	
10 松葉町四丁目第一町会	ミニシアターはらぺこくん(子ども広場)	北柏ライフタウン四丁目第一管理組合集会所	1(1)	1(1)	
11 松葉町五丁目第三町会			1(0)	1(0)	
12 グランヴィル松葉自治会			1(0)	—	
13 北柏ライフタウン松葉町一丁目第二団地管理組合			1(0)	1(0)	
14 北柏ライフタウン松葉町一丁目第三団地管理組合			1(0)	1(0)	
15 北柏ライフタウン松葉町五丁目第二住宅管理組合	松葉ぬくもり会	北柏ライフタウン松葉町五丁目第二住宅管理組合集会所	1(1)	1(1)	
16 コープタウン北柏自治会			1(0)	1(0)	
17 北柏ライフタウン住宅			1(0)	1(0)	
18 エステコート北柏自治会			1(0)	—	
(地区全域対象)	松葉おしゃべりサロン	北柏ライフタウン松葉町五丁目第二住宅管理組合集会所	主任児童委員 2(2)	食生活推進員 3(3)	

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位に活動を示したものです。

※民生委員・児童委員(主任児童委員)、柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、( )内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

## ■地区内で行われている活動(上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む)

### 〈㊟〉子育てサロン・自主育児サークル等

名称	会場
ミニシアターはらぺこくん(再掲)	北柏ライフタウン四丁目第一管理組合集会所

### 〈㊟〉母と子の集い(地区内全域)

名称	会場
母と子の集い	松葉近隣センター

### 〈㊟〉障がい者(児)に関する活動

名称	会場
生活工房こだま	松葉町六丁目 11-8 1階
自閉症サポートセンターベガサス	松葉町六丁目 11-8 2階

### 〈㊟〉その他

名称	会場
ミッキーミニくらぶ(自主育児サークル)	松葉近隣センター
あおぞら(自主育児サークル)	会員宅

### 〈㊟〉青少年健全育成推進協議会

名称	会場
プレーパーク、ハイキング、子どもフェスティバル、ふれあい昔遊び、パトロール活動、冒険遊びの広場協力	松葉第一近隣公園、学校、他

# 田中地区計画書

## 田中地区データ

人口データ	平成 17 年 4 月 1 日現在	
	田中地区	柏市全域
人 口(人)	31,278	376,018
世 帯 数(世帯)	8,685	129,680
4 歳以下人口(人)	1,372	16,713
4歳以下人口比率(%)	4.4	4.4
14 歳以下人口(人)	4,894	51,823
14歳以下人口比率(%)	15.6	13.8
65 歳以上人口(人)	4,230	58,342
高 齢 化 率(%)	13.5	15.5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 田中地区社会福祉協議会の概要

平成 16 年度実績

事 務 所	会長宅
役 員 数	10名
運営委員数	48名
部 会 等	広報部会、ボランティア部会、事業部会
主な活動	広報紙発行、ボランティア研修、視察研修、ふれあいサロン、柏まつり田中地区大会、敬老会、ふれあい運動会、田中夢フェスティバル、文化祭、一人暮らし高齢者を囲む会、新春凧上げ大会、世代間交流教室（H17より）

### 田中ふるさと協議会の概要

平成 16 年度実績

事 務 所	田中近隣センター
役員・運営委員数	役員8名 運営委員50名
専 門 部	総務部、広報部、文化部、体育部、環境部、福祉部、女性部、財政部
主な活動	研修旅行、広報誌発行、協議会ニュース、文化祭、田中地区市民運動会、凧あげ大会、ごみゼロ運動、柏の水辺めぐり、クリーン作戦、柏まつり

## 田中地区懇談会の様子



## 田中地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 17 年 7 月 8 日 (金) 15:00~16:00	第 1 回懇談会打ち合せ	1	1	0
第 1 回懇談会	平成 17 年 8 月 6 日 (土) 16:00~18:30	現状の把握と課題の発見	9	3	5
第 2 回懇談会	平成 17 年 9 月 17 日 (土) 15:00~18:00	課題に対する解決方法	22	3	3
第 3 回懇談会	平成 17 年 11 月 12 日 (土) 13:30~16:00	今後の地域活動に向けて	18	3	1
確 認 会 議	平成 18 年 2 月 12 日 (日) 15:00~17:00	地区計画（案）確認	7	1	2

■会議及び懇談会開催数／全4回開催

■参加延べ人数／地域延べ57名／市社協職員延べ11名／行政職員延べ11名

■会場はいずれも、田中近隣センター

田中地区計画

田中地区 地域健康福祉活動

① 住民主体の地域づくり  
を目指して

- ★防犯パトロールや犬の散歩等を通じ、あいさつ運動をすること。
- ★趣味や生きがいなどを通じて地域に潜在している人（特に男性）の活躍の場づくり。
- ★行政やアパートのオーナーに協力してもらい、町会の加入を促していくこと。
- ★町会での季節のイベント等を実施し、小さなことから長続きさせること。

② よりよい連携の中での  
活動を目指して

- ★情報を共有化しながら、密に連携していくために、地域活動に係る組織・団体が集って、「懇談する場づくり」をする。また、その懇談で情報共有し、共通認識を持ったものが、地域住民にも伝わるしくみづくりをしていくこと。
- ★団体の代表者が、町会・自治会の会議に出席をして、意見交換すること。

重点目標

- ☆役職の分散化や役割分担をしながら、リーダーや担い手を育てていく。
- ☆地区全体が連帯感をもって取り組むことができる「防犯活動」や「あいさつ運動」の実施。
- ☆地区全域活動の拠点の分散化。

③ 活動上の悩みの  
解決方法

- ★人とのつながり、経験豊富な退職した人への声かけ、研修などから、リーダーを見つけ、育てていくこと。
- ★声かけ、活動日（土・日）の工夫、持ち回りなどで担い手を確保し、興味をもってもらえるよう話し合いの場をつくったり、役割の分散化をすること。
- ★住民の方に、地域活動を知ってもらい（PR）、参加しやすい雰囲気・声かけをしていくこと。
- ★田中地区は広いので、分散して活動してみるの必要。

④ 安心して住み続けられる  
地区を目指して

- ★【良いところ】子どもからお年寄りまで相互交流できる町会単位の伝統行事を今後も残していくこと。／子育てや健康づくりに良い自然環境を守っていくこと。
- ★【問題なところ】子どもが自由にのびのびと育っていけるような環境づくり。／町会単位の活動の活性化をしながら、学校をはじめ、地域での横のつながりをつくっていくための出会いの場や話し合いの場づくり。／新・旧住民のコミュニケーションと融和

柏市社会福祉協議会・柏市

## 田中地区懇談会のまとめ

①

### 住民主体の地域づくりを目指して

#### 現状

◇田中地区は、昔ながらの部分が残っていて、和やかな雰囲気がある。その一方で、個人情報保護により地域活動のやり辛さ、地域行事への参加・不参加の2極化、若い世代が地域行事に対する興味や参加の減少などが課題としてあがりました。

#### 理想

◇住民自身が「地域を守ろう」という意識を持って、多くの（三世代）が交流、あいさつを交わし合い、子どもが思い出をつくれる地域。

#### 理想に向けて

★防犯パトロールや犬の散歩等を通じ、あいさつ運動をすること。／趣味や生きがいなどを通じて地域に潜在している人（特に男性）の活躍の場づくり。／行政やアパートのオーナーに協力してもらい、町会の加入を促していくこと。／町会での季節のイベント等を実施し、小さなことから長続きさせること。

③

### 活動上の悩みの解決方法

#### 活動上の課題

◇地域活動のリーダーや担い手を見つけることが難しい。また、活動の参加者も、田中地区の広さや交通手段の問題など、参加する人と参加しない人とが両極端である。／個人情報保護の問題により、活動に制約が出てきている。／普段から町会との話し合いなどをやっていないと、連携・協力関係がつくりにくい。

#### 解決方法

★人とのつながり、経験豊富な退職した人への声かけ、研修などから、リーダーを見つけ、育てていくこと。／声かけ、活動日（土・日）の工夫、持ち回りなどで担い手を確保し、興味をもってもらえるよう話し合いの場をつくらせたり、役割の分散化をすること。／住民の方に、地域活動を知ってもらい（PR）、参加しやすい雰囲気・声かけをしていくこと。／田中地区は広いので、分散して活動してみるのも必要。

②

### よりよい連携の中での活動を目指して

#### 現状

◇地域行事などは、地区内の住民活動団体や個人との連携・協力により行っています。その一方で、警察や保護司との連携、地域エリアと学校区の違いなどの課題があります。

#### よりよい連携関係に向けて

★情報を共有化しながら、密に連携していくために、地域活動に係る組織・団体が集って、「懇談する場づくり」をする。また、その懇談で情報共有し、共通認識を持ったものが、地域住民にも伝わるしくみづくりをしていくこと。  
★団体の代表者が、町会・自治会の会議に出席をして、意見交換すること。

④

### 安心して住み続けられる地区を目指して

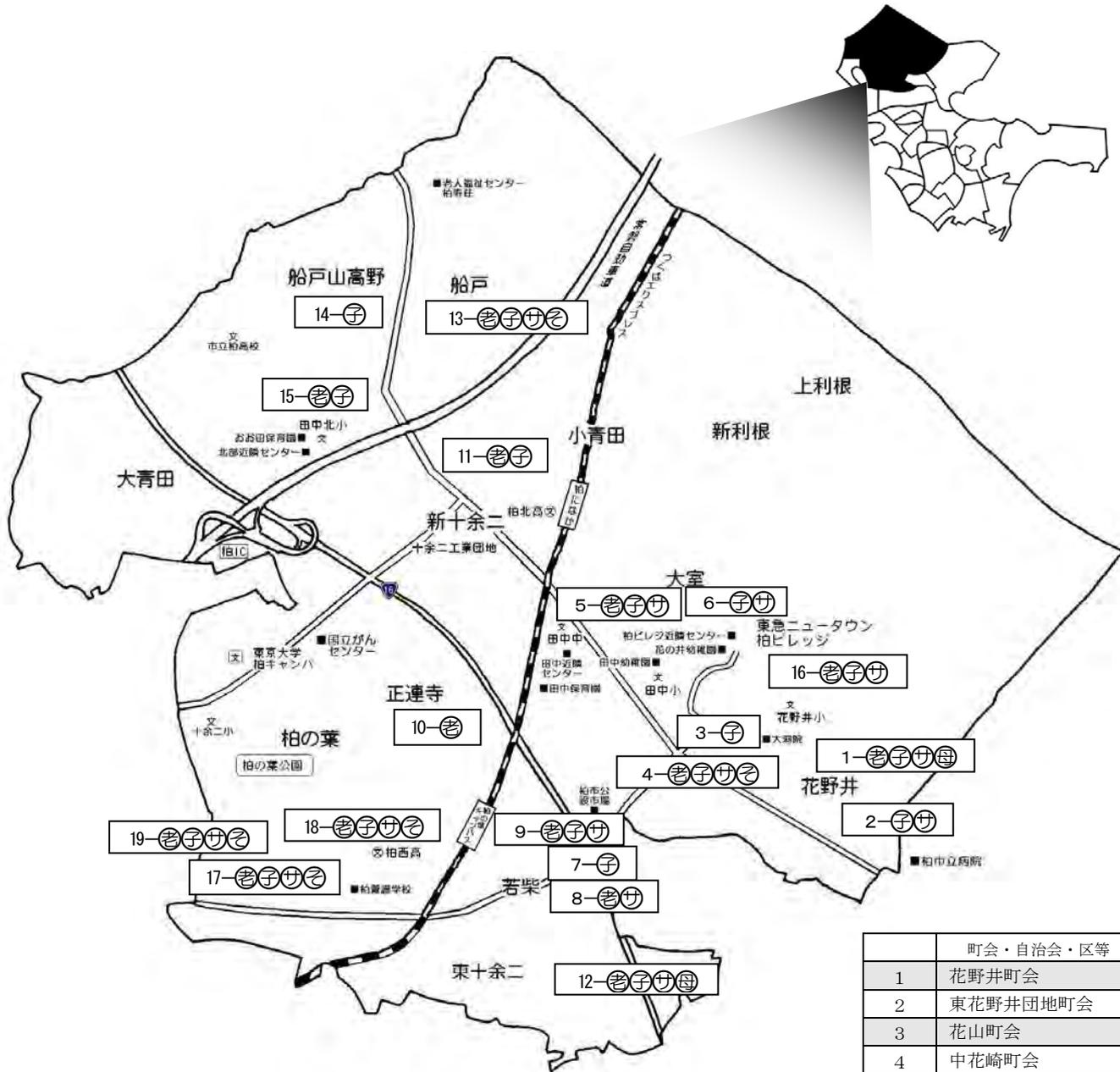
#### 現状

◇【良いところ】田中地区は、田舎の雰囲気が残っていて、和やかで良い地域。高齢者は元気な人が多い。  
◇【問題なところ】個人主義の人、一人暮らし高齢者、新住民の増加で、今後の地域はどうなっていくのかが心配。地域活動を作っていく時に、若い人の声も聞いていく必要があること。

#### これからの地区に向けて

★【良いところ】子どもからお年寄りまで相互交流できる町会単位の伝統行事を今後も残していくこと。／子育てや健康づくりに良い自然環境を守っていくこと。  
★【問題なところ】子どもが自由にのびのびと育ていけるような環境づくり。／町会単位の活動の活性化をしながら、学校をはじめ、地域での横のつながりをつくっていくための出会いの場や話し合いの場づくり。／新・旧住民のコミュニケーションと融和。

田中地区活動マップ その1



地図記号一覧

- 数字・・・町会・自治会・区等
- ⊙・・・老人クラブ・老人会
- ⊚・・・子ども会・親子会
- ⊕・・・おせっ会・サロン活動
- ⊗・・・母と子の集い（地区内全域）
- ⊖・・・子育てサロン・自主育児サークル等
- ⊘・・・障がい者（児）に関する活動
- ⊙・・・その他

数字	町会・自治会・区等
1	花野井町会
2	東花野井団地町会
3	花山町会
4	中花崎町会
5	大室町会
6	中野台町会
7	若柴入谷津町会
8	新若柴町会
9	若柴町会
10	正連寺町会
11	小青田町会
12	東十余二町会
13	船戸町会
14	山高野町会
15	大青田町会
16	柏ビレッジ自治会
17	柏の葉一丁目町会
18	柏の葉二丁目町会
19	柏の葉三丁目町会

田中地区活動マップ

その2

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

《数字》町会・自治会・区等			《㉔》老人クラブ・老人会		《㉕》子ども会・親子会		《㉖》その他
名 称	総世帯数(加入世帯)	名 称	会員数	名 称	会員数	内 容	
1 花野井町会	1,780(1,700)	花野井第一百寿会 花野井第二百寿会	74 57	花野井町会親子会	188		
2 東花野井団地町会	194(194)			東花野井団地町会子ども会	28		
3 花山町会	650(600)			花山町会子ども会	114		
4 中花崎町会	153(152)	花咲会	44	中花崎町会子ども会	7	ラジオ体操	
5 大室町会	535(510)	大室シルバー会	51	大室町会子ども会	109		
6 中野台町会	380(330)			中野台町会子ども会	154		
7 若柴入谷津町会	115(115)			まつぼっくりクラブ	22		
8 新若柴町会	163(163)	新若柴倶楽部	57				
9 若柴町会	450(350)	若正会	50	若柴親子会	25		
10 正連寺町会	50(26)						
11 小青田町会	80(80)	小青田壽会	4	小青田町会子ども会	17		
12 東十余二町会	1,040(897)	クラブハッピー十余二	50	十余二庚塚子ども会 こうのす第一親子会 こうのす第二親子会	70 36 30		
13 船戸町会	345(338)	船戸長寿会	58	船戸子ども会	46		
14 山高野町会	110(79)			山高野町会子ども会	20		
15 大青田町会	205(133)	大青田百寿会	60	大青田子ども会	43		
16 柏ビレジ自治会	1,590(1,577)	柏ビレジ第一新緑会 柏ビレジ第二新緑会	56 39	柏ビレジ自治会子ども会	160		
17 柏の葉二丁目町会	348(325)	柏の葉シルバークラブ	32	柏の葉二丁目町会子ども会	52		
18 柏の葉一丁目自治会	190(190)			柏の葉一丁目町会子ども会	20	ラジオ体操	
19 柏の葉三丁目町会	307(307)	柏葉会	50	柏の葉三丁目町会子ども会	20		

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

町会・自治会・区等		《㉗》おせつ会・サロン活動		制度ボランティア	
名 称	名 称	会 場	民生委員 児童委員	健康づく り推進員	
1 花野井町会	花のふれあい会	花野井公会堂	4(4)	4(4)	
2 東花野井団地町会	さくらの会	公園管理組合所	1(1)	1(1)	
3 花山町会			2(2)	2(2)	
4 中花崎町会	シニアサロン花咲	民生委員宅	1(1)	1(1)	
5 大室町会	大室ふれあいの会	大室ふるさと会館	3(3)	2(2)	
6 中野台町会	なかよし会(H18年4月～)	田中小学校	1(1)	1(1)	
7 若柴入谷津町会			1(1)	1(1)	
8 新若柴町会			1(1)	1(1)	
9 若柴町会	だんごの会	若柴公民館	2(2)	2(2)	
10 正連寺町会			1(1)	1(1)	
11 小青田町会			1(1)	1(1)	
12 東十余二町会	ゆうあい十余二	庚塚公民館	4(4)	4(4)	
13 船戸町会	二十日会(お茶会)	船戸会館	2(2)	2(2)	
14 山高野町会			1(1)	1(1)	
15 大青田町会			2(2)	2(2)	
16 柏ビレジ自治会	アイビーサロン	柏ビレジ自治会館	5(5)	3(3)	
17 柏の葉二丁目町会	みつばふれあいサロン	柏の葉二丁目ふるさとセンター		1(1)	
18 柏の葉一丁目自治会	柏の葉ふれあい喫茶	柏の葉一丁目集会所	2(2)	2(2)	
19 柏の葉三丁目町会	キッズクローバー	柏の葉三丁目自治会	1(1)	1(1)	
			主任児童委員 2(2)	食生活推進員 3(3)	

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位に活動を示したものです。

※民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、（ ）内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

《㉘》子育てサロン・自主育児サークル等

名 称	会 場

《㉙》障がい児（者）に関する活動

名 称	会 場

《㉚》母と子の集い（地区内全域）

名 称	会 場
赤ちゃんネットわ〜く、わく	花野井公会堂
ママさんあつまれ	庚塚公民館

《㉛》その他

名 称	活動内容
青少年健全育成推進協議会	交流活動、防犯パトロール等
J A女性部	ウォーキング、健康体操等
消費生活コーディネーター	地区内4名
陽だまりの会	訪問ボランティア

# 西原地区計画書

## 西原地区データ

人口データ	平成 17 年 4 月 1 日現在	
	西原地区	柏市全域
人 口(人)	16,849	376,018
世 帯 数(世帯)	5,206	129,680
4歳以下人口(人)	726	16,713
4歳以下人口比率(%)	4.3	4.4
14歳以下人口(人)	2,348	51,823
14歳以下人口比率(%)	13.9	13.8
65歳以上人口(人)	2,821	58,342
高 齢 化 率(%)	16.7	15.5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 西原地区社会福祉協議会の概要

平成 16 年度実績

事 務 所	会長宅
役 員 数	11名
運営委員数	40名
部 会 等	広報事業部会、ボランティア部会
主な活動	広報紙発行、アンケート調査、視察研修、サロン(高齢者・子育て)、要援護者在宅訪問、男性料理教室、敬老の集い、福祉レクリエーション大会、一人暮らし高齢者の集い、悪徳商法対処講座、健康かむかむ運動、地域住民ヒアリング、一人暮らし誕生日訪問

### 西原地域ふるさと協議会の概要

平成 16 年度実績

事 務 所	西原近隣センター
役員・運営委員数	27名
専 門 部	総務・広報・文化・生活環境・保健体育・防災
主な活動	視察研修会、文化祭、運動会、ウォーキング大会、グランドゴルフ大会、環境施設見学会、防災体験見学会、広報誌発行

## 西原地区懇談会の様子



## 西原地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 15 年 7 月 20 日 (日) 10:30~12:40	第 1 回懇談会打ち合せ (ふれあい研修会)	9	2	5
打 ち 合 せ	平成 15 年 8 月 3 日 (日) 9:30~12:00	第 1 回懇談会打ち合せ (ふれあい研修会)	11	2	2
第 1 回懇談会 (ふれあい研修会)	平成 15 年 8 月 31 日 (日) 10:30~12:40	私はこんな西原地域に住 んでみたい	59	3	8
打 ち 合 せ	平成 16 年 8 月 8 日 (日) 10:00~12:00	第 2 回懇談会打ち合せ (ふれあい研修会)	20	1	1
第 2 回懇談会	平成 16 年 9 月 25 日 (土) 12:20~15:00	身近な地域・町会でふれあ う場をつくるには、どのよ うにしたら実現できるだ ろうか	70	2	5
第 3 回懇談会	平成 17 年 3 月 12 日 (土) 11:11~11:11	町会単位の支えあい活動 を継続的に実施していく には	40	2	2
確 認 会 議	平成 18 年 3 月 19 日 (日) 13:30~16:30	地区計画 (案) 確認	10	1	1

■会議及び懇談会開催数／全7回開催

■参加延べ人数／地域延べ219名／市社協職員延べ13名／行政職員延べ24名

■会場はいずれも、西原近隣センター

西原地区計画

# 西原地区 地域健康福祉活動

## ① 住民主体の地域づくり を目指して

- ★あらゆる世代のふれあいの場や身近な相談の場をつくること。
- ★一声・あいさつ運動。
- ★町会未加入者への働きかけと参加しやすい興味のわく行事の実施。

## よりよい連携の中での 活動を目指して

## ②

- ★世代や障害を問わず、一緒に活動していけるような取り組みができるよう、町会単位や地区内のあらゆる関係組織・団体が集って、意見交換の場や交流をしながら、「横のつながり」をもっていくこと。

## 重点目標

- ☆安全・安心・快適なまちづくりの推進
- ☆協働・連携の強化
- ☆身近な地域（町会・自治会単位）における健康福祉活動の推進

## ③ 活動上の悩みの 解決方法

- ★地区内のあらゆる組織・団体との連携の中で人づくり（人材育成）をしていくこと。
- ★参加する側、主催する側の壁をなくし、「楽しい」場づくりをしていくこと。
- ★活動拠点や活動の見直しをして、よりよい活動を実施していくこと。

## 安心して住み続けられる 地区を目指して

## ④

- ★地域全体で、防犯（エンジョイパトロールなど）や防災、環境美化活動をしていくこと。
- ★学校等との連携を蜜にして、三世代の交流をしながら、子ども達にとって、「ふるさとを思い出せる」ような行事を残していくこと。

柏市社会福祉協議会・柏市

## 西原地区懇談会のまとめ

①

### 住民主体の地域づくりを目指して

#### 現状

◇住民同士の交流が少なく、あいさつを気軽に交し合えるような雰囲気なくなってきた。子どもが外へ出て遊ぶ光景や高齢者と自然にふれあう姿を見なくなった。

#### 理想

◇子ども・高齢者・障害を問わず、みんながあいさつを交し合い、井戸端会議が開かれ、助けあえる地域。

#### 理想に向けて

- ★あらゆる世代のふれあいの場や身近な相談の場をつくること。
- ★一声・あいさつ運動。
- ★町会未加入者への働きかけと参加しやすい興味のわく行事の実施。

②

### よりよい連携の中での活動を目指して

#### 現状

- ◇地区社協をはじめ、民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員をはじめ、地域の他団体と連携をとりながら活動をすすめている。
- ◇学校とは、世代間交流教室をはじめ、児童と赤ちゃんとのふれあいの機会をつくっている。

#### よりよい連携関係に向けて

- ★世代や障害を問わず、一緒に活動していけるような取り組みができるよう、町会単位や地区内のあらゆる関係組織・団体が集って、意見交換の場や交流をしながら、「横のつながり」をもっていくこと。

③

### 活動上の悩みの解決方法

#### 活動上の課題

- ◇リーダーや担い手が不足している。
- ◇地域活動への参加・不参加が両極端になっている。
- ◇世代間の交流が少ない。
- ◇活動のマンネリ化。
- ◇活動拠点の少なさ。

#### 解決方法

- ★地区内のあらゆる組織・団体との連携の中で人づくり（人材育成）をしていくこと。
- ★参加する側、主催する側の壁をなくし、「楽しい」場づくりをしていくこと。
- ★活動拠点や活動の見直しをして、よりよい活動を実施していくこと。

④

### 安心して住み続けられる地区を目指して

#### 現状

- ◇【良い点】それぞれの町会・自治会等で地域課題を抱えた時に、それに対して「どうしたらよいか」を考え、実行できること。
- ◇【問題な点】地域犯罪の増加や犬の糞やゴミの問題、子どもの遊び場がないこと。

#### これからの地区に向けて

- ★地域全体で、防犯（エンジョイパトロールなど）や防災、環境美化活動をしていくこと。
- ★学校等との連携を密にして、三世代の交流をしながら、子ども達にとって、「ふるさとを思い出せる」ような行事を残していくこと。

— 西原地区活動マップ — その1 —

地図記号一覧

数字・・・町会・自治会・区等

⊙<sub>老</sub>・・・老人クラブ・老人会

⊙<sub>子</sub>・・・子ども会・親子会

⊙<sub>サ</sub>・・・おせっ会・サロン活動

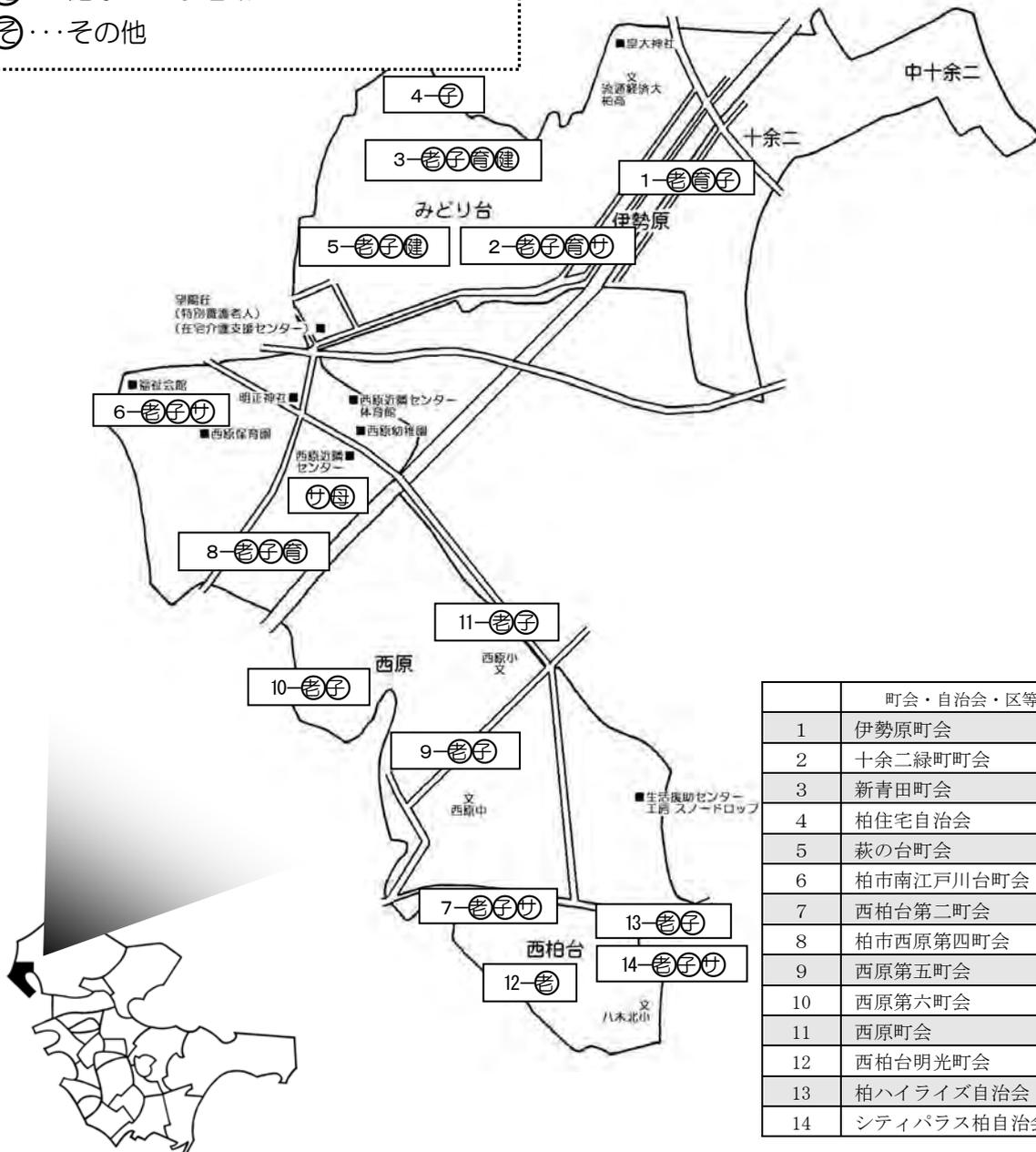
⊙<sub>母</sub>・・・母と子の集い（地区内全域）

⊙<sub>育</sub>・・・子育てサロン・自主育児サークル等

⊙<sub>障</sub>・・・障がい者（児）に関する活動

⊙<sub>健</sub>・・・健康づくり活動

⊙<sub>そ</sub>・・・その他



— 西原地区活動マップ — その2 —

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

〈数字〉町会・自治会・区等			〈老〉老人クラブ・老人会		〈子〉子ども会・親子会	
	名 称	総世帯数(加入世帯)	名 称	会員数	名 称	会員数
1	伊勢原町会	360( 330)	伊勢原老人クラブ	5 0	伊勢原子ども会	1 0 0
2	十余二緑町町会	299( 295)	緑樹会	9 5	十余二緑町町会子ども会	4 9
3	新青田町会	586( 506)	新青田さわやかクラブ	1 0 1	新青田町会子ども会	6 4
4	柏住宅自治会	55( 55)			柏住宅自治会子ども会	1 2
5	萩の台町会	397( 380)	萩の台クラブ	6 2	萩の台子ども会	7 4
6	柏市南江戸川台町会	163( 151)	ことぶき会	2 5	南江戸川台町会子ども会	3 5
7	柏市西原第四町会	1,100(1,050)	西原友和会	9 5	柏市西原第四町会子ども会	2 1 2
8	西原第五町会	307( 292)	西原幸成クラブ	8 5	西原第五町会子ども会	6 0
9	西原第六町会	197( 170)			西原第六町会子ども会	2 7
10	西原町会	735( 655)			西原町会子ども会	1 0 8
11	西柏台第二町会	286( 280)	西柏台福寿会	6 0	西柏台第二町会子ども会	3 4
12	西柏台明光町会	260( 200)				
13	柏ハイライズ自治会	210( 200)			柏ハイライズ自治会子ども会	1 9
14	シティパラス柏自治会	251( 230)			シティパラス柏自治会子ども会	4 2

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数のつづき

町会・自治会・区等		〈お〉おせっかい・サロン活動		〈健〉健康づくり活動		制度ボランティア	
	名 称	名 称	会 場	名 称	民生委員 児童委員	健康づく り推進員	
1	伊勢原町会				1 ( 1 )	2 ( 2 )	
2	十余二緑町町会	グリーンピース	十余二緑町ふるさと会館		1 ( 1 )	2 ( 2 )	
3	新青田町会			新青田健康体操	2 ( 2 )	3 ( 3 )	
4	柏住宅自治会				1 ( 0 )	1 ( 1 )	
5	萩の台町会			萩の台健康体操	1 ( 1 )	2 ( 2 )	
6	柏市南江戸川台町会	てんぐの会	南江戸川台ふるさとセンター		1 ( 1 )	2 ( 2 )	
7	柏市西原第四町会	お茶のみ会	西原第四町会ふるさと会館		3 ( 3 )	3 ( 3 )	
8	西原第五町会				1 ( 1 )	2 ( 2 )	
9	西原第六町会				1 ( 1 )	1 ( 1 )	
10	西原町会				3 ( 3 )	3 ( 3 )	
11	西柏台第二町会				1 ( 1 )	2 ( 2 )	
12	西柏台明光町会				1 ( 1 )	2 ( 2 )	
13	柏ハイライズ自治会				1 ( 1 )	0 ( 0 )	
14	シティパラス柏自治会	ゆう遊パラス	シティパラス柏自治会		1 ( 0 )	1 ( 1 )	
	地区全域	ゆうゆうサロン グループやりくり	西原近隣センター		主任児童委員 2 ( 2 )	食生活推進員 3 ( 3 )	

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位に活動を示したものです。

※民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、（ ）内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

〈育〉子育てサロン・自主育児サークル等

名 称	会 場
びよびよくらぶ	伊勢原ふるさと会館
みにすくすくくらぶ	町会単位で不定期に実施

〈母〉母と子の集い（地区内全域）

名 称	会 場
すくすくくらぶ	西原近隣センター

〈障〉障がい者（児）に関する活動

名 称	会 場

〈其〉その他

名 称	内 容
ゆうゆうサロングループやりくり	訪問活動

# 富勢地区計画書

## 富勢地区データ

人口データ	平成 17 年 4 月 1 日現在	
	富勢地区	柏市全域
人 口(人)	25,106	376,018
世 帯 数(世)	8,585	129,680
4 歳以下人口(人)	1,142	16,713
4歳以下人口比率(%)	4,5	4,4
14 歳以下人口(人)	3,265	51,823
14歳以下人口比率(%)	13,0	13,8
65 歳以上人口(人)	3,843	58,342
高 齢 化 率(%)	15,3	15,5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 富勢地区社会福祉協議会の概要

平成 16 年度実績

事 務 所	会長宅
役 員 数	17名
運営委員数	34名
部 会 等	企画総務部会、広報部会、花鉢運営部会、ひとり暮らしを囲む運営部会、ボランティア部会、三世代の集い運営部会、敬老会運営部会
主な活動	広報紙発行、交流会、視察研修、車いす講習会、ふれあい事業、助けあい事業、世代間交流教室、敬老事業、三世代ふれあい体育祭、花鉢配布事業、ひとり暮らし高齢者を囲む会、子育ておしゃべり広場

### 富勢地区ふるさと協議会の概要

平成 16 年度実績

事 務 所	布施近隣センター
役員・運営委員数	21名
専 門 部	総務部、防災部、文化部、体育部、環境部
主な活動	広報誌「あけぼの」発行、夜間防犯パトロール、芸能大会、文化祭、ごみゼロ運動、八朔相撲大会、富勢ウォーキング、囲碁の集い、町会対抗グランドゴルフ大会、地域組織の調整会議、月刊広報誌「ふるさと富勢」、研修（各種）

## 富勢地区懇談会の様子



## 富勢地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
第1回懇談会	平成17年7月26日(火) 10:00~12:30	第1回懇談会打ち合せ	10	3	4
第2回懇談会	平成17年8月30日(火) 9:00~12:20	現状の把握と課題の発見	30	5	2
第3回懇談会	平成17年9月29日(火) 13:00~16:20	課題に対する解決方法	25	4	2
確認会議	平成17年10月27日(木) 9:00~12:00	今後の地域活動に向けて	10	2	2

■会議及び懇談会開催数／全4回開催

■参加延べ人数／地域延べ75名／市社協職員延べ14名／行政職員延べ10名

■会場はいずれも、富勢近隣センター

富勢地区計画

富勢地区 地域健康福祉活動

① 住民主体の地域づくり  
を目指して

★子供からお年寄りまで地域の方と安心してコミュニケーションがとれ、だれにでも一様に地域の情報が受けられること。

② よりよい連携の中での  
活動を目指して

★地区内にあるあらゆる人や社会資源との連携・協力ができるよう、交流や懇談をし、社会資源の活用をしていくことで、よりよい連携・協力関係づくりをしていく。

重点目標

☆従来からの枠をこえた地域連携が必要になってくるため、だれもが集まれるような地域の場づくりの提供とニーズの把握を徹底する。

③ 活動上の悩みの  
解決方法

★ニーズに対応できる情報ネットワークづくりに努め、新しい人材育成に時間をかけ、じっくり学ぶ場づくりから始める（見学から手伝いへと徐々に移行していく）。また、活動が円滑に行えるよう関係機関に必要な働きかけを行っていく。

④ 安心して住み続けられる  
地区を目指して

★【良い点】  
さらに関係強化に努力し、地区社協のPR活動をする。  
★【問題な点】  
連携をとおした誰もが参加できる場をつくり、既存の活動内容を再検討し、年間計画を早期に周知していく。

柏市社会福祉協議会・柏市

## 富勢地区懇談会のまとめ

①

### 住民主体の地域づくりを目指して

現状

◇もとの住民と越してこられた方等のつながりを埋めてゆこうという作業がなされつつあるなかで、地域活動の担い手養成が急務である。

理想

◇だれもが気軽に声をかけあい、「あいさつ」を交わせることができる住民づくり。

理想に向けて

★子供からお年寄りまで地域の方と安心してコミュニケーションがとれ、だれにでも一様に地域の情報が受けられること。

③

### 活動上の悩みの解決方法

活動上の課題

◇人材不足。  
どこまで支援をしてよいのか戸惑う。  
地区に活動の宣伝をしているが、活動内容についてまで分からないと言う方が多い。

解決方法

★ニーズに対応できる情報ネットワークづくりに努め、新しい人材育成に時間をかけ、じっくり学ぶ場づくりから始める（見学から手伝いへと徐々に移行していく）。  
★また、活動が円滑に行えるよう関係機関に必要な働きかけを行っていく。

②

### よりよい連携の中での活動を目指して

現状

◇既成の社会資源をおおいに活用していると思うが、埋もれている資源とこれから創生していかなければならない資源等があり、情報伝達を蜜にして発展させる必要がある。

よりよい連携関係に向けて

★地区内にあるあらゆる人や社会資源との連携・協力ができるよう、交流や懇談をし、社会資源の活用をすることで、よりよい連携・協力関係づくりをしていく。

④

### 安心して住み続けられる地区を目指して

現状

◇【良い点】民生委員・児童委員（主任児童委員）と柏市民健康づくり推進員との連携がとれている。／地区社協の執行部がまとまっている。／学校とのつながりがある。  
◇【問題な点】／町会、自治会との連携が手薄である。／活動のマンネリ化がみられる。／リーダーになる担い手がない。

これからの地区に向けて

★【良い点】さらに関係強化に努力し、地区社協のPR活動をする。  
★【問題な点】連携をとおした誰もが参加できる場をつくり、既存の活動内容を再検討し、年間計画を早期に周知していく。

富勢地区活動マップ

その1

地図記号一覧

数字・・・町会・自治会・区等

⊙(老)・・・老人クラブ・老人会

⊙(子)・・・子ども会・親子会

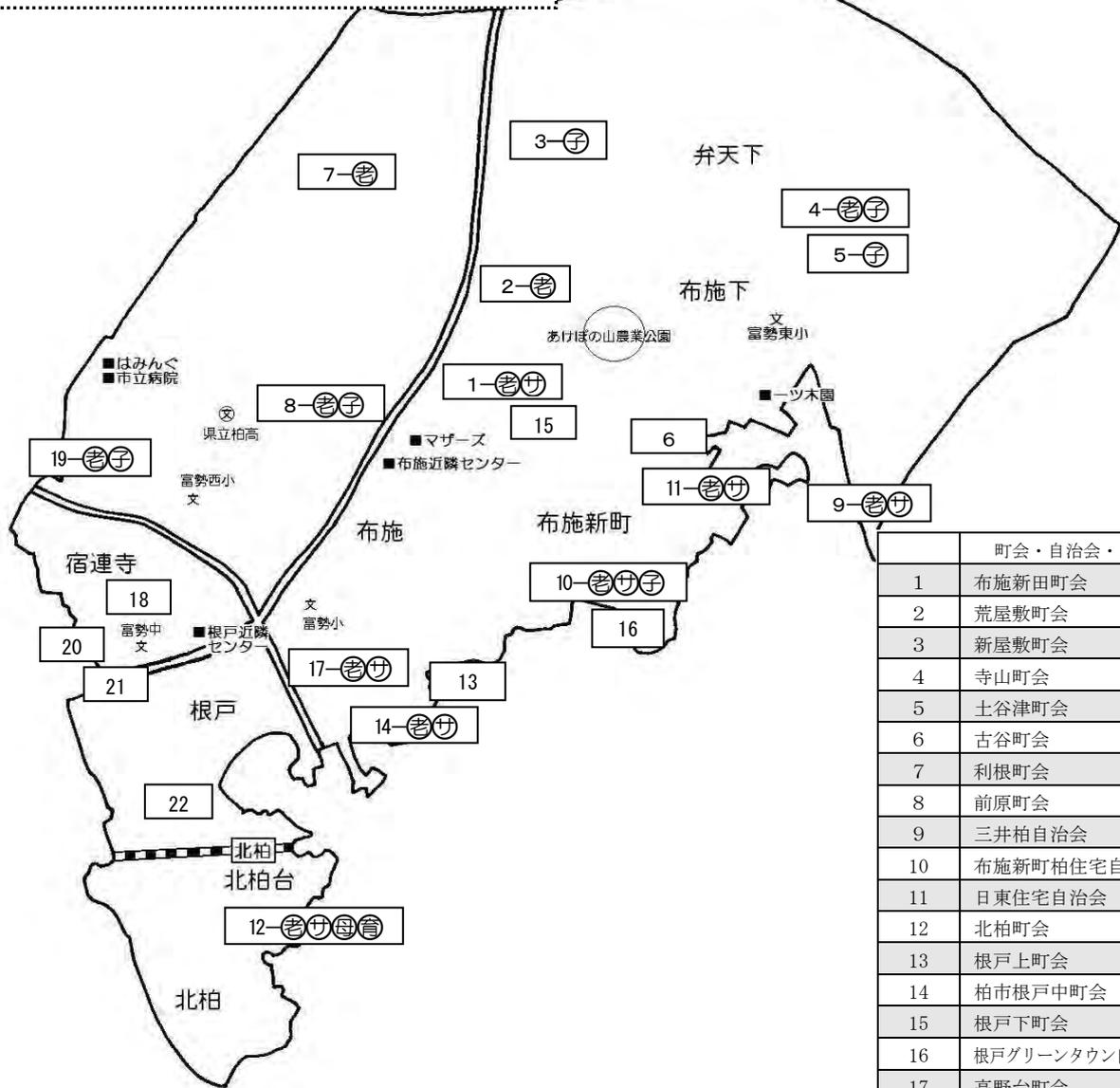
⊙(サ)・・・おせっ会・サロン活動

⊙(母)・・・母と子の集い（地区内全域）

⊙(育)・・・子育てサロン・自主育児サークル等

⊙(障)・・・障がい者（児）に関する活動

⊙(そ)・・・その他



	町会・自治会・区等
1	布施新田町会
2	荒屋敷町会
3	新屋敷町会
4	寺山町会
5	土谷津町会
6	古谷町会
7	利根町会
8	前原町会
9	三井柏自治会
10	布施新町柏住宅自治会
11	日東住宅自治会
12	北柏町会
13	根戸上町会
14	柏市根戸中町会
15	根戸下町会
16	根戸グリーンタウン自治会
17	高野台町会
18	ウェルフェアグリーン柏自治会
19	宿連寺町会
20	コープ野村北柏自治会
21	ウインザーハイム北柏ガーデン自治会
22	柏市北柏台町会

富勢地区活動マップ

その2

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

	《数字》町会・自治会・区等		《㊟》老人クラブ・老人会		《㊤》子ども会・親子会	
	名 称	総世帯数(加入世帯)	名 称	会員数	名 称	会員数
1	布施新田町会	627( 617)	ふせ第2曙会	4 0		
2	荒屋敷町会	65( 64)	ふせ第1曙会	3 2		
3	新屋敷町会	74( 54)			新屋敷子ども会	3 1
4	寺山町会	60( 60)	白寿会	3 2	寺山子ども会	2 4
5	土谷津町会	96( 91)			土谷津子ども会	4 5
6	古谷町会	80( 80)				
7	利根町会	96( 95)	利根シニアクラブ	5 1		
8	前原町会	380( 370)	前原つくし会	6 4	前原町会子ども会	5 5
9	三井柏自治会	300( 300)				
10	布施新町柏住宅自治会	744( 744)	布施新町むつみ会	5 5	あけぼの子ども会	1 2 0
11	日東住宅自治会	135( 133)				
12	北柏町会	1,522( 738)	北柏 友の会	4 3		
13	根戸上町会	376( 316)				
14	柏市根戸中町会	415( 335)	北柏福寿会	5 2		
15	根戸下町会	172( 172)				
16	根戸グリーンタウン自治会	42( 42)				
17	高野台町会	2,095(1,800)	高野台第1,第2クラブ	8 5		
18	ウェルフェアグリーン柏自治会	70( 70)				
19	宿連寺町会	800( 750)	桜寿会	6 6	宿連寺子ども会	2 0 0
20	コープ野村北柏自治会	141( 128)				
21	ウインザーハイム北柏ガーデン自治会	170( 170)				
22	柏市北柏台町会	125( 125)				

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

	町会・自治会・区等		《㊤》おせっ会・サロン活動		制度ボランティア	
	名 称	名 称	会 場	民生委員 児童委員	健康づく り推進員	
1	布施新田町会	新田ふれあいサロン	布施新田ふるさと会館	2 (2)	2 (2)	
2	荒屋敷町会			1 (1)	1 (0)	
3	新新屋敷町会			1 (1)	1 (0)	
4	寺山町会			1 (0)	1 (1)	
5	土谷津町会			1 (0)	1 (0)	
6	古谷町会			1 (0)	1 (1)	
7	利根町会			1 (0)	1 (1)	
8	前原町会	前原ウォーキング	前原町会会館	2 (2)	1 (1)	
9	三井柏自治会	ふれあい喫茶室	布施新町ふるさとセンター	1 (1)	1 (1)	
10	布施新町柏住宅自治会	ふれあい喫茶なごみの会	布施新町ふるさと会館	2 (2)	2 (2)	
11	日東住宅自治会	ふれあいサロンほっくい	富勢東小学校	1 (1)	1 (1)	
12	北柏町会	北柏ふれあいの集い	北柏第2公園	5 (5)	2 (2)	
13	根戸上町会			2 (1)	1 (1)	
14	柏市根戸中町会	とみせ交流会ウォーキング	根戸第1公園	2 (2)	2 (2)	
15	根戸下町会			2 (1)	1 (0)	
16	根戸グリーンタウン自治会			1 (0)	1 (1)	
17	高野台町会	ふれあい喫茶もみの木	市営住宅D棟	7 (7)	5 (5)	
18	ウェルフェアグリーン柏自治会			1 (0)	1 (1)	
19	宿連寺町会			3 (3)	2 (2)	
20	コープ野村北柏自治会			1 (0)	1 (0)	
21	ウインザーハイム北柏ガーデン自治会			1 (1)	1 (1)	
22	柏市北柏台町会			1 (1)	1 (1)	
				主任児童委員 2 (2)	食生活推進員 3 (3)	

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位に活動を示したものです。

※民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、（ ）内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

《㊤》子育てサロン・自主育児サークル等

名 称	会 場
かるがもおしやべり広場	北柏第2公園会場
はちの子おしやべり広場	富勢西小学校
おしやべり広場ふせ	富勢東小学校

《㊤》母と子の集い（地区内全域）

名 称	会 場
子育てサロンかるがも	根戸近隣センター、北柏第2公園

《㊤》障がい者（児）に関する活動

名 称	会 場
不定期に活動している	一ツ木園

《㊤》その他

名 称	活動内容
世代間交流わくわく	富勢西小学校・富勢東小学校（各年7回）
みのり会富勢地区	布施近隣センター（高齢者配食調理ボランティア）

# 土地区計画書

## 土地区データ

人口データ	平成17年4月1日現在	
	土地区	柏市全域
人口(人)	22,309	376,018
世帯数(世帯)	7,325	129,680
4歳以下人口(人)	945	16,713
4歳以下人口比率(%)	4.2	4.4
14歳以下人口(人)	3,098	51,823
14歳以下人口比率(%)	13.9	13.8
65歳以上人口(人)	3,836	58,342
高齢化率(%)	17.2	15.5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 土地区社会福祉協議会の概要

平成16年度実績

事務所	増尾近隣センター内
役員数	13名
運営委員数	44名
部会等	事業部会、広報部会、ボランティア部会
主な活動	広報紙発行、アンケート調査、視察研修、ふれあいサロン、要援護者在宅訪問、福祉作業所交流、ふれあいリハビリ交流、敬老の集い、地域ふれあいの集い、ひとり暮らし高齢者の集い

### 増尾ふるさと協議会の概要

平成16年度実績

事務所	増尾近隣センター内
役員・運営委員数	84名
専門部	総務、広報、厚生、文化、環境、保健体育
主な活動	広報紙発行、視察研、文化祭、囲碁・将棋大会、グランドゴルフ大会、芸能発表会、ちびっこ体操教室、環境パネル展、ゴミゼロ運動、スポーツレクレーション大会、健康体操フェスティバル、ゴミ処理施設・船上見学会

## 土 地区懇談会の様子



## 土 地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 17 月 7 月 15 日 (金) 15:00～17:00	第 1 回懇談会打ち合せ	2	1	0
第 1 回懇談会	平成 17 月 7 月 29 日 (金) 13:00～15:00	現状の把握と課題の発見	1 3	3	3
打 ち 合 せ	平成 17 月 9 月 6 日 (火) 10:00～12:00	第 2 回懇談会打ち合せ	3	1	0
第 2 回懇談会	平成 17 月 9 月 30 日 (金) 13:00～16:30	課題に対する解決方法	3 3	4	2
第 3 回懇談会	平成 17 月 11 月 24 日 (木) 15:20～18:00	今後の地域活動に向けて	2 4	4	2
打 ち 合 せ	平成 17 月 12 月 14 日 (水) 10:50～12:10	確認会議打ち合せ	3	1	2
確 認 会 議	平成 18 月 1 月 18 日 (水) 12:50～14:50	地区計画（案）確認	9	2	3

■会議及び懇談会開催数／全7回開催

■参加延べ人数／地域延べ87名／市社協職員延べ16名／行政職員延べ12名

■会場はいずれも、増尾近隣センター

土地区計画

土地区 地域健康福祉活動

① 住民主体の地域づくり  
を目指して

- ★学校との協働によって子どもを見守る。
- ★住民が、おしゃべりやコミュニケーションできる場をつくる。
- ★定年前の男性など潜在的な住民を意識改革し、地域を知ることとおし活動に参画させる。

よりよい連携の中での  
活動を目指して

③

- ★これまでの手伝い的な連携から、懇談によって相手を知り情報を共有化して、本来の意味での連携を図る。そのためには、各団体や関係機関、同じ団体同士が集まることが必要。また、連携するきっかけとして、各団体の関係図があると便利。

重点目標

- ★地域活動に無関心な住民を巻き込み、参加してもらうための取り組み（意識調査も一方法）。
- ★町会など地区で活躍できる人材を発掘し、育成する取り組み。
- ★防災活動をきっかけに、住民同士が交流できる取り組み。
- ★成人病予防・介護予防など自助を促すための取り組み。

② 活動上の悩みの  
解決方法

- ★リーダーや担い手が活動しやすい環境を整備する（仕事の分散化、活動マニュアルの作成など）。
- ★メンバーが目的を理解したうえで活動することが肝要。
- ★町会同士が連携し町会会館を有効活用する。
- ★個人情報保護対策として、住民側から情報を寄せてもらう。

安心して住み続けられる  
地区を目指して

④

- ★日ごろの挨拶や住民同士の交流をきっかけに、お互いが顔の見える関係をつくる。
- ★皆の意見が反映されるような民主的なあり方を通じ、世代間の交流や多くの住民が参加できる環境をつくる。
- ★町会には、先見性を備えたリーダーを配置する。また、町会内の役割の分散化を図り、隣組を復活させ班長の目が届きやすくする。
- ★個々に活動しているサークル団体が交流し輪を広げる。

柏市社会福祉協議会・柏市

## 土 地区懇談会のまとめ

①

### 住民主体の地域づくり を目指して

現状

◇昔はゴミだしなどで気軽に声を掛け合える関係が築かれていたが、現在では個人の時間や趣味を重視する方が多い。また、同じ地区であっても、町会の規模や新旧住民との間に考え方の違いがある。

理想

★男性を含めた住民が地域活動に参加し、子どもから高齢者までの世代を見守り、支援できること。

理想に向けて

★学校との協働によって子どもを見守る  
★住民が、おしゃべりやコミュニケーションできる場をつくる。  
★定年前の男性など潜在的な住民を意識改革し、地域を知ることとおし活動に参画させる。

②

### 活動上の悩みの 解決方法

活動上の課題

◇リーダーや活動の担い手が不足している。個人情報保護や活動拠点の問題もあって、活動がスムーズにできない状況にある。

解決方法

★リーダーや担い手が活動しやすい環境を整備する（仕事の分散化、活動マニュアルの作成など）。  
★メンバーが目的を理解したうえで活動することが肝要。  
★町会同士が連携し町会会館を有効活用する。  
★個人情報保護対策として、住民側から情報を寄せてもらう。

③

### よりよい連携の中での 活動を目指して

現状

◇地域で活動している諸団体が、互いに事業を行う際に共催や協力という形で連携している。また、今後連携を図ろうとしている団体も見られる。

よりよい連携関係に向けて

★これまでの手伝い的な連携から、懇談によって相手を知り情報を共有化して、本来の意味での連携を図る。そのためには、各団体や関係機関、同じ団体同士が集まることが重要。また、連携するきっかけとして、各団体の関係図があると便利。

④

### 安心して住み続けられる 地区を目指して

現状

◇【良い点】町会活動によって、世代間の連携が図られたほか、活動以外の場面でも話せるようになったこと。  
◇【問題な点】地域にある施設を有効活用していないこと。ふるさと協と地区社協の連携が希薄なこと。

これからの地区に向けて

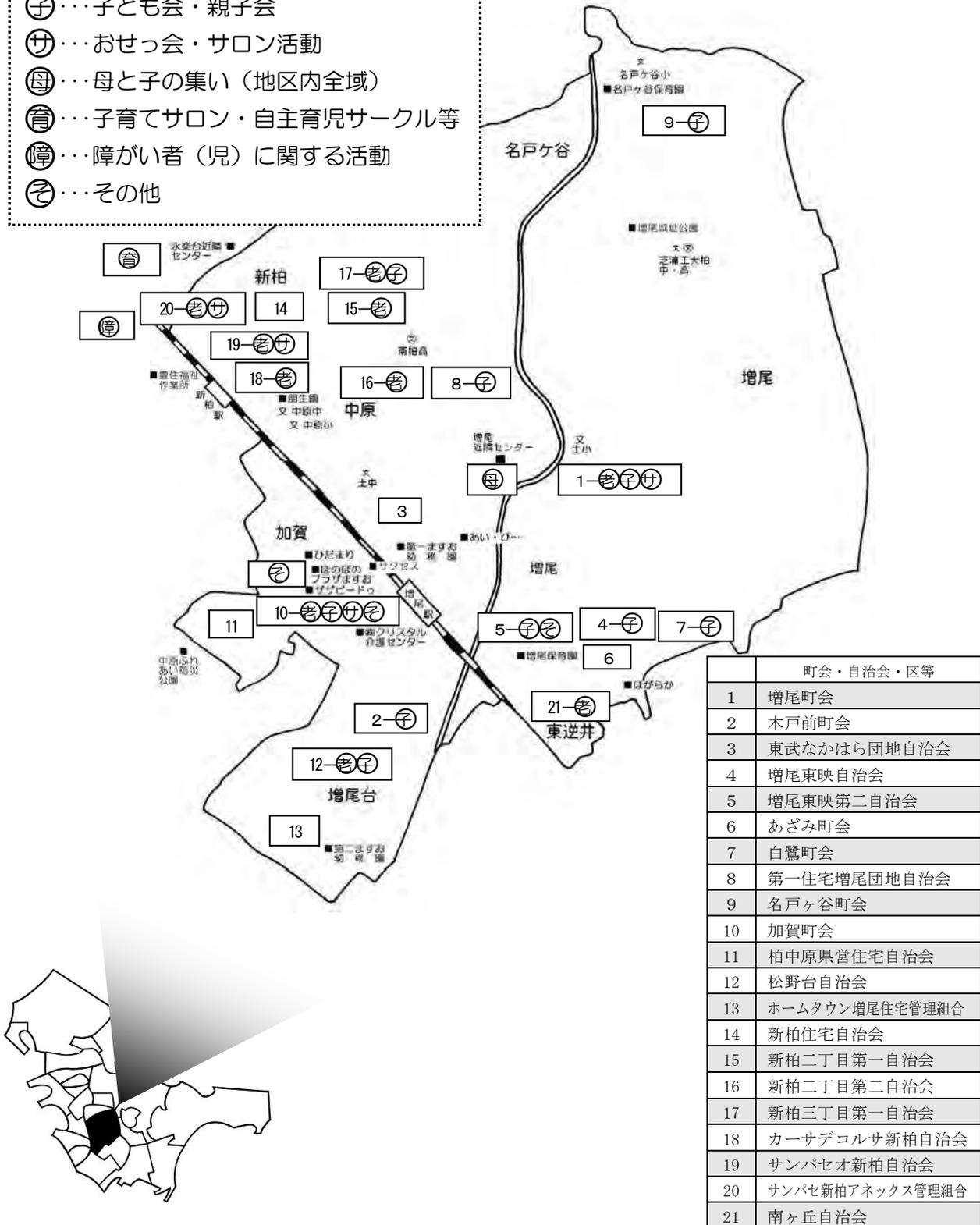
★日ごろの挨拶や住民同士の交流をきっかけに、お互いが顔の見える関係をつくる。  
★皆の意見が反映されるような民主的なあり方を通じ、世代間の交流や多くの住民が参加できる環境をつくる。  
★町会には、先見性を備えたリーダーを配置する。また、町会内の役割の分散化を図り、隣組を復活させ班長の目が届きやすくする。  
★個々に活動しているサークル団体が交流し輪を広げる。

土 地区活動マップ

その1

地図記号一覧

- 数字・・・町会・自治会・区等
- ⊖・・・老人クラブ・老人会
- ⊕・・・子ども会・親子会
- ⊞・・・おせっ会・サロン活動
- ⊗・・・母と子の集い（地区内全域）
- ⊙・・・子育てサロン・自主育児サークル等
- ⊚・・・障がい者（児）に関する活動
- ⊛・・・その他



# 土 地区活動マップ

# その2

## ■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

No.	《数字》町会・自治会・区等		《☎》老人クラブ・老人会		《☎》子ども会・親子会		
	名 称	総世帯数(加入世帯)	名 称	会員数	名 称	会員数	
1	増尾町会	2,429 (2,249)	増尾ダイヤモンドクラブ	85	増尾育成会 土の子子ども会 (土の子子ども会)	36 34	
2	木戸前町会	100 ( 100)					
3	東武なかはら団地自治会	70 ( 69)					
4	増尾東映自治会	166 ( 166)			東映第一親子会	10	
5	増尾東映第二自治会	141 ( 141)			東映第二親子会	25	
6	あざみ町会	38 ( 38)					
7	白鷺町会	111 ( 109)			白鷺親子会	18	
8	第一住宅増尾団地自治会	330 ( 330)			第一住宅子ども会	20	
9	名戸ヶ谷町会	325 ( 285)			名戸ヶ谷親子会	22	
10	加賀町会	1,065 (1,030)	加賀寿楽会	80	加賀第一親子会 加賀第二子ども会	49 35	
11	柏中原県営住宅自治会	29 ( 29)					
12	松野台自治会	588 ( 588)	松野台緑寿会	51	松の実子ども会	26	
13	ホームタウン増尾住宅管理組合	90 ( 90)					
14	新柏住宅自治会	428 ( 389)					
15	新柏二丁目第一自治会	116 ( 116)	シルバー新柏	56			
16	新柏二丁目第二自治会	105 ( 105)					
17	新柏三丁目第一自治会	299 ( 125)				新柏三丁目第一子ども会	20
18	カーサデコルサ新柏自治会	110 ( 110)					
19	サンパセオ新柏自治会	422 ( 343)					
20	サンパセ新柏アネックス管理組合	87 ( 87)					
21	南ヶ丘自治会	276 ( 259)	増尾南ヶ丘クラブ	87			

## ■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

No.	町会・自治会・区等		《☎》おせっ会・サロン活動		制度ボランティア	
	名 称	名 称	会 場	民生委員 児童委員	健康づく り推進員	
1	増尾町会	ハッピーサロンますお	増尾ふるさと会館	7 (6)	6 (6)	
2	木戸前町会			1 (1)	1 (1)	
3	東武なかはら団地自治会			1 (0)	—	
4	増尾東映自治会			1 (0)	—	
5	増尾東映第二自治会			1 (1)	1 (1)	
6	あざみ町会			1 (0)	1 (1)	
7	白鷺町会			1 (0)	1 (0)	
8	第一住宅増尾団地自治会			1 (1)	1 (1)	
9	名戸ヶ谷町会			2 (2)	1 (1)	
10	加賀町会	うらら会 加賀ほのぼの会	加賀町会会館 ほのぼのプラザますお	4 (4)	3 (3)	
11	柏中原県営住宅自治会			1 (0)	—	
12	松野台自治会			2 (2)	2 (2)	
13	ホームタウン増尾住宅管理組合			2 (0)	—	
14	新柏住宅自治会			1 (0)	—	
15	新柏二丁目第一自治会			1 (0)	1 (0)	
16	新柏二丁目第二自治会			1 (1)	1 (1)	
17	新柏三丁目第一自治会			1 (1)	1 (0)	
18	カーサデコルサ新柏自治会			1 (0)	—	
19	サンパセオ新柏自治会	華の会、椰子の会	サンパセオプラザ集會管理棟	1 (1)	1 (1)	
20	サンパセ新柏アネックス管理組合			1 (0)	1 (1)	
21	南ヶ丘自治会			1 (1)	1 (1)	
				主任児童委員 2 (2)	食生活推進員 3 (3)	

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位に活動を示したものです。

※民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、（ ）内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

## ■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

### 《☎》子育てサロン・自主育児サークル等

名 称	会 場
(子育てサロン)	(永楽台近隣センター)

### 《☎》母と子の集い（地区内全域）

名 称	会 場
母と子の集い	増尾近隣センター

### 《☎》障がい者（児）に関する活動

名 称	会 場
いちょうの会	豊住福祉作業所

### 《☎》その他

名 称	会 場
みのり会	ほのぼのプラザますお
いちょうの会	各家庭への友愛訪問
加賀グリーンクラブ	ラジオ体操、花の会
増尾東映第二自治会	囲碁クラブ、俳句の会、防災クラブ

# 藤心地区計画書

## 藤心地区データ

	人口データ	
	平成17年4月1日現在	
	藤心地区	柏市全域
人口(人)	15,102	376,018
世帯数(世帯)	4,124	129,680
4歳以下人口(人)	604	16,713
4歳以下人口比率(%)	4.0	4.4
14歳以下人口(人)	1,963	51,823
14歳以下人口比率(%)	13.0	13.8
65歳以上人口(人)	2,766	58,342
高齢化率(%)	18.3	15.5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 藤心地区社会福祉協議会の概要

平成16年度実績

事務所	会長宅
役員数	14名
運営委員数	41名
部会等	総務部会、ふれあい推進部会、高齢者福祉部会、ボランティア部会、研修部会
主な活動	広報紙発行、ボランティア育成交流・育成講座、ふれあいサロン、要援護者在宅訪問、敬老の集い、ひとり暮らし交流会、ふれあいの集い

### 藤心ふるさと協議会の概要

平成16年度実績

事務所	近隣センター
役員・運営委員数	73人
専門部	総務部、広報部、事業部、文化部、体育部、環境部、防災部
主な活動	広報誌発行、カタクリ祭り、夏まつり、運動会、文化祭、社交ダンス大会、ゴミゼロ運動、環境施設見学、防災講習会

## 藤心地区懇談会の様子



## 藤心地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 17 年 7 月 14 日 (木) 13:00～13:30	第 1 回懇談会打ち合せ	1	1	0
第 1 回懇談会	平成 17 年 7 月 31 日 (日) 13:00～15:00	現状の把握と課題の発見	1 2	3	4
第 2 回懇談会	平成 17 年 9 月 11 日 (日) 13:00～16:00	課題に対する解決方法	2 7	3	4
第 3 回懇談会	平成 17 年 10 月 23 日 (日) 13:00～16:00	今後の地域活動に向けて	2 3	4	1
確 認 会 議	平成 18 年 1 月 22 日 (日) 15:00～17:00	地区計画（案）確認	1 3	1	1

■会議及び懇談会開催数／全5回開催

■参加延べ人数／地域延べ76名／市社協職員延べ12名／行政職員延べ10名

■会場はいずれも、藤心近隣センター

藤心地区計画

藤心地区 地域健康福祉活動

① 住民主体の地域づくりを目指して

- ★助けあい・支えあいの意識を高めていくための交流機会を拡充するとともに、町会や地域団体の役員に参加できるしくみや環境づくりが重要。
- ★地域づくりの理想や考え方の違う世代を結びつけるために、学校やPTAとの連携を深める取り組みも必要。

よりよい連携の中での活動を目指して

③

- ★地域住民に「理解」と「参加」、そして「協力」を得るため、地域の団体活動を積極的にPRすること。
- ★団体同士の懇談の機会を設けること。
- ★祭りやイベントの際に、広く団体やグループを巻き込むこと。
- ★学校との連携により、三世交代事業をすすめること。
- ★町会を中心とした個人や団体の連絡調整のしくみづくりをすすめること。

重点目標

- ★地区社協やふるさと協議会活動と町会が一体となった、地域運営体制をつくる。
- ★隣近所のつながりを深めるように努める。
- ★「住民みんながリーダー」をスローガンに、リーダーづくりをすすめる。

② 活動上の悩みの解決方法

- ★町会や市による個人情報保護条例についての情報提供。  
また、信頼関係を築くための積極的な交流機会づくり。
- ★町会や団体の「推薦」と粘り強い「説得」で人材を確保する。
- ★町会を基本に、地域活動を展開する。

安心して住み続けられる地区を目指して

④

- ★リーダーや担い手づくりのきっかけとして、地域の学習や地域情報を提供する。
- ★地域の連帯感を醸成するため、若い世代や子ども達との交流の場をつくる。
- ★地区社協事業への積極的な住民参加を促進する。

柏市社会福祉協議会・柏市

## 藤心地区懇談会のまとめ

①

### 住民主体の地域づくりを目指して

#### 現状

◇都市部と農村部が混在し、町会や地区により家族構成も異なるという地域の特性がある藤心地区では、地域の連帯意識の希薄化が進行している。特に若い世代はプライバシーへの関与を嫌い、子供のしつけや近所づきあいも昔と大きく変化してきている。

#### 理想

◇助けあいの精神を持ち、隣近所への気配りや声かけができる住民。

#### 理想に向けて

- ★助けあい・支えあいの意識を高めるための交流機会を拡充するとともに、町会や地域団体の役員に参加できるしくみや環境づくりが重要。
- ★地域づくりの理想や考え方の違う世代を結びつけるために、学校やPTAとの連携を深める取り組みも必要。

②

### 活動上の悩みの解決方法

#### 活動上の課題

- ◇個人情報の問題が、民生委員・児童委員（主任児童委員）活動にも大きな支障となっている。
- ◇サロン活動を中心とした介護予防の重要性が指摘されているにもかかわらず、身近な拠点施設がない。
- ◇町会内部の役員確保や制度ボランティアの発掘に苦慮している。
- ◇町会活動に無関心な住民が増えてきた。

#### 解決方法

- ★町会や市による個人情報保護条例についての情報提供。  
また、信頼関係を築くための積極的な交流機会づくり。
- ★町会や団体の「推薦」と粘り強い「説得」で人材を確保する。
- ★町会を基本に、地域活動を展開する。

③

### よりよい連携の中での活動を目指して

#### 現状

◇藤心地区では、町会をはじめ、地区社協やふるさと協議会、青少年健全育成推進協議会、民生委員・児童委員（主任児童委員）、また子ども会や老人会、ボランティアなど、地区内の活動団体がそれぞれの事業を相互にサポートする形で、緊密な連携を図っている。

#### よりよい連携関係に向けて

- ★地域住民に「理解」と「参加」、そして「協力」を得るため、地域の団体活動を積極的にPRすること。
- ★団体間による懇談の機会を設けること。
- ★祭りやイベントの際に、広く団体やグループを巻き込むこと。
- ★学校との連携により、三世代交流事業をすすめること。
- ★町会を中心とした個人や団体の連絡調整のしくみづくりをすすめること。

④

### 安心して住み続けられる地区を目指して

#### 現状

- 【良いところ】盆踊りやフェスティバル、またサロン活動など、さまざまな行事や事業の開催により、住民交流が活発に行われ、明るく健全なコミュニティが形成されている。
- 【問題なところ】活発な地域活動に見合ったリーダーや担い手不足が懸念される。

#### これからの地区に向けて

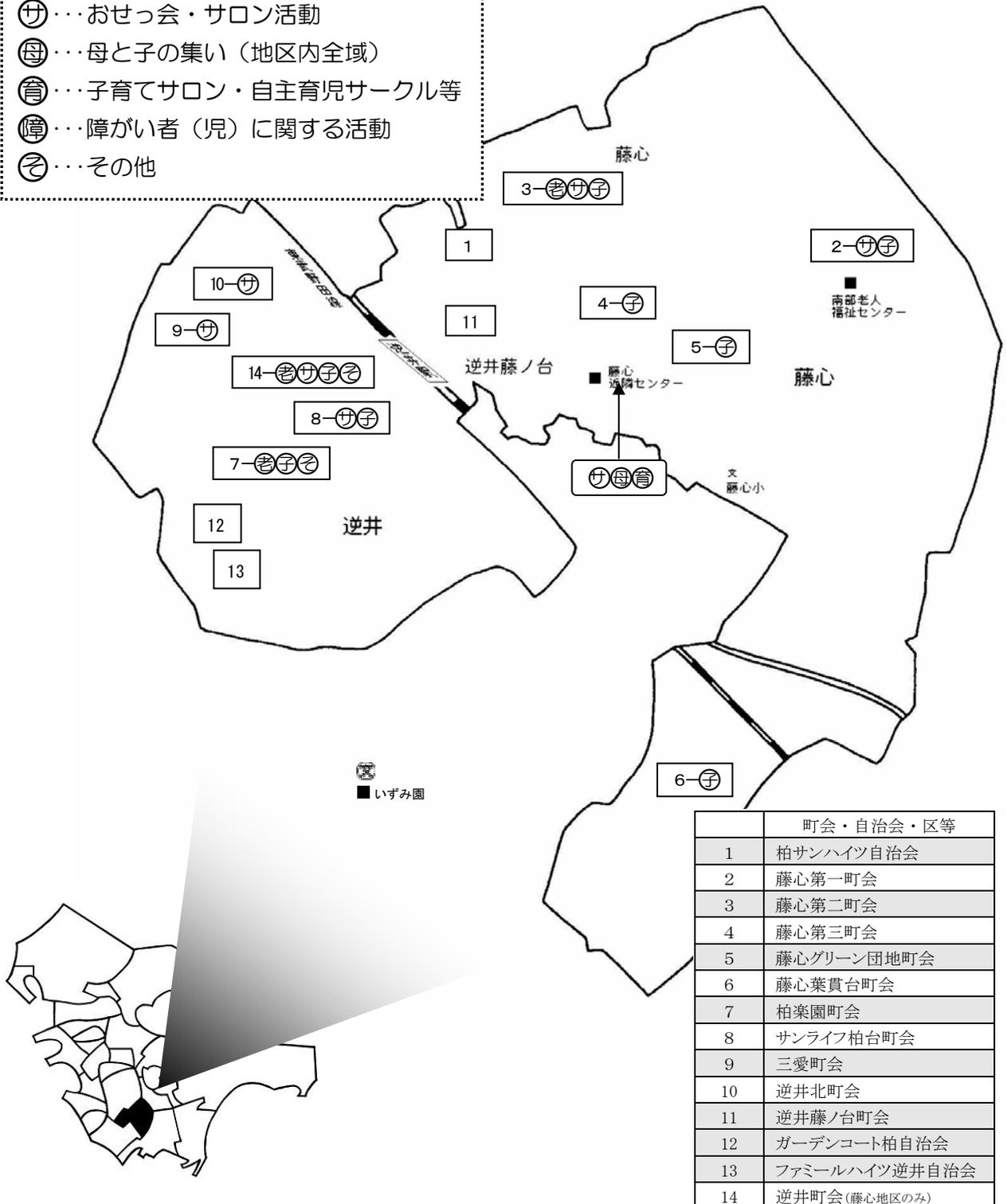
- ★リーダーや担い手づくりのきっかけとして、地域の学習や地域情報を提供する。
- ★地域の連帯感を醸成するため、若い世代や子ども達との交流の場をつくる。
- ★地区社協事業への積極的な住民参加を促進する。

藤心地区活動マップ

その1

地図記号一覧

- 数字・・・町会・自治会・区等
- ⊙(老)・・・老人クラブ・老人会
- ⊙(子)・・・子ども会・親子会
- ⊙(サ)・・・おせっ会・サロン活動
- ⊙(母)・・・母と子の集い（地区内全域）
- ⊙(育)・・・子育てサロン・自主育児サークル等
- ⊙(障)・・・障がい者（児）に関する活動
- ⊙(そ)・・・その他



	町会・自治会・区等
1	柏サンハイツ自治会
2	藤心第一町会
3	藤心第二町会
4	藤心第三町会
5	藤心グリーン団地町会
6	藤心葉貫台町会
7	柏楽園町会
8	サンライフ柏台町会
9	三愛町会
10	逆井北町会
11	逆井藤ノ台町会
12	ガーデンコート柏自治会
13	ファミリーハイツ逆井自治会
14	逆井町会(藤心地区のみ)

藤心地区活動マップ

その2

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

〈数字〉町会・自治会・区等			〈㊟〉老人クラブ・老人会		〈㊦〉子ども会・親子会	
名称	総世帯数(加入世帯)	名称	会員数	名称	会員数	
1 柏サンハイツ自治会	65(65)					
2 藤心第一町会	785(745)	ひまわり会(連盟未加入)		藤心第一子供会	45	
3 藤心第二町会	255(255)	藤寿会	54	親子サークル	30	
4 藤心第三町会	289(289)			藤心第三子供会	30	
5 藤心グリーン団地町会	105(105)					
6 藤心葉貫台町会	104(104)			葉貫台子供会	8	
7 柏楽園町会	945(935)	柏楽園 木の実会	90	柏楽園子供会	184	
8 サンライフ柏台町会	100(100)			サンライフ子供会	15	
9 三愛町会	97(97)					
10 逆井北町会	108(107)					
11 逆井藤ノ台町会	352(212)					
12 ガーデンコート柏自治会	47(46)					
13 ファミールハイツ逆井自治会	110(105)					
14 逆井町会(藤心地区のみ)	762(762)	①逆井親交会・②百寿会 ③コスモス会	①62	逆井子供育成会	40	

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数(つづき)

町会・自治会・区等		〈㊟〉おせつ会・サロン活動		〈㊦〉祭り		制度ボランティア	
名称	名称	会場	有無	民生委員 児童委員	健康づく り推進員		
1 柏サンハイツ自治会				1(0)	0(0)		
2 藤心第一町会	つくしんぼ	町会ふるさと会館		4(3)	2(2)		
3 藤心第二町会	狐っぴよ	町会ふるさと会館		1(1)	1(1)		
4 藤心第三町会				1(1)	1(1)		
5 藤心グリーン団地町会				1(1)	1(1)		
6 藤心葉貫台町会				1(1)	1(1)		
7 柏楽園町会			○	4(4)	2(2)		
8 サンライフ柏台町会	ふれあいサロン「カタクリ」				1(1)		
9 三愛町会		個人宅		1(1)	1(1)		
10 逆井北町会				1(1)	1(0)		
11 逆井藤ノ台町会				1(0)	1(1)		
12 ガーデンコート柏自治会				1(0)	1(1)		
13 ファミールハイツ逆井自治会				3(3)	2(2)		
14 逆井町会(藤心地区のみ)	逆井福祉会	逆井ふるさと会館	○	主任児童委員 2(2)	食生活推進員 3(3)		
地区全域	ゆうゆうサロン (地区社協:ぼたんの会)	藤心近隣センター (地域全域対象)					

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位に活動を示したものです。

※民生委員・児童委員(主任児童委員)、柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、( )内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

■地区内で行われている活動(上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む)

〈㊟〉子育てサロン・自主育児サークル等

名称	会場
子育て講座	近隣センター

〈㊦〉母と子の集い(地区内全域)

名称	会場
母と子の集い	近隣センター

〈㊟〉障がい者(児)に関する活動

名称	会場

- ※いずみ園のバザーに協力  
 ・農家による野菜の寄付  
 ・老人クラブによる雑巾の寄付

〈㊦〉その他

名称	会場
おやじの会	藤心小学校
逆井囃子保存会	神社
探索会	広域で地域を調査
青少年健全育成推進協議会	・防犯パトロール、防犯啓発活動 ・サマーフェスティバル ・研修、機関紙発行
十色咲そう会	・学校支援、子供会支援

# 光ヶ丘地区計画書

## 光ヶ丘地区データ

	人口データ	
	平成 17 年 4 月 1 日現在	
	光ヶ丘地区	柏市全域
人口(人)	17,777	376,018
世帯数(世帯)	5,873	129,680
4歳以下人口(人)	779	16,713
4歳以下人口比率(%)	4.4	4.4
14歳以下人口(人)	2,545	51,823
14歳以下人口比率(%)	14.3	13.8
65歳以上人口(人)	3,006	58,342
高齢化率(%)	16.9	15.5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 光ヶ丘地区社会福祉協議会の概要

平成 16 年度実績

事務所	会長宅
役員数	13名
運営委員数	27名
部会等	広報部会、事業部会、ボランティア部会
主な活動	広報紙発行、アンケート調査、ボランティア育成講習、ボランティアの集い、ふれあいサロン、敬老の集い、ふれあいウォーク、ふれあい寄席、ひとり暮らし高齢者友愛訪問

### 光ヶ丘ふるさと協議会の概要

平成 16 年度実績

事務所	光ヶ丘近隣センター
役員・運営委員数	執行部13名（役員・部会長）、理事（16町会長）、まちづくり委員会
専門部	総務広報、企画運営、防犯防災交通、保健体育、生涯教育文化、生活環境
主な活動	広報紙発行、近隣センター祭、視察研修、防犯講習会、ウォーキング、各種講座、パネル展、料理教室

## 光ヶ丘地区懇談会の様子



## 光ヶ丘地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 17 年 7 月 15 日 (金) 10:00～11:30	第 1 回懇談会打ち合せ	1	2	0
第 1 回懇談会	平成 17 年 7 月 24 日 (日) 16:30～18:30	現状の把握と課題の発見	1 0	4	2
打 ち 合 せ	平成 17 年 8 月 31 日 (水) 14:00～15:30	第 2 回懇談会打ち合せ	1	2	0
第 2 回懇談会	平成 17 年 9 月 28 日 (水) 10:40～12:40	課題に対する解決方法	2 2	4	0
打 ち 合 せ	平成 17 年 11 月 22 日 (火) 9:30～11:10	第 3 回懇談会打ち合せ	1 1	1	0
第 3 回懇談会	平成 17 年 12 月 26 日 (月) 13:30～16:30	今後の地域活動に向けて	2 0	4	3
打 ち 合 せ	平成 18 年 1 月 20 日 (金) 10:00～11:30	確認会議打ち合せ	1	1	0
確 認 会 議	平成 18 年 2 月 10 日 (金) 10:00～11:30	地区計画（案）確認	7	2	2

■会議及び懇談会開催数／全8回開催

■参加延べ人数／地域延べ73名／市社協職員延べ20名／行政職員延べ7名

■会場はいずれも、光ヶ丘近隣センター

光ヶ丘地区計画

光ヶ丘地区 地域健康福祉活動

**① 住民主体の地域づくりを目指して**

- ★住民同士が意識して声をかける。
- ★住民同士が交流を図れるような地域活動やイベントを企画する。
- ★住民意識を変えるための講座を開催し、ボランティア意識を醸成する。

**② よりよい連携の中での活動を目指して**

- ★地域内の各団体が集い、協力関係を築けるよう話し合う。
- ★地域内の関連性がある団体同士が、同じテーブルについて情報交換する。
- ★町会が、役員を含め他町会と交流することはもちろん、地区社協の事業に参加したり、地域内の活動と連携できるようにしくみをつくる。
- ★幼稚園や保育園との交流をはじめ

重点目標

- ☆町会未加入者への加入促進活動と加入させるための魅力ある活動の実践。
- ☆防災の観点を踏まえた弱者の把握と町会による情報管理。
- ☆子どもたちの登下校の見守りを含めた防犯活動。
- ☆定年退職者が地域活動できるしくみづくり。

**③ 活動上の悩みの解決方法**

- ★リーダーの役割を一人に集中させず、何人かに分散させる。
- ★楽しい活動状況を住民に見てもらい、参加しやすい雰囲気をつくる。
- ★住民に理解を得られるよう、個人情報保護の対策をおこなう。
- ★掲示板や回覧板を通じ、地域活動をもっとPRする。

**④ 安心して住み続けられる地区を目指して**

- ★住民同士がお互いに知り合えるきっかけづくり（小単位での行事やお茶飲み会の復活、若い人が参加するための工夫）。
- ★町会未加入者に対する加入促進の活動。
- ★特定の人が過重な負担を負わないよう、役割を分散化させる。
- ★地区社協のメンバーに加わるよう、障害者団体へ呼びかける。

柏市社会福祉協議会・柏市

## 光ヶ丘地区懇談会のまとめ

①

### 住民主体の地域づくりを目指して

#### 現状

◇昔は、近所でのつながりがあり、その中で子ども達の見守りや助けあいが行なわれていたが、現在では少子高齢化や核家族化などから、地域とのつながりが薄く、個人の時間や趣味などを重要視している方が多いように思える。

#### 理想

◇町会の加入者が増え、住民同士のあいさつや声かけ・コミュニケーションが活発化して顔が見える関係を築き、子どもから高齢者まで世代間の交流が図られる住民像。

#### 理想に向けて

- ★住民同士が意識して声をかける。
- ★住民同士が交流を図れるような地域活動やイベントを企画する。
- ★住民意識を変えるための講座を開催し、ボランティア意識を醸成する。

②

### よりよい連携の中での活動を目指して

#### 現状

◇町会・自治会をはじめ、地域で活動している諸団体や地区内施設等が、互いに事業を行う際に共催や協力という形で連携している。

#### よりよい連携関係に向けて

- ★地域内の各団体が集い、協力関係を築けるよう話し合う。
- ★地域内の関連性がある団体同士が、同じテーブルについて情報交換する。
- ★町会が、役員を含め他町会と交流することはもちろん、地区社協の事業に参加したり、地域内の活動と連携できるようなしくみをつくる。
- ★幼稚園や保育園との交流をはじめめる。

③

### 活動上の悩みの解決方法

#### 活動上の課題

◇活動の担い手が不足している。活動内容は、個人情報保護や複雑多様な問題などから、活動がスムーズに出来ない状況にある。また、地区内の活動を知らない人も多いことから、情報の伝達方法が課題となっている。

#### 解決方法

- ★リーダーの役割を一人に集中させず、何人かに分散させる。
- ★楽しい活動状況を住民に見てもらい、参加しやすい雰囲気をつくる。
- ★住民に理解を得られるよう、個人情報保護の対策をおこなう。
- ★掲示板や回覧板を通じ、地域活動をもっとPRする。

④

### 安心して住み続けられる地区を目指して

#### 現状

- ◇【良いところ】  
町会長が率先して活動し、町会長同士の連携がよいことから、地区全体で動く際に話がまとまりやすい。
- ◇【問題なところ】  
地域組織が沢山あること。地区社協を知らない人がたくさんいること。地区社協メンバーに障害者団体が所属していないこと。

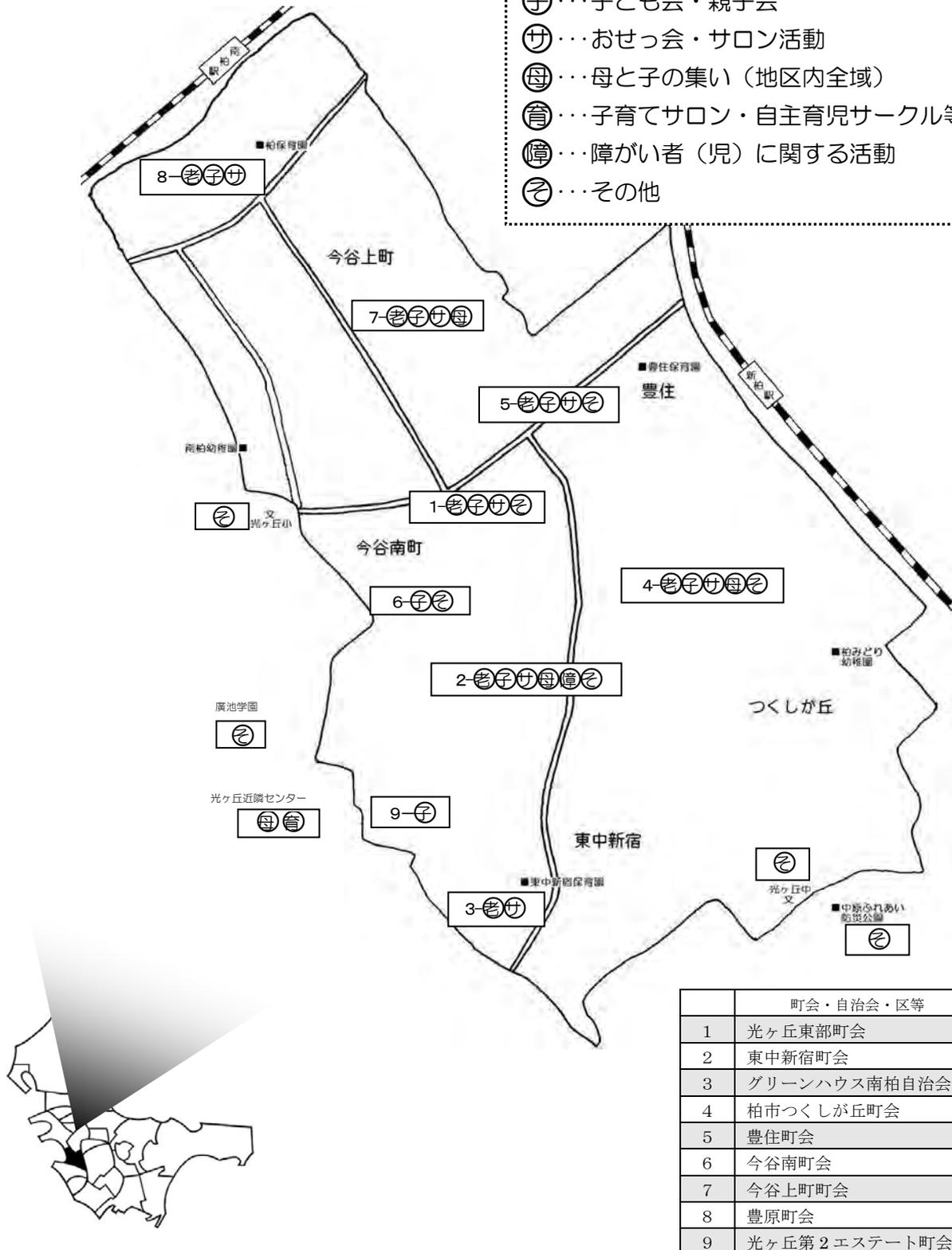
#### これからの地区に向けて

- ★住民同士がお互いに知り合えるきっかけづくり(小単位での行事やお茶飲み会の復活、若い人が参加するための工夫)。
- ★町会未加入者に対する加入促進の活動
- ★特定の人が過重な負担を負わないよう、役割を分散化させる。
- ★地区社協のメンバーに加わるよう、障害者団体へ呼びかける。

光ヶ丘地区活動マップ その1

地図記号一覧

- 数字・・・町会・自治会・区等
- ⊙老・・・老人クラブ・老人会
- ⊙子・・・子ども会・親子会
- ⊙サ・・・おせっ会・サロン活動
- ⊙母・・・母と子の集い（地区内全域）
- ⊙育・・・子育てサロン・自主育児サークル等
- ⊙障・・・障がい者（児）に関する活動
- ⊙そ・・・その他



	町会・自治会・区等
1	光ヶ丘東部町会
2	東中新宿町会
3	グリーンハウス南柏自治会
4	柏市つくしが丘町会
5	豊住町会
6	今谷南町会
7	今谷上町町会
8	豊原町会
9	光ヶ丘第2エステート町会

# 光ヶ丘地区活動マップ

# その2

## ■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

(数字) 町会・自治会・区等		(㊟) 老人クラブ・老人会		(㊦) 子ども会・親子会		(㊧) その他
名 称	総世帯数(加入世帯)	クラブ名	会員数	名 称	会員数	
1 光ヶ丘東部町会	188 ( 170)	光東クラブ	5 3	光ヶ丘東部子ども会	1 9	防犯パトロール 清掃活動
2 東中新宿町会	1,500 (1,400)	東中新宿菊寿会	7 2	東中新宿子ども会	8 4	敬老会 防犯パトロール
3 グリーンハウス南柏自治会	122 ( 122)					
4 柏市つくしが丘町会	1,450 (1,400)	つくし会	8 9	つくしが丘子ども会	1 0 0	敬老会 防犯パトロール
5 豊住町会	928 ( 828)	豊住豊寿会	4 7	豊住第一子ども会	4 1	防犯パトロール 清掃活動
6 今谷南町会	92 ( 92)			今谷南子ども会	1 9	ボランティア会(花壇作り)
7 今谷上町町会	1,279 ( 979)	今谷上町松寿会	5 5	今谷子ども会	1 0 5	
8 豊原町会	160 ( 120)					
9 光ヶ丘第2エステート町会	154 ( 154)			光ヶ丘第2エステート子ども会	1 6	

## ■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

町会・自治会・区等		(㊦) おせっ会・サロン活動		制度ボランティア	
名 称	名 称	会 場	民生委員 児童委員	健康づく り推進員	
1 光ヶ丘東部町会	ひかり会	光ヶ丘東部町会集会所	1 ( 1)	1 ( 1)	
2 東中新宿町会	わかば会	東中新宿ふるさと会館	5 ( 5)	3 ( 3)	
3 グリーンハウス南柏自治会			1 ( 1)		
4 柏市つくしが丘町会	たんぼぼの会	つくしが丘ふるさと会館	5 ( 5)	3 ( 3)	
5 豊住町会	エプロンの会	豊住ふるさとセンター	3 ( 3)	1 ( 1)	
6 今谷南町会			1 ( 1)		
7 今谷上町町会	元気会	今谷上町ふるさとセンター	5 ( 5)	4 ( 4)	
8 豊原町会			1 ( 1)	1 ( 1)	
9 光ヶ丘第2エステート町会			1 ( 1)		
			主任児童委員	食生活推進員	
			2 ( 2)	3 ( 3)	

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位に活動を示したものです。

※民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、（ ）内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

## ■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

### 〈㊦〉子育てサロン・自主育児サークル等

名 称	会 場
母と子のおしゃべり会 (主任児童委員)	光ヶ丘近隣センター

### 〈㊦〉母と子の集い（地区内全域）

名 称	会 場
ぼかぼか	光ヶ丘近隣センター
ミニぼか	東中新宿町会、柏市つくしが丘町会
びよびよ	今谷上町町会

### 〈㊦〉障がい者（児）に関する活動

名 称	会 場
手をつなぐ親の会（バザー）	東中新宿ひろば

### 〈㊧〉その他

名 称	会場または内容
青少年健全育成推進協議会	映画会、ふれあいコンサート、剣道大会
青少年相談員	スポーツ大会、スタンプラリー、もちつき大会
少年補導委員校外補導部	校外補導
子ども会の集まり	中原ふれあい防災公園

# 南光ヶ丘地区計画書

## 南光ヶ丘地区データ

	人口データ	
	平成 17 年 4 月 1 日現在	
	南光ヶ丘地区	柏市全域
人口(人)	12,947	376,018
世帯数(世帯)	4,389	129,680
4歳以下人口(人)	505	16,713
4歳以下人口比率(%)	3.9	4.4
14歳以下人口(人)	1,688	51,823
14歳以下人口比率(%)	13.0	13.8
65歳以上人口(人)	2,460	58,342
高齢化率(%)	19.0	15.5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 南光ヶ丘地区社会福祉協議会の概要

平成 16 年度実績

事務所	会長宅
役員数	10名
運営委員数	53名
部会等	広報部会、第1事業部会、第2事業部会、第3事業部会、ボランティア部会
主な活動	広報誌発行、サロン研修会、ビデオ研修会、視察研修、ふれあいサロン、敬老の集い、三世代ふれあいの集い、ひとり暮らし高齢者の集い

### 光ヶ丘ふるさと協議会の概要

平成 16 年度実績

事務所	光ヶ丘近隣センター
役員・運営委員数	執行部13名（役員・部会長）、理事（16町会長）、まちづくり委員会
専門部	総務広報、企画運営、防犯防災交通、保健体育、生涯教育文化、生活環境
主な活動	広報紙発行、近隣センター祭、視察研修、防犯講習会、ウォーキング、各種講座、パネル展、料理教室

## 南光ヶ丘地区懇談会の様子



## 南光ヶ丘地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 17 年 8 月 7 日 (日) 13:00~14:00	第 1 回懇談会打ち合せ	3	2	0
第 1 回懇談会	平成 17 年 8 月 20 日 (土) 13:00~15:00	現状の把握と課題の発見	9	3	3
打 ち 合 せ	平成 17 年 11 月 13 日 (日) 14:00~15:00	第 2 回懇談会打ち合せ	3	2	0
第 2 回懇談会	平成 17 年 11 月 23 日 (水) 14:00~17:00	課題に対する解決方法	28	6	2
打 ち 合 せ	平成 18 年 1 月 13 日 (金) 14:00~15:00	第 3 回懇談会打ち合せ	3	2	0
第 3 回懇談会	平成 18 年 1 月 29 日 (日) 13:30~16:30	今後の地域活動に向けて	20	3	3
確 認 会 議	平成 18 年 3 月 12 日 (日) 13:00~14:15	地区計画 (案) 確認	6	2	3

■会議及び懇談会開催数／全7回開催

■参加延べ人数／地域延べ72名／市社協職員延べ20名／行政職員延べ11名

■会場はいずれも、光ヶ丘近隣センター

南光ヶ丘地区計画

南光ヶ丘地区 地域健康福祉活動

① 住民主体の地域づくり  
を目指して

- ★あいさつ運動を行う。
- ★潜在的な人材（おもに男性）の活動の場づくり。
- ★住民同士が交流を図って顔見知りになり、小さなことから協力しあえる関係を築いていく。

② よりよい連携の中での  
活動を目指して

- ★地域活動にかかわるそれぞれの団体が集って話し合いの場づくりをする。町会をこえた交流も必要。
- ★地域で活動している生活情報を共有しあい、それぞれの団体が共通認識をもつことによって、より多くの地域住民に対して情報提供を行う。ひいては広く人材を発掘し、ボランティアの裾野を広げる。

重点目標

- ★大人から、挨拶と声かけ活動（運動）を行う。
- ★次の担い手である団塊世代の参加促進と、後継者の育成を行い、だれもが地域活動できるようなくみづくりをし、小さな活動から裾野を広げていく。
- ★気軽に情報交換ができる機会を設け、地域で活動している生活情報を共有し合い、地区全体の地域活動における意識の向上を図る。

③ 活動上の悩みの  
解決方法

- ★リーダー（役員）の期間・役割を明確にするとともに、負担を一人に集中させず、何人かに分散させる。また時間をかけて広く人材を見つけ、育てていく。
- ★参加しやすい雰囲気をつくり、活動日や時間が短くても気軽に活動ができるようにする。
- ★アトムの会等を参考に地域でできることをみんなで考え、小さなことから行ってみる。
- ★住民同士、地域活動情報を共有し、その地域にあった活動を行う。
- ★掲示板や回覧板をより活用し、地域活動をPRする。

④ 安心して住み続けられる  
地区を目指して

- ★地区社協や町会等の地域活動の活性化を行いながら、地域での横のつながりをつくっていくための出会いの場や話し合いの場づくりを行う。
- ★子どもから高齢者まで参加できる行事を取り入れながら、地域活動情報の発信を行う。ひいては、団塊世代の特技等を生かせる場づくりを行う。
- ★地域活動者の裾野を広げていくため、若い世代との懇談の場と地域行事参加の促進。

柏市社会福祉協議会・柏市

## 南光ヶ丘地区懇談会のまとめ

1

### 住民主体の地域づくりを目指して

#### 現状

- ◇昔は地域での顔が見えていたこともあって、住民全員が町会に対しての意識が強かった。しかし今は少子高齢化や共働き等による生活スタイルの変化に伴い、地域でのつながりが希薄になっています。
- ◇その結果、若い世代が地域行事への参加（興味）の減少につながるのと同時に、個人情報保護による地域での活動に制限が生じ、やり辛さがでています。

#### 理想

- ★住民相互のあいさつや声かけ等のコミュニケーションを通じ、お年寄りははじめ地域全体が顔の見える交流が図られ、「いざ」という時に助け合える地域。

#### 理想に向けて

- ★あいさつ運動を行う。
- ★潜在的人材（おもに男性）の活動の場づくり。
- ★住民同士が交流を図って顔見知りになり、小さなことから協力しあえる関係を築いていく。

2

### よりよい連携の中での活動を目指して

#### 現状

- ◇町会・自治会や老人クラブ等が独自の地域活動を展開しています。今後は横断的な連携の必要性があるように見受けられます。

#### よりよい連携関係に向けて

- ★地域活動にかかわるそれぞれの団体が集って話し合いの場づくりをする。町会をこえた交流も必要。
- ★地域で活動している生活情報を共有しあい、それぞれの団体が共通認識をもつことによって、より多くの地域住民に対して情報提供を行う。ひいては広く人材を発掘し、ボランティアの裾野を広げる。

3

### 活動上の悩みの解決方法

#### 活動上の課題

- ◇活動の担い手が不足し、リーダーと担い手が同一人物の場合があり、あらたに地域活動のリーダーや担い手を見つけることが難しい。また、個人情報保護により活動に大きく制限が生じてきていることから、地区内での情報の伝達方法が複雑化している。

#### 解決方法

- ★リーダー（役員）の期間・役割を明確にするとともに、負担を一人に集中させず、何人かに分散させる。また時間をかけて広く人材を見つけ、育てていく。
- ★参加しやすい雰囲気をつくり、活動日や時間が短くても気軽に活動ができるようにする。
- ★アトムの会等を参考に地域でできることを皆で考え、小さなことから行ってみる。
- ★住民同士、地域活動情報を共有し、その地域にあった活動を行う。
- ★掲示板や回覧板をより活用し、地域活動をPRする。

4

### 安心して住み続けられる地区を目指して

#### 現状

- ◇【良いところ】  
地区社協の会長を中心にメンバーがまとまっていることや、地域が隣接し密着しているため、地区で動く際には話がまとまりやすい。
- ◇【問題なところ】  
地区社協の普及啓発活動が不十分であるということと、若い世代や、しょうがい者団体を含めて地区づくりをしなければならない。

#### これからの地区に剥けて

- ★地区社協や町会等の地域活動の活性化を行いながら、地域での横のつながりをつくっていくための出合いの場や話し合いの場づくりを行う。
- ★子どもから高齢者まで参加できる行事を取り入れながら、地域活動情報の発信を行う。ひいては、団塊世代の特技等を生かせる場づくりを行う。
- ★地域活動者の裾野を広げていくため、若い世代との懇談の場と地域行事参加の促進。

南光ヶ丘地区活動マップ

その1

地図記号一覧

数字・・・町会・自治会・区等

⊙老・・・老人クラブ・老人会

⊙子・・・子ども会・親子会

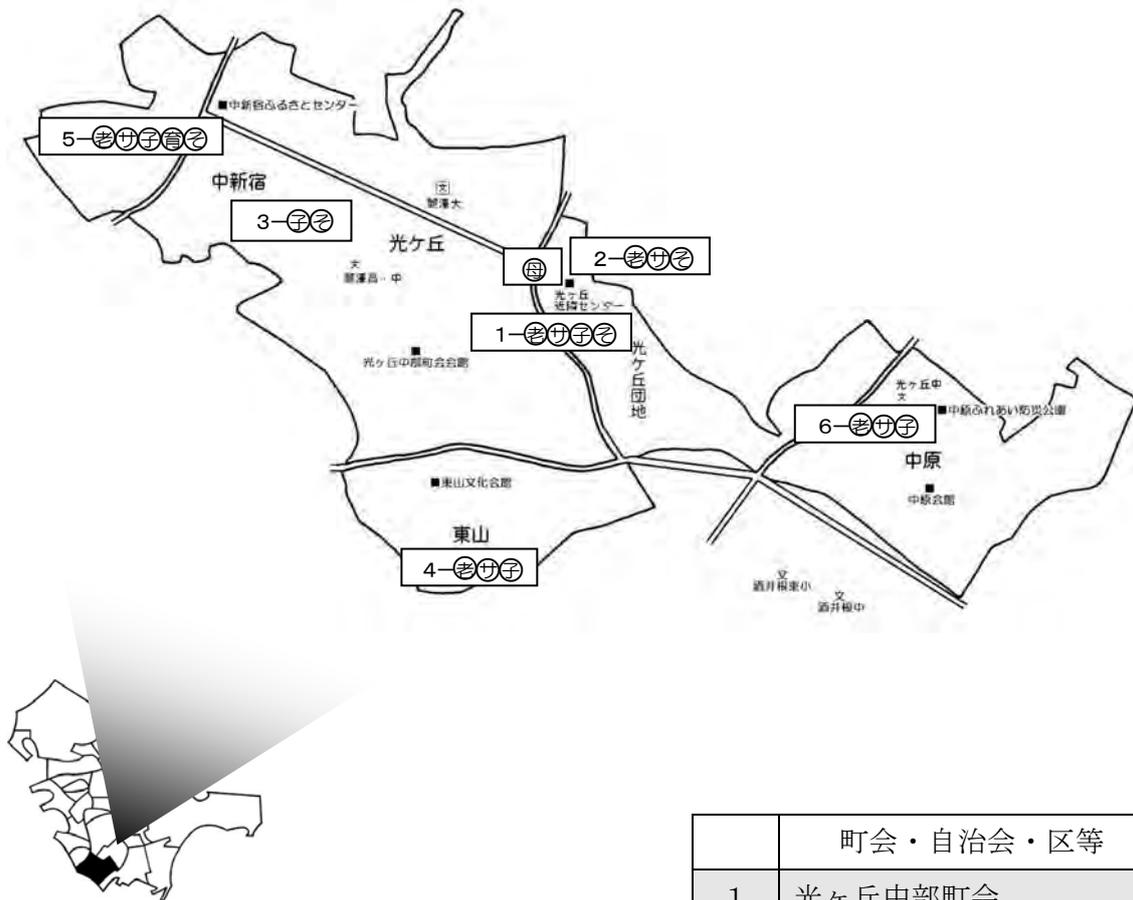
⊙サ・・・おせっ会・サロン活動

⊙母・・・母と子の集い（地区内全域）

⊙育・・・子育てサロン・自主育児サークル等

⊙障・・・障がい者（児）に関する活動

⊙そ・・・その他



	町会・自治会・区等
1	光ヶ丘中部町会
2	光ヶ丘団地自治会
3	廣池町会
4	東山町会
5	柏市中新宿町会
6	中原町会

南光ヶ丘地区活動マップ その2

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

	《数字》町会・自治会・区等		《老》老人クラブ・老人会		《子》子ども会・親子会	
	名 称	総世帯数(加入世帯)	名 称	会員数	名 称	会員数
1	光ヶ丘中部町会	474( 417)	光老会	57	光ヶ丘中部子ども会	126
2	光ヶ丘団地自治会	742( 580)	光寿会	58		
3	廣池町会	105( 105)			廣池少年団	60
4	東山町会	638( 598)	東山天寿会	69	子ども会	53
5	柏市中新宿町会	1,360(1,230)	中新宿きらく会	99	中新宿親子会	80
6	中原町会	1,070(1,020)	中光会	96	中原町会中原 子ども会	186

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

	町会・自治会・区等 名 称	《お》おせつ会・サロン活動		制度ボランティア	
		名 称	会 場	民生委員 児童委員	健康づく り推進員
1	光ヶ丘中部町会	すみれ会	光ヶ丘中部町会会館	2 (2)	1 (1)
2	光ヶ丘団地自治会	みどり会	光ヶ丘団地集会所	3 (3)	1 (1)
3	廣池町会	さくら会	廣池北部集会所	1 (1)	1 (1)
4	東山町会	うさぎの会	東山文化会館	2 (2)	1 (1)
5	柏市中新宿町会	レモンの会	中新宿ふるさと会館	4 (4)	3 (3)
6	中原町会	若草会	中原ふるさと会館	5 (5)	2 (2)
				主任児童委員 2 (2)	食生活推進員 1 (1)

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位に活動を示したものです。

※民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、（ ）内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

# 酒井根地区計画書

## 酒井根地区データ

	人口データ	
	平成 17 年 4 月 1 日現在	
	酒井根地区	柏市全域
人 口(人)	12,105	376,018
世 帯 数(世帯)	3,562	129,680
4歳以下人口(人)	545	16,713
4歳以下人口比率(%)	4.5	4.4
14歳以下人口(人)	1,699	51,823
14歳以下人口比率(%)	14.0	13.8
65歳以上人口(人)	2,078	58,342
高 齢 化 率(%)	17.2	15.5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 酒井根地区社会福祉協議会の概要

平成 16 年度実績

事 務 所	会長宅
役 員 数	13名
運営委員数	46名
部 会 等	総務部、高齢者福祉部、健康づくりボランティア部
主な活動	広報紙発行、ボランティア育成講座、視察研修、施設研修、ふれあいサロン、敬老会、ふれあいの集い、一人暮らし高齢者を囲む会、世代間交流芋掘り、ふれあい囲碁交流

### 酒井根ふるさと協議会の概要

平成 16 年度実績

事 務 所	近隣センター
役員・運営委員数	45人
専 門 部	総務運営部、生活福祉部、文化体育部、広報部
主な活動	広報誌発行、ゴミゼロ運動、委員視察研修、文化祭、料理講習会、バス研修、医療懇談会、シルバー研修、味噌づくり研修会、歩こう会、手芸講習会やスポーツ大会（グラウンドゴルフ大会など）

## 酒井根地区懇談会の様子



## 酒井根地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 17 年 7 月 27 日 (水) 19:00～21:00	第 1 回懇談会打ち合せ	9	1	0
第 1 回懇談会	平成 17 年 8 月 5 日 (金) 19:00～21:00	現状の把握と課題の発見	12	3	2
第 2 回懇談会	平成 17 年 9 月 18 日 (日) 18:00～21:00	課題に対する解決方法	18	5	1
第 3 回懇談会	平成 17 年 11 月 30 日 (水) 18:00～21:00	今後の地域活動に向けて	21	4	1
確 認 会 議 1	平成 18 年 1 月 25 日 (水) 19:00～21:00	地区計画（案）確認	10	1	2
確 認 会 議 2	平成 18 年 2 月 22 日 (水) 19:00～21:00	地区計画（案）確認	10	1	1

■会議及び懇談会開催数／全5回開催

■参加延べ人数／地域延べ80名／市社協職員延べ15名／行政職員延べ7名

■会場はいずれも、酒井根近隣センター

酒井根地区計画

酒井根地区 地域健康福祉活動

① 住民主体の地域づくり  
を目指して

- ★仲間づくり・交流の場づくり
- ★協働のしくみづくり
- ★防災活動による連帯感の醸成
- ★情報の共有による計画的な活動の推進

③ よりよい連携の中での  
活動を目指して

- ★昔話や遊びなどを通じた地域と学校の連携。
- ★地域住民の交流機会の拡充と声かけによる行事参加への勧誘。
- ★活動団体の情報交換の場づくり。

重点目標

- ☆町会活動への意識啓発と参加促進。
- ☆防災意識の向上と活動の推進。
- ☆高齢者と小中学生を中心とした世代間交流の場づくり。
- ☆あいさつ運動などによる隣近所の交流の場づくり。

② 活動上の悩みの  
解決方法

- ★個人情報不足は、活動者自身の意識や行動で補う。
- ★担い手不足は、活動を自分たちが楽しめるものにし、自信を持って友人や参加者への声かけができる環境をつくる。
- ★町会加入の促進は、班長による情報提供と意識啓発で対応。
- ★活動の活性化を図るため、マンネリ化した活動や地区社協事業の見直しを行う。
- ★地区社協による、ふる協事務所の共有化を図り、拠点不足を補う。

④ 安心して住み続けられる  
地区を目指して

- ★連携や協働という意識を持った地域内の活動組織の見直し。
- ★転入者を積極的に巻き込んだ交流の場づくり。
- ★学校を中心とした世代間交流の展開。
- ★コーディネーターの養成と近隣センターの活用。
- ★地域活動者による懇談の場づくり。

柏市社会福祉協議会・柏市

## 酒井根地区懇談会のまとめ

1

### 住民主体の地域づくりを目指して

#### 現状

- ◇昔と比べ、今は人間関係の希薄さが目立ち、あいさつさえできない人が増えている。子供の遊びも外から内へと変化している。また、ボランティア活動が活発化する中で行動が伴わない人も増えつつある。
- 現在、少子高齢化が進行する中で、高齢化率が増加傾向にある酒井根地区では、元気な高齢者が地域活動に積極的に参加している。特に女性の活躍が目立っている。

#### 理想

- ◇「あいさつ」からはじまる人と人とのつながりをつくれる住民。
- ◇子どもや隣近所を大切に、町会の力を引き出すことのできる住民。

#### 理想に向けて

- ★仲間づくり・交流の場づくり。
- ★協働のしくみづくり。
- ★防災活動による連帯感の醸成。
- ★情報の共有による計画的な活動の推進。

2

### 活動上の悩みの解決方法

#### 活動上の課題

- ◇個人情報の問題が、福祉活動の支障となっている。
- ◇地域活動の担い手であるボランティアが集まらない。
- ◇町会活動に無関心な住民が増えてきた。特にマンション居住者の町会未加入は今後の福祉活動に影響がある。
- ◇活動のマンネリ化や事業参加者の固定化が問題。
- ◇地域全体の福祉推進を担う地区社協の拠点がなく問題。

#### 解決方法

- ★個人情報不足は、活動者自身の意識や行動で補う。
- ★担い手不足は、活動を自分たちが楽しめるものにし自信を持って友人や参加者への声かけができる環境をつくる。
- ★町会加入の促進は、班長による情報提供と意識啓発で対応。
- ★活動の活性化を図るため、マンネリ化した活動や地区社協事業の見直しを行う。
- ★地区社協によるふる協事務所の共有化を図り、拠点不足を補う。

3

### よりよい連携の中での活動を目指して

#### 現状

- ◇酒井根地区では、町会が老人クラブや子供会、サロン活動などを支援し、防災会や制度ボランティアと連携し、さまざまな事業を展開している。

#### よりよい連携関係に向けて

- ★昔話や遊びなどを通じた地域と学校の連携。
- ★地域住民の交流機会の拡充と声かけによる行事参加への勧誘。
- ★活動団体の情報交換の場づくり。

4

### 安心して住み続けられる地区を目指して

#### 現状

- ◇【良いところ】町会を中心に、地域活動団体の連携が図られ、地域活動に熱心な住民が多い。また、防犯防災意識も高い。
- ◇【問題なところ】町会活動などで、住民間の活動意識に大きな差があり、新しい取組みが進みにくい。また、隣近所の連帯意識も薄れつつある。

#### これからの地区に向けて

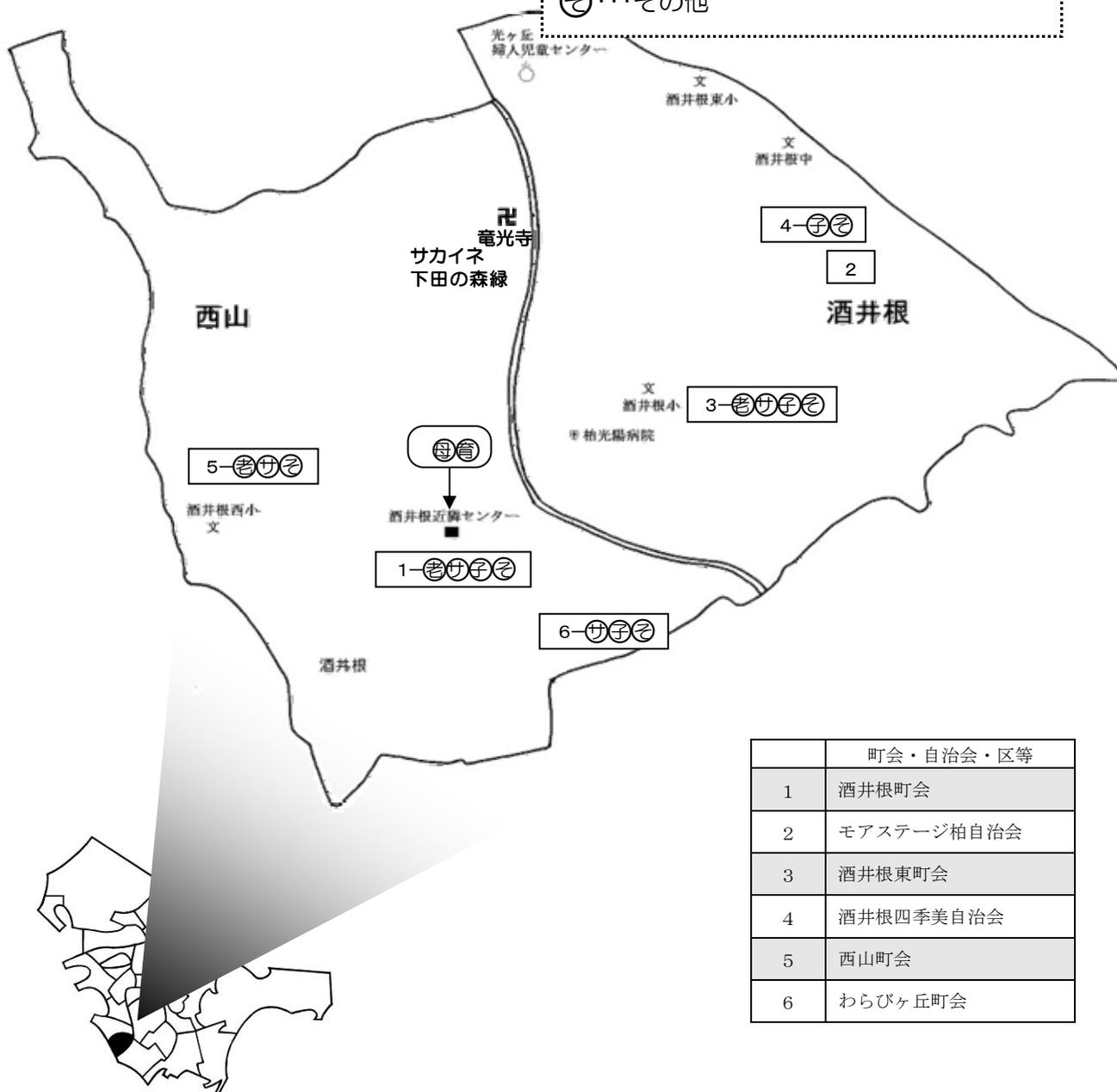
- ★連携や協働という意識を持った地域内の活動組織の見直し。
- ★転入者を積極的に巻き込んだ交流の場づくり。
- ★学校を中心とした世代間交流の展開。
- ★コーディネーターの養成と近隣センターの活用。
- ★地域活動者による懇談の場づくり。

酒井根地区活動マップ

その1

地図記号一覧

- 数字・・・町会・自治会・区等
- ⊗・・・老人クラブ・老人会
- ⊙・・・子ども会・親子会
- ⊕・・・おせっ会・サロン活動
- ⊖・・・母と子の集い（地区内全域）
- ⊗育・・・子育てサロン・自主育児サークル等
- ⊗障・・・障がい者（児）に関する活動
- ⊗そ・・・その他



	町会・自治会・区等
1	酒井根町会
2	モアステージ柏自治会
3	酒井根東町会
4	酒井根四季美自治会
5	西山町会
6	わらびヶ丘町会

酒井根地区活動マップ

その2

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

	《数字》町会・自治会・区等		《㊟》老人クラブ・老人会		《㊦》子ども会・親子会	
	名 称	総世帯数(加入世帯)	クラブ名	会員数	名 称	会員数
1	酒井根町会	2,150 (1,750)	酒井根親交クラブ	76	酒井根子ども会	70
2	モアステージ柏自治会	89 ( 89)				
3	酒井根東町会	595( 560)	酒井根東親寿会	80	酒井根東子ども会	63
4	酒井根四季美自治会	33( 33)				
5	西山町会	598( 597)	西山松寿会	57		
6	わらびヶ丘町会	97( 97)			わらびヶ丘キッズ	27

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

	町会・自治会・区等		《㊧》おせっかい・サロン活動		制度ボランティア	
	名 称	名 称	会 場	民生委員 児童委員	健康づく り推進員	
1	酒井根町会	酒井根ふれあいサロン	酒井根近隣センター	7 (6)	6 (6)	
2	モアステージ柏自治会			1 (1)		
3	酒井根東町会	よつぱグループ	酒井根東町会ふるさと会館	2 (2)	2 (2)	
4	酒井根四季美自治会			1 (0)		
5	西山町会	仲間づくりの会「ふるさと茶房」	西山ふるさと会館	2 (2)	2 (2)	
6	わらびヶ丘町会	ふれあいサロンわらび	わらびヶ丘町会ふれあい会館	1 (1)	1 (1)	
				主任児童委員 2 (2)	食生活推進員 3 (3)	

■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

《㊨》子育てサロン・自主育児サークル等

名 称	会 場
ラッコの会	近隣センター

《㊩》母と子の集い（地区内全域）

名 称	会 場
母と子の集い	近隣センター

《㊪》障がい者（児）に関する活動

名 称	会 場
施設訪問 (地区社協ボランティア)	身体障害者授産施設いずみ園

《㊫》その他

名 称	会 場
防災会活動	酒井根・酒井根東・西山・わらびヶ丘町会
ふれあい健康相談	近隣センター
西山仲間づくりの会 ミニコミ誌発行	西山町会内
友の会	西山町会内
わたけい（サロン活動）	西山町会内

# 南部地区計画書

## 南部地区データ

	人口データ	
	平成17年4月1日現在	
	南部地区	柏市全域
人口(人)	21,072	376,018
世帯数(世帯)	7,502	129,680
4歳以下人口(人)	918	16,713
4歳以下人口比率(%)	4.4	4.4
14歳以下人口(人)	2,156	51,823
14歳以下人口比率(%)	14.6	13.8
65歳以上人口(人)	3,068	58,342
高齢化率(%)	14.6	15.5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 南部地区社会福祉協議会の概要

平成16年度実績

事務所	南部近隣センター(書類のみ 会長宅)
役員数	18名
運営委員数	61名
部会等	総務広報部会、事業部会、ボ ランティア部会、ネットワー ク部
主な活動	広報紙発行、アンケート調査、 視察研修、ゆうゆうサロン、 みんなの喫茶、敬老事業、ゆ うゆう独楽の会、三世代ふれ あいの集い

### 南部地域ふるさと協議会の概要

平成16年度実績

事務所	南部近隣センター
役員・運 営委員数	96名
専門部	総務部、広報部、文化部、体育 部環境部、事業部、防犯・防災 部
主な活動	広報紙発行、文化祭、市民運動 会、グランドゴルフ大会、卓球 大会、ゲートボール大会、手賀 沼船上見学、ゴミ減量パネル展 示、防災研修会、南部まつり

## 南部地区懇談会の様子



## 南部地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
第1回懇談会	平成15年6月26日(木)	保健福祉関係者懇談会 「地域の現状と問題点について」	56	3	6
第2回懇談会	平成15年10月5日(日)	地区社協の役割りと地域ボランティアの現状について	50	1	4
第3回懇談会	平成16年4月4日(日)	地域福祉懇談会 「地区社協,制度ボランティアの役割,支え合い活動の推進について」	23	1	4
第4回懇談会	平成16年6月25日(金)	町会・自治会単位の支え合い活動事例発表 「なぜ,今地域で(町会)で健康福祉活動必要か」	52	1	4
第5回懇談会	平成17年3月14日(月)	地区活動報告,事例発表等 「町会単位の支え合い活動を継続的に実施していくには」	50	2	4
確 認 会 議	平成18年3月14日(火)	地区計画(案)確認	4	1	0

■会議及び懇談会開催数／全6回開催

■参加延べ人数／地域延べ235名／市社協職員延べ9名／行政職員延べ22名

■会場はいずれも、南部近隣センター

南部地区計画

# 南部地区 地域健康福祉活動

## ① 住民主体の地域づくり を目指して

- ★町会・自治会単位のボランティア活動の推進。
- ★あらゆる世代の方が地域活動に参加でき、交流を図れる環境をつくる。
- ★あいさつ運動をきっかけに、住民同士の心の交流を図り、地域での支えあい活動につなげられるような信頼関係の構築。

## ② よりよい連携の中での 活動を目指して

- ★町会が核となり、世代の枠を越えた住民同士の交流が図れる場を設ける。また、関係団体が集まり、互いに意見や情報交換ができる体制をつくり、横の連携を図る。

## 重点目標

- ☆全町会・自治会での支えあい活動の推進
- ☆地区、町会・自治会単位での福祉懇談会の継続
- ☆地区ボランティアネットワークの拡大・充実

## ③ 活動上の悩みの 解決方法

- ★誰もが地域活動に参加でき、継続した活動ができるような体制をつくる。
- ★地区懇談会の継続と内容の充実を図る。

## ④ 安心して住み続けられる 地区を目指して

- ★健康福祉と環境の充実を図り、これからの少子高齢社会に向け、心身の健康づくりや介護予防に取り組む。また、地域全体で防犯・防災対策に取り組む。
- ★学校やPTAと連携を図り、地域ぐるみで児童の成長を助ける。

柏市社会福祉協議会・柏市

## 南部地区懇談会のまとめ

①

### 住民主体の地域づくりを目指して

#### 現状

◇全体的に少子高齢化が進んでおり、高齢者が高齢者を支えているという状況である。しかし、一方ではマンション等の集合住宅の建設に伴い、若い世代の住民も増加している。また、共働き家庭も増加し、時間にゆとりのない人達が多い。

#### 理想

◇世代を超えた町会内での助けあい活動ができ、住民同士のコミュニケーションが図られている地域。

#### 理想に向けて

- ★町会・自治会単位のボランティア活動の推進。
- ★あらゆる世代の方が地域活動に参加でき、交流を図れる環境をつくる。
- ★あいさつ運動をきっかけに、住民同士の心の交流を図り、地域での支えあい活動につなげられるような信頼関係の構築。

③

### 活動上の悩みの解決方法

#### 活動上の課題

- ◇町会役員及びボランティア等の担い手不足。
- ◇福祉活動においては、長期的な活動が望ましいが継続活動が難しい体制にある。
- ◇町会・自治会単位でのコミュニケーションを促進し、話し合いをする場が少ない。

#### 解決方法

- ★誰もが地域活動に参加でき、継続した活動ができるような体制をつくる。
- ★地区懇談会の継続と内容の充実を図る。

②

### よりよい連携の中での活動を目指して

#### 現状

◇団体間（地区社協・ふるさと協議会・民生委員・児童委員、柏市民健康づくり推進員等）の連携は事業を通して上手く図られているが、町会相互、また、学校やPTAとの連携の機会はあまり充分であるとはいえない。

#### よりよい連携関係に向けて

- ★町会が核となり、世代の枠を越えた住民同士の交流が図れる場を設ける。また、関係団体が集まり、互いに意見や情報交換ができる体制をつくり横の連携を図る。

④

### 安心して住み続けられる地区を目指して

#### 現状

- 【問題点】
- ◇ある町会では区域が広く、高齢者が町会の会館まで一人で行くことが難しい。
  - ◇迷惑駐車や地域犯罪が懸念される。

#### これからの地区に向けて

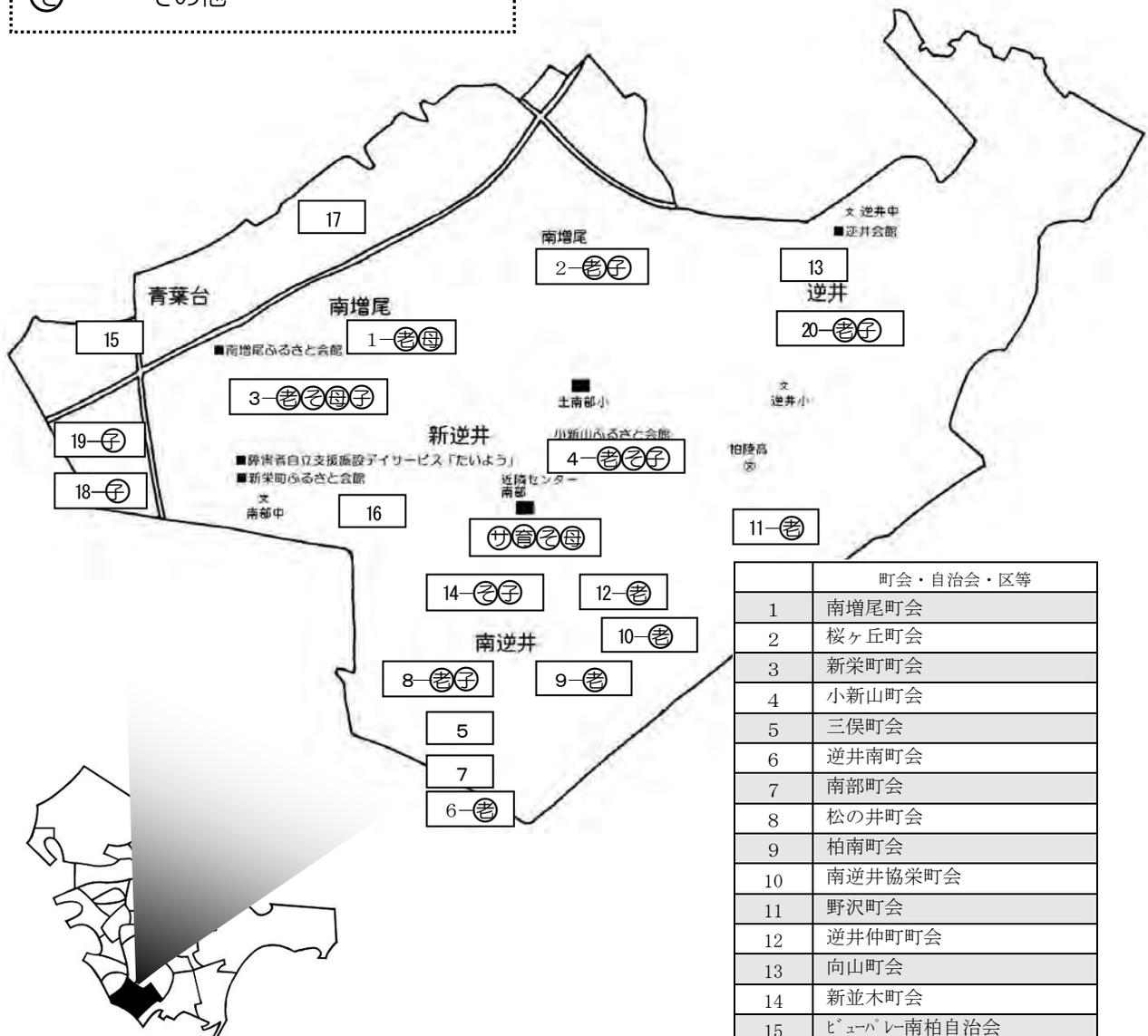
- ★健康福祉と環境の充実を図り、これからの少子高齢社会に向け、心身の健康づくりや介護予防に取り組む。また、地域全体で防犯・防災対策に取り組む。
- ★学校やPTAと連携を図り、地域ぐるみで児童の成長を助ける。

南部地区活動マップ

その1

地図記号一覧

- 数字・・・町会・自治会・区等
- ⊙<sub>老</sub>・・・老人クラブ・老人会
- ⊙<sub>子</sub>・・・子ども会・親子会
- ⊙<sub>サ</sub>・・・おせっ会・サロン活動
- ⊙<sub>母</sub>・・・母と子の集い（地区内全域）
- ⊙<sub>育</sub>・・・子育てサロン等
- ⊙<sub>障</sub>・・・障害児（者）に関する活動
- ⊙<sub>そ</sub>・・・その他



	町会・自治会・区等
1	南増尾町会
2	桜ヶ丘町会
3	新栄町町会
4	小新山町会
5	三俣町会
6	逆井南町会
7	南部町会
8	松の井町会
9	柏南町会
10	南逆井協栄町会
11	野沢町会
12	逆井仲町町会
13	向山町会
14	新並木町会
15	ビュパレー南柏自治会
16	逆井団地管理組合
17	柏ファミリーハイツ増尾自治会
18	ライオンズステージ常盤平自治会
19	フェアフィールド常盤平町会
20	逆井町会の一部

南部地区活動マップ その2

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

	《数字》町会・自治会・区等		《㊟》老人クラブ・老人会		《㊦》子ども会・親子会	
	名 称	総世帯数(加入世帯)	名 称	会員数	名 称	会員数
1	南増尾町会	1,630(1,470)	南増尾友好会	51		
2	桜ヶ丘町会	158(149)	桜ヶ丘ふる里会	54	さくらんぼ会	10
3	新栄町町会	1,250(1,050)	新栄町町会壽部会	108	子供育成部会	150
4	小新山町会	500(480)	温友会	90	小新山子供育成会	69
5	三俣町会	166(143)				
6	逆井南町会	565(518)	南壽会	52		
7	南部町会	151(145)	たかわり会	40		
8	松の井町会	265(251)	松の実会	52	松の井町会子供会	15
9	柏南町会	340(315)	柏美会	68		
10	南逆井協栄町会	214(212)	協栄高友会	51		
11	野沢町会	337(332)	美野里会	57		
12	逆井仲町町会	363(359)	末広クラブ	93		
13	向山町会	63(61)				
14	新並木町会	163(152)			新並木子供会	27
15	ビューパレ南柏自治会	90(90)				
16	逆井団地管理組合	84(84)				
17	柏ファミリーハイツ増尾自治会	220(220)				
18	ライオンズステージ常盤平自治会	330(330)			ライオンズステージ常盤平子供会	150
19	フェアフィールド常盤平町会	113(113)			フェアフィールド常盤平町会子供会	85
20	逆井町会の一部	500(500)	逆井百壽会 コスモス会	30 33	子供育成会	30

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

	町会・自治会・区等		《㊟》おせっかい・サロン活動		《㊦》その他		制度ボランティア	
	名 称	名 称	会 場	名 称	会 場	民生委員 児童委員	健康づく り推進員	
1	南増尾町会					6(6)	4	
2	桜ヶ丘町会					1(0)	1	
3	新栄町町会	陽だまり	ふるさと会館	ふれあいの会	ふるさと会館	5(5)	3	
4	小新山町会			日常生活支援子育てサロン	ふるさと会館	2(2)	1	
5	三俣町会					1(1)	1	
6	逆井南町会					2(2)	1	
7	南部町会					1(1)	1	
8	松の井町会					1(1)	1	
9	柏南町会					1(1)	1	
10	南逆井協栄町会					1(1)	1	
11	野沢町会					1(1)	1	
12	逆井仲町町会					1(1)	1	
13	向山町会					1(0)	1	
14	新並木町会			世代間交流	ふるさと会館	1(0)	1	
15	ビューパレ南柏自治会					1(0)	1	
16	逆井団地管理組合					1(0)	欠員	
17	柏ファミリーハイツ増尾自治会					2(2)	欠員	
18	ライオンズステージ常盤平自治会					1(1)	1	
19	フェアフィールド常盤平町会					2(0)	1	
20	逆井町会の一部	逆井福祉会ふれあいサロン	逆井会館			2(2)		
	地域全域	ゆうゆうサロン	南部近隣センター	みんなの喫茶みんなの広場	南部近隣センター	主任児童委員 2(2)	食生活推進員 3(3)	

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位に活動を示したものです。

※民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、（ ）内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

《㊟》子育てサロン・自主育児サークル等

名 称	会 場
ぴよんぴよんクラブ	南部近隣センター
わらべうたと親子で遊ぼう会「ななくさ」	南部近隣センター
どろっぶずのおはなしの部屋	南部近隣センター

《㊦》障害児・者に関する活動

名 称	会 場
肢体不自由児支援活動 めろんぱん	県立松戸養護学校 新栄町町会ふるさと会館
障害者自立支援施設デイサービス「たいよう」	新栄町町会内

《㊟》母と子の集い（地区内全域）

名 称	会 場
南増尾町会母と子の集い	南増尾ふるさと会館
新栄町会母と子の集い	新栄町ふるさと会館

《㊦》その他

名 称	会 場

# 大津ヶ丘地区計画書

## 大津ヶ丘地区データ

	人口データ	
	平成17年4月1日現在	
	大津ヶ丘地区	柏市全域
人口(人)	9,488	376,018
世帯数(世帯)	3,408	129,680
4歳以下人口(人)	359	16,713
4歳以下人口比率(%)	3.8	4.4
14歳以下人口(人)	1,121	51,823
14歳以下人口比率(%)	11.8	13.8
65歳以上人口(人)	1,387	58,342
高齢化率(%)	14.6	15.5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 大津ヶ丘地区社会福祉協議会の概要

平成16年度実績

事務所	沼南社会福祉センター 地域活動推進室
役員数	9名
運営委員数	委員30名 福祉委員43名
部会等	総務部会、広報部会、事業部会（子ども班、高齢者班）、福祉委員会
主な活動	バスの旅、地区懇談会、視察研修、広報紙発行、子育てふれあいサロン、芋堀りふれあい活動、世代間交流事業、各種研修会、高齢者交流会、ウォーキング講座、料理講習会、介護者の集い、友愛訪問、ボランティアだより発行、登録ボランティアの集まり、見守り活動、福祉まつり・大津ヶ丘ふるさとまつり参加

### 〇〇ふるさと協議会の概要

平成16年度実績

事務所	—
役員・運営委員数	—
専門部	—
主な活動	—

※ふるさと協議会：未設置

## 大津ヶ丘地区懇談会の様子



## 大津ヶ丘地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 17 年 8 月 4 日 (木) 19:00~21:00	第 1 回懇談会打ち合せ	6	1	0
第 1 回懇談会	平成 17 年 8 月 21 日 (日) 19:00~21:15	現状の把握と課題の発見	11	3	2
打 ち 合 せ	平成 17 年 9 月 8 日 (木) 19:00~21:15	第 2・3 回懇談会打ち合せ	7	1	0
第 2 回懇談会	平成 17 年 10 月 3 日 (月) 19:00~21:10	課題に対する解決方法	24	5	2
第 3 回懇談会	平成 17 年 11 月 2 日 (水) 19:00~21:15	今後の地域活動に向けて	20	4	2
打 ち 合 せ	平成 18 年 1 月 12 日 (水) 18:00~20:50	確認会議打ち合せ	8	1	0
確 認 会 議	平成 18 年 2 月 1 日 (水) 19:00~20:30	地区計画 (案) 確認	10	1	2

■会議及び懇談会開催数／全7回開催

■参加延べ人数／地域延べ86名／市社協職員延べ16名／行政職員延べ8名

■会場はいずれも、大津ヶ丘コミュニティセンター

大津ヶ丘地区計画

大津ヶ丘地区 地域健康福祉活動

① 住民主体の地域づくり  
を目指して

- ★お互いの顔が見えるようあいさつを交わす。
- ★多くがリーダーシップとれるよう、人を育てる取り組みを行う。
- ★交流や地域をよく知る機会を設けて、情報の共有、仲間づくりを増やし育てる。
- ★何事にも楽しく取り組み、笑顔の輪を広げていく。

② よりよい連携の中での  
活動を目指して

- ★若い世代から高齢者まで多くの団体・個人が参加し、相互連携できるような情報交換や意見交換する機会をつくる。情報の共有化。
- ★児童との関わりを増やすため、学校やPTA等と情報交換、意見交換する場づくりが必要である。

重点目標

- ☆気軽にあいさつ、声かけ活動を行う
- ☆団塊世代の参加を呼びかけ、学校・教育関係者とも連携充実を行う
- ☆担い手、後継者の育成を行う
- ☆気軽に集える拠点をつくる
- ☆住民の手づくりによる地域活動の拡充を図る

③ 活動上の悩みの  
解決方法

- ★学習する機会、交流する機会を多くつくり、人の繋がりのなかからリーダーや担い手を育てていく。活動PRもますます充実させていく。
- ★事務の簡素化を図り、負担を軽減する。
- ★日頃から集える拠点づくりを整備し、その資金も確保する。
- ★一人で悩まず、相談しあえる仲間づくりとしくみづくり（懇談）を行う。

④ 安心して住み続けられる  
地区を目指して

- ★子ども参加の行事を取り入れ、PTA等の若い世代と交流や連携する機会をつくる。
- ★団塊世代の活動の場、趣味や特技を活かせる場所づくりを行う。
- ★役員終了後も参加できる場、お茶飲みできる場を設けていく。
- ★福祉を超えた分野で活動する住民も誘って、福祉の裾野を広げていく。そのため活動や声かけを積極的に行う。
- ★アパート居住者、賃貸集合住宅の福祉対象者及びその支援者の体制づくりを行い、地域のネットワーク化をすすめていく。

柏市社会福祉協議会・柏市

## 大津ヶ丘地区懇談会のまとめ

①

### 住民主体の地域づくりを目指して

#### 現状

- ◇若い世代は共働きも多く地域に目か回かない。また、お膳立てないと参加しない。
- ◇自分のしたい事をする個人主義の傾向から親切心のわずらわしさを感じている。
- ◇賃貸住宅は、高齢者世帯か若い世帯かの両極端である。また、情報の伝達方法、近隣との連携方法など難しい面がある。

#### 理想

- ◇あいさつによりお互いの顔が見え、意見を言い合い、思いやりのある地域
- ◇向こう三軒両隣の付き合いがあり、共同生活のルールが守れ、楽しく過せる地域
- ◇リーダーシップがとれる住民が多く、世代交代していける地域

#### 理想に向けて

- ★お互いの顔が見えるようあいさつを交わす
- ★多くがリーダーシップとれるよう、人を育てる取り組みを行う
- ★交流や地域をよく知る機会を設けて、情報の共有、仲間づくりを増やし、育てる
- ★何事にも楽しく取り組み、笑顔の輪を広げていく

②

### よりよい連携の中での活動を目指して

#### 現状

- ◇地区社協は、様々な団体・個人の構成員により連携し合い、事業活動を展開している。
- ◇大津ヶ丘ふるさとまつりは、各種の団体が連携する良い機会となっている。
- ◇住民への周知（PR）に一部の店舗の協力もいただいている。

#### よりよい連携関係に向けて

- ★若い世代から高齢者まで多くの団体や個人が参加し、相互に連携できるような情報交換や意見交換する機会をつくる。情報の共有化。
- ★学校児童との関わりが少ないため、父兄、PTA、学校等と情報交換、意見交換する場づくりが必要である。

③

### 活動上の悩みの解決方法

#### 活動上の課題

- ◇地域活動のリーダー、担い手が不足している。長になると兼務も多く負担感ある。役員や委員も高齢化の傾向である。
- ◇個人情報保護法による活動への支障がある。
- ◇親切心が逆にお節介ととられてしまう。
- ◇活動資金が少ない。

#### 解決方法

- ★リーダーや担い手は、学習する機会、交流する機会を多く持ち、人の繋がりの中から育てていく。また、活動PRをますます充実させていく。
- ★事務の簡素化を行い、負担を軽減する。
- ★日頃から集える拠点づくりを整備し、そのための資金を確保する。
- ★一人で悩むことなく、相談しあえる仲間づくりとしくみづくり(懇談)を行う。

④

### 安心して住み続けられる地区を目指して

#### 現状

- 【良いところ】
- ◇大津ヶ丘には拠点(コミュニティセンター)があり、個人や団体の協力体制もできていて、雰囲気も良くとてもまとまりのある地区。
- 【問題なところ】
- ◇いままで町社協職員が担っていた事務事業が、地区社協へ移管したことで負担が増大した。
- ◇町会に未加盟、未組織が残っている。

#### これからの地区に向けて

- ★子どもが参加する行事を取り入れながら、PTA等の若い世代と交流や連携する機会をつくっていく。
- ★団塊世代の活動の場、趣味特技が活かせる場所づくりを行う。
- ★役員終了後も参加できる場、お茶のみできる場を設けていく。
- ★福祉を超えた分野で活動する住民も誘って、福祉の裾野を広げていく。そのための活動、声かけを積極的に行う。
- ★アパート居住者、賃貸集合住宅の福祉対象者及びその支援者の体制づくりを行い地域のネットワーク化をすすめていく。

— 大津ヶ丘地区活動マップ — その1 —

- 地図記号一覧**
- 数字・・・町会・自治会・区等
  - ⊙・・・老人クラブ・老人会
  - ⊙子・・・子ども会・親子会
  - ⊙サ・・・おせっ会・サロン活動
  - ⊙母・・・母と子の集い（地区内全域）
  - ⊙育・・・子育てサロン・自主育児サークル等
  - ⊙障・・・障がい児（者）に関する活動
  - ⊙その他



地区全域  
⊙⊙⊙⊙

町会・自治会・区等	
1	大津ヶ丘一丁目町会
2	大津ヶ丘二丁目町会
3	大津ヶ丘三丁目町会
4	大津ヶ丘四丁目町会
5	大津ヶ丘サンパワー
6	大津ヶ丘第一住宅管理組合
7	大津ヶ丘第二住宅管理組合
8	大津ヶ丘第三住宅管理組合
9	大津ヶ丘第四住宅管理組合
10	大津ヶ丘第五住宅管理組合
11	グランシティ大津ヶ丘団地管理組合
12	プロムナード大津ヶ丘団地管理組合
13	大津ヶ丘中央商店会

大津ヶ丘地区活動マップ その2

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

《数字》町会・自治会・区等			《㊟》老人クラブ・老人会		《㊦》子ども会・親子会	
	名 称	総世帯数(加入世帯)	名 称	会員数	名 称	会員数
1	大津ヶ丘第一丁目町会	375 (360)				
2	大津ヶ丘第二丁目町会	300 (278)				
3	大津ヶ丘第三丁目町会	565 (305)				
4	大津ヶ丘第四丁目町会	619 (219)				
5	大津ヶ丘サンパワ－	90 (100)				
6	大津ヶ丘第一住宅管理組合	236 (236)				
7	大津ヶ丘第二住宅管理組合	250 (250)				
8	大津ヶ丘第三住宅管理組合	280 (280)				
9	大津ヶ丘第四住宅管理組合	150 (150)				
10	大津ヶ丘第五住宅管理組合	272 (272)				
11	グランシティ大津ヶ丘団地管理組合	191 (191)				
12	プロムナード大津ヶ丘団地管理組合	64 ( 64)				
13	大津ヶ丘中央商店会	16 ( 16)				
	地区全域		大津ヶ丘シルバークラブ	44		

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

町会・自治会・区等		《㊟》おせっ会・サロン活動		《㊦》その他		制度ボランティア	
	名 称	名 称	会 場	名 称	民生委員 児童委員	健康づく り推進員	
1	大津ヶ丘第一丁目町会				2 (2)		
2	大津ヶ丘第二丁目町会				2 (2)		
3	大津ヶ丘第三丁目町会				3 (2)		
4	大津ヶ丘第四丁目町会			エンジョイパト－ル	3 (3)		
5	大津ヶ丘サンパワ－				1 (0)		
6	大津ヶ丘第一住宅管理組合				1 (1)		
7	大津ヶ丘第二住宅管理組合				1 (0)	11 (11)	
8	大津ヶ丘第三住宅管理組合				1 (0)		
9	大津ヶ丘第四住宅管理組合				1 (0)		
10	大津ヶ丘第五住宅管理組合				1 (0)		
11	グランシティ大津ヶ丘団地管理組合				1 (0)		
12	プロムナード大津ヶ丘団地管理組合				1 (0)		
13	大津ヶ丘中央商店会				1 (0)		
A	地区全域	高齢者交流会	大津ヶ丘コミュニティセンター		主任児童委員	食生活推進員	
B		子育てふれあいサロン	大津ヶ丘第一小学校		3 (0)	0 (0)	

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位に活動を示したものです。  
 ※民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、（ ）内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

《㊧》子育てサロン・自主育児サークル等

名 称	会 場
子育てふれあいサロン(再掲)	大津ヶ丘第一小学校
ぽっかぽか	子育て支援センター

《㊨》母と子の集い（地区内全域）

名 称	会 場
母と子の集い	沼南保健センター（マップ外）

《㊩》障がい者（児）に関する活動

名 称	会 場
さくらんぼ	桐友学園

《㊪》その他

名 称	会 場
園庭開放	私立あいみ保育園
子どもルーム・パト－ル	大津ヶ丘第一及び第二小学校
お手玉の会	大津ヶ丘第二管理組合集会所
大津ヶ丘ふるさとまつり	大津ヶ丘コミュニティセンター前空き地
世代間交流	大津ヶ丘第一小学校

# 風早北部地区計画書

## 風早北部地区データ

	人口データ	
	平成17年4月1日現在	
	風早北部地区	柏市全域
人口(人)	7,650	376,018
世帯数(世帯)	2,415	129,680
4歳以下人口(人)	291	16,713
4歳以下人口比率(%)	3.8	4.4
14歳以下人口(人)	913	51,823
14歳以下人口比率(%)	11.9	13.8
65歳以上人口(人)	1,214	58,342
高齢化率(%)	15.9	15.5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 風早北部地区社会福祉協議会の概要

平成16年度実績

事務所	会長宅
役員数	10名
運営委員数	委員35名 福祉委員29名
部会等	広報部会、ボランティア部会、在宅部会、福祉委員会
主な活動	ふれあいの会、視察研修、福祉まつり参加、日帰り旅行、広報紙発行、一般ボランティア講座、福祉はてな教室、ジャガイモ作り、登録ボランティア派遣、登録ボランティア集まり、ふれあいサロン、介護など学べる講座、かわら版発行、見守り活動

### 〇〇地区ふるさと協議会の概要

平成16年度実績

事務所	—
役員・運営委員数	—
専門部	—
主な活動	—

※ふるさと協議会：未設置

## 風早北部地区懇談会の様子



## 風早北部地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 17 年 7 月 21 日 (木) 19:30～19:45	第 1 回懇談会打ち合せ	1 0	1	0
第 1 回懇談会	平成 17 年 7 月 29 日 (金) 19:00～21:00	現状の把握と課題の発見	1 2	3	1
打 ち 合 せ	平成 17 年 8 月 9 日 (火) 14:00～15:30	第 2 回懇談会打ち合せ	1	2	0
第 2 回懇談会	平成 17 年 9 月 8 日 (木) 18:00～21:00	課題に対する解決方法	2 5	6	1
打 ち 合 せ	平成 17 年 10 月 11 日 (火) 16:00～17:30	第 3 回懇談会打ち合せ	1	1	0
第 3 回懇談会	平成 17 年 11 月 14 日 (月) 18:00～21:00	今後の地域活動に向けて	1 3	3	0
打 ち 合 せ	平成 18 年 1 月 31 日 (火) 16:00～17:00	確認会議打ち合せ	1	1	0
確 認 会 議	平成 18 年 2 月 21 日 (火) 14:00～17:30	地区計画（案）確認	8	1	2

■会議及び懇談会開催数／全4回開催

■参加延べ人数／地域延べ71名／市社協職員延べ18名／行政職員延べ4名

■会場は、沼南公民館または、沼南社会福祉センター

風早北部地区計画

風早北部地区 地域健康福祉活動

**① 住民主体の地域づくりを目指して**

- ★日頃行っている活動を通して、地域活動への理解を得る。
- ★声を掛けあえる人とひととのつながりができるような場を広げて行く。

**② よりよい連携の中での活動を目指して**

- ★企画の内容、日時について情報交換をすることで、それぞれの企画を効果的に実施する。
- ★既に展開している活動に、新たな対象が参加できるようにすることで、幅広い世代間の交流の場をつくる。
- ★ニーズを把握している民生委員・児童委員（主任児童委員）とどのように連携するかが課題。
- ★若い世代がどう考えているか知ることから連携関係をつくっていきたい。

**重点目標**

- ☆人と人とのきずなづくり。
- ☆区と地区社協との連携。
- ☆学校と地区社協との連携。

**③ 活動上の悩みの解決方法**

- ★現在、拠点は、会長宅で軌道に乗っているが、今後に向けて、いくつかの案を、市社協、市、関係機関などと検討する。
- ★活動内容について、宣伝することで、新しい担い手を掘り起こす。また、気軽に「お手伝い」としての参加から、ひとづくりをしていく。
- ★情報については、支えあい登録カードを充実することで、地区社協として持つ情報を充実させる。

**④ 安心して住み続けられる地区を目指して**

- ★新しい集合住宅には、地区のエリアにこだわらず、社協行事に関して声かけをする。
- ★支えあい登録カードの活用を充実させる。
- ★児童福祉の問題は難しさがあるが、近隣住民として普段からのあいさつを大切にする。

柏市社会福祉協議会・柏市

## 風早北部地区懇談会のまとめ

①

### 住民主体の地域づくりを目指して

#### 現状

- ◇新しい住民を優しく受け止めてくれる。
- ◇子育て中の方や、高齢者は、それぞれ生活が大変で、地域に出づらい状況がある。

#### 理想

- ◇子どもから高齢者まで普段から声を掛け合うことができ、いざという時に、助けあうことができる近隣関係をつくりたい。さらに、それを、すべての人が理解したうえで、町会や区に加入していることが理想。

#### 理想に向けて

- ★日頃行っている活動を通して、地域活動への理解を得る。
- ★声を掛けあえる人とひととのつながりができるような場を広げて行く。

②

### よりよい連携の中での活動を目指して

#### 現状

- ◇地区社協には、地域で活動するさまざまな団体から、活動者が、委員として参加しており、地区社協の活動を通して連携を図っている。

#### よりよい連携関係に向けて

- ★企画の内容、日時について情報交換をすることで、それぞれの企画を効果的に実施する。
- ★既に展開している活動に、新たな対象が参加できるようにすることで、幅広い世代間の交流の場をつくる。
- ★ニーズを把握している民生委員・児童委員（主任児童委員）とどのように連携するかが課題。
- ★若い世代がどう考えているか知ることから連携関係をつくっていききたい。

③

### 活動上の悩みの解決方法

#### 活動上の課題

- ◇市町村合併に伴い制度が変わり、様々な情報がとりづらい。
- ◇人材不足で、地域のボランティアの負担が大きい。その上、合併後、役場や町社協の職員が担っていた部分でボランティアで担うようになったことが多い。
- ◇地区社協の事務所、事務員が必要。

#### 解決方法

- ★現在、拠点は、会長宅で軌道に乗っているが、今後に向けて、いくつかの案を、市社協、市、関係機関などと検討する。
- ★活動内容について、宣伝することで、新しい担い手を掘り起こす。また、気軽に「お手伝い」としての参加から、ひとづくりをしていく。
- ★情報については、支えあい登録カードを充実することで、地区社協として持つ情報を充実させる。

④

### 安心して住み続けられる地区を目指して

#### 現状

- ◇【良いところ】新旧住民ともに、活動を楽しんでできるよう、話しあいながらうまくやっている。
- ◇【問題なところ】合併の影響で活動し辛くなっている。／児童関係の問題が増えてきている。

#### これからの地区に向けて

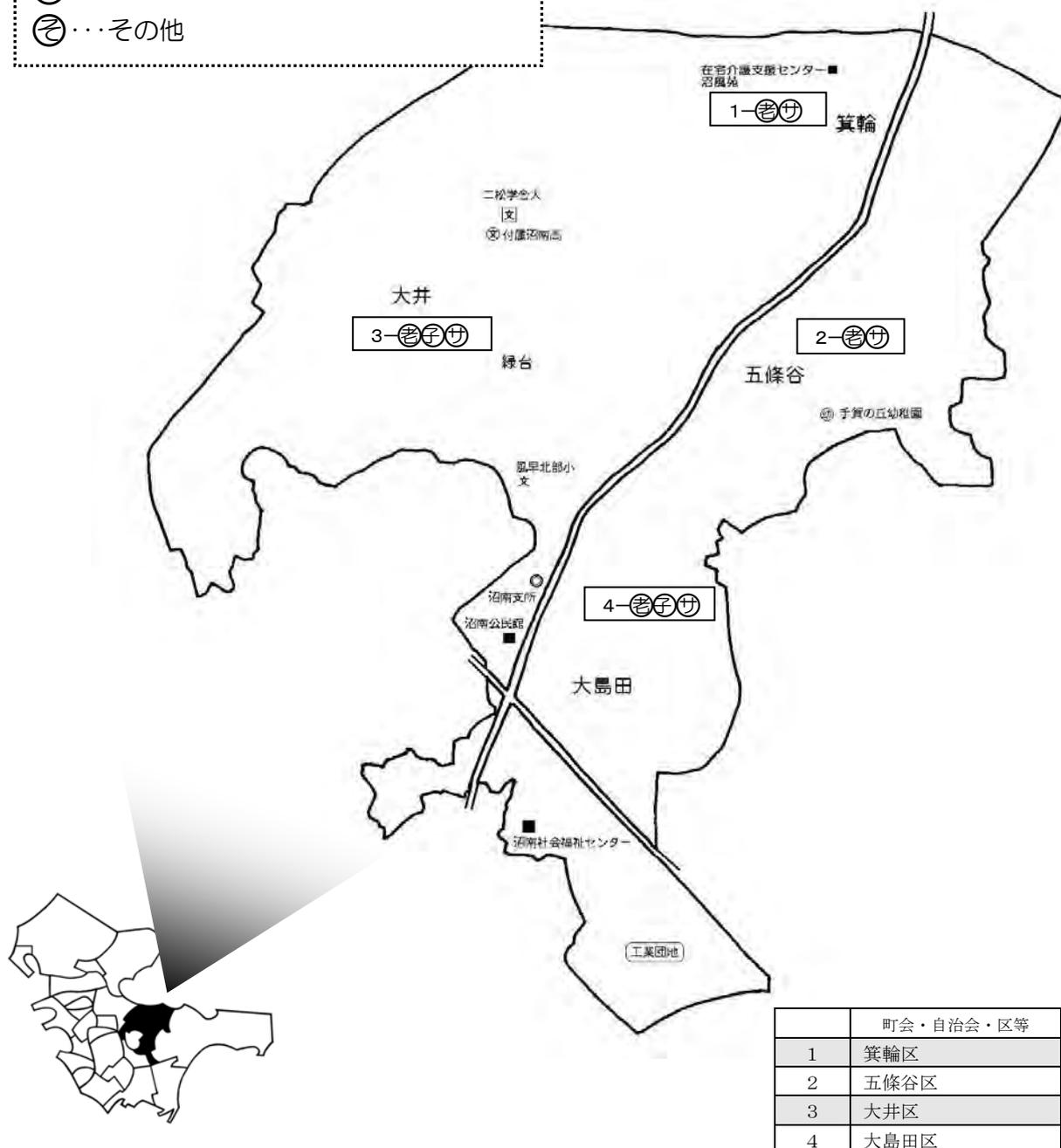
- ★新しい集合住宅には、地区のエリアにこだわらず、社協行事に関して声をかける。
- ★支えあい登録カードの活用を充実させる。
- ★児童福祉の問題は難しさがあるが、近隣住民として普段からのあいさつを大切にす。

風早北部地区活動マップ

その1

地図記号一覧

- 数字・・・町会・自治会・区等  
 (老)・・・老人クラブ・老人会  
 (子)・・・子ども会・親子会  
 (サ)・・・おせっ会・サロン活動  
 (母)・・・母と子の集い（地区内全域）  
 (育)・・・子育てサロン・自主育児サークル等  
 (障)・・・障がい者（児）に関する活動  
 (そ)・・・その他



	町会・自治会・区等
1	箕輪区
2	五條谷区
3	大井区
4	大島田区

風早北部地区活動マップ その2

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

〈数字〉町会・自治会・区等		〈老〉老人クラブ・老人会		〈子〉子ども会・親子会	
名 称	総世帯数(加入世帯)	名 称	会員数	名 称	会員数
1 箕輪区	146( 100)				
2 五條谷区	248( 243)	五条谷老人クラブ	3 2		
3 大井区	1,586(1,446)	大井親和会	3 0	中の橋子ども会	1 5
		大井朗友会	4 0	杉の子会	1 4
		エリカ老人クラブ	4 6	追花子ども会	1 0
		大木戸交友会	4 2		
4 大島田区	435( 435)	大島田老人クラブ	3 7	大島田子ども会	2 0

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

町会・自治会・区等		〈おせつ会〉おせつ会・サロン活動		制度ボランティア	
名 称	名 称	会 場	民生委員 児童委員	健康づく り推進員	
1 箕輪区	ふれあいサロン「きずな」	沼風苑	1 (1)	1 1 (7)	
2 五條谷区			1 (1)		
3 大井区		大井青年館	6 (6)		
		エリカ集会所			
4 大島田区	大島田青年館	2 (2)	主任児童委員 3 (1)	食生活推進員 0 (0)	

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

町会・自治会・区等		特色ある活動	
名 称	内 容		
1 箕輪区	箕輪区（箕輪）	子安講、輪友会（40代～50代男性）のぞみの会（40代～50台女性）	
	箕輪区（小野塚台）	納涼大会	
2 五條谷区	11日講、17日講、子安講（ひまわり）、貯金会		
3 大井区	納涼盆踊り大会（女性の会が協力）、花の会（エリカ）、井堀内さくらの会2/月（集会所掃除）、盆栽会		
4 大島田区	おこもり（毎月末）		

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位の活動を示したものです。

※民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、（ ）内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

〈育〉子育てサロン・自主育児サークル等

名 称	会 場
子安講	箕輪区民館、五條谷不動堂

〈母と子の集い〉母と子の集い（地区内全域）

名 称	会 場
母と子の集い	沼南保健相談センター

〈障がいの者（児）に関する活動〉障がいの者（児）に関する活動

名 称	会 場

〈その他〉その他

名 称	活動内容
青少年相談員	児童健全育成
健康づくり推進員	ウォーキング世界一周旅行、ウォーキングクラブ
手賀沼清掃ボランティア	八手の会
おやじの会	風早北部小、大津ヶ丘二小
女性の会	
沼風の友	沼風苑でのボランティア
しらさぎ会	施設訪問、日舞、ボランティア

# 風早南部地区計画書

## 風早南部地区データ

	人口データ	
	平成17年4月1日現在	
	風早南部地区	柏市全域
人口(人)	8,478	376,018
世帯数(世帯)	2,470	129,680
4歳以下人口(人)	382	16,713
4歳以下人口比率(%)	4.5	4.4
14歳以下人口(人)	1,152	51,823
14歳以下人口比率(%)	13.6	13.8
65歳以上人口(人)	1,084	58,342
高齢化率(%)	12.8	15.5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 風早南部地区社会福祉協議会の概要

平成16年度実績

事務所	会長宅
役員数	7名
運営委員数	委員33名
部会等	広報部会、事業部会
主な活動	広報紙発行、ふれあいサロン、地区懇談会、視察研修、バス遠足、生涯学習ボランティアフェスティバル参加、講座・研修会、地域清掃活動（学校主催事業への参加）、見守り活動

### 〇〇地区ふるさと協議会の概要

平成16年度実績

事務所	—
役員・運営委員数	—
専門部	—
主な活動	—

※平成18年2月27日に風早南部地域ふるさと協議会設置

## 風早南部地区懇談会の様子



## 風早南部地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 17 年 7 月 9 日（土） 15:00～16:30	第 1 回懇談会打ち合せ	9	1	0
第 1 回懇談会	平成 17 年 8 月 6 日（土） 13:30～15:30	現状の把握と課題の発見	8	2	3
第 2 回懇談会	平成 17 年 9 月 3 日（土） 13:30～16:30	課題に対する解決方法	19	4	2
第 3 回懇談会	平成 17 年 9 月 17 日（土） 13:30～16:30	今後の地域活動に向けて	13	2	1
確 認 会 議	平成 18 年 1 月 28 日（土） 13:30～15:00	地区計画（案）確認	8	1	1

■会議及び懇談会開催数／全5回開催

■参加延べ人数／地域延べ57名／市社協職員延べ10名／行政職員延べ7名

■会場は、打ち合せから第3回まで沼南社会福祉センター、確認会議は、藤ヶ谷区民館

風早南部地区計画

風早南部地区 地域健康福祉活動

① 住民主体の地域づくり  
を目指して

★町会の魅力を積極的に広報すると共に、各種イベントなどの企画の見直しや新たな交流機会をつくり、隣近所のコミュニケーションづくりに努める。また、学校や福祉施設などとの連携を深め、地域ぐるみで、助けあい支えあい意識の醸成を図る。

よりよい連携の中での  
活動を目指して

③

★地域と学校の連携による環境美化活動の展開。  
★地域ぐるみの防犯パトロールの実施。  
★地域と学校の連携による世代間交流の推進。  
★区と地区社協、福祉施設の連携による健康福祉の推進。  
★民生委員・児童委員(主任児童委員)と柏市民健康づくり推進員による事業協力と連携強化。  
★子ども会の見直しによる区(町会)活動への若い世代の加入促進。

重点目標

☆世代間交流の場づくり。  
☆何かあった時に助け合える環境づくり。  
☆高齢者との話し合える場づくり。

② 活動上の悩みの  
解決方法

★地域福祉推進役のリーダーは、区長に指名してもらう。  
★負担増が原因と思える担い手不足の解消のため、一人一役など役割を分散する。また、区からの選任や報酬制の導入も検討する。  
★一般的な受益者負担の考え方があるものの、地域住民全体を対象とする健康福祉活動については、その活性化を図るため、行政施設や備品、また「いこい号」の使用についても無料化を要望する。  
★見守り活動などによる地域の支え合いを推進するため、個人情報の保護ができる新たなしくみを行政が整備し、対象者名簿を関係者に配布する。また、地域においては、区の回覧やロコミなどにより、情報提供の機会拡充を積極的に推進する。  
★少子高齢化による地域全体の健康福祉活動の重要性が増す中で、区と地区社協の人的交流をすすめて、連携を強化する。

安心して住み続けられる  
地区を目指して

④

★若い人や転入者に対し、区の活動への参加を促すしくみづくりが必要。  
★ふれあいサロンや地区懇談会(交流会)など、身近な催しへの声かけをきっかけに、助けあい支えあいの気持ちを育むような取り組みが必要。

柏市社会福祉協議会・柏市

## 風早南部地区懇談会のまとめ

①

### 住民主体の地域づくりを目指して

#### 現状

◇協調性の高い住民が居住するまとまりのある地区。また、転入者との意思疎通が苦手な住民も一部に残るものの、交流機会を積極的にすすめてきたことで、安定したコミュニティが形成されている。

#### 理想

◇区（町会）活動を理解し、助けあい・支えあいの心を持った住民。

#### 理想に向けて

★町会の魅力を積極的に広報すると共に、各種イベントなどの企画の見直しや新たな交流機会をつくり、隣近所のコミュニケーションづくりに努める。また、学校や福祉施設などとの連携を深め、地域ぐるみで、助けあい支えあい意識の醸成を図る。

②

### 活動上の悩みの解決方法

#### 活動上の課題

◇活動の担い手が不足している。活動内容は、個人情報保護をはじめ、拠点施設やバスの利用制限など、複雑多様な問題から活動がスムーズに出来ない状況にある。

#### 解決方法

★地域福祉推進役のリーダーは、区長に指名してもらう。  
 ★負担増が原因と思える担い手不足の解消のため、一人一役など役割を分散する。また、区からの選任や報酬制の導入も検討する。  
 ★一般的な受益者負担の考え方はあるものの、地域住民全体を対象とする健康福祉活動については、その活性化を図るため、行政施設や備品、また「いこい号」の使用についても無料化を要望する。  
 ★見守り活動などによる地域の支え合いを推進するため、個人情報の保護ができる新たなしくみを行政が整備し、対象者名簿を関係者に配布する。また、地域においては、区の回覧やロコミなどにより、情報提供の機会拡充を積極的に推進する。  
 ★少子高齢化による地域全体の健康福祉活動の重要性が増す中で、区と地区社協の人的交流をすすめる、連携を強化する。

③

### よりよい連携の中での活動を目指して

#### 現状

◇地区社協や区を中心に、学校や地域ボランティア団体が連携し、さまざまな事業を展開している。

#### よりよい連携関係に向けて

★地域と学校の連携による環境美化活動の展開。  
 ★地域ぐるみの防犯パトロールの実施。  
 ★地域と学校の連携による世代間交流の推進。  
 ★区と地区社協、福祉施設の連携による健康福祉の推進。  
 ★民生委員・児童委員(主任児童委員)と柏市民健康づくり推進員による事業協力と連携強化。  
 ★子ども会の見直しによる区（町会）活動への若い世代の加入促進。

④

### 安心して住み続けられる地区を目指して

#### 現状

◇【良いところ】義理人情に厚く、実直で地域行事に協力的な住民が多く、地域を安定したものにしている。  
 ◇【問題なところ】地域活動に若い人たちの意見が反映されにくい土壌がある。また、参加のしくみもない。

#### これからの地区に向けて

★若い人や転入者に対し、区の活動への参加を促すしくみづくりが必要。  
 ★ふれあいサロンや地区懇談会（交流会）など、身近な催しへの声かけをきっかけに、助けあいや支えあいの気持ちを育むような取り組みが必要。

風早南部地区活動マップ その1

地図記号一覧

数字…町会・自治会・区等

⊗…老人クラブ・老人会

⊙…子ども会・親子会

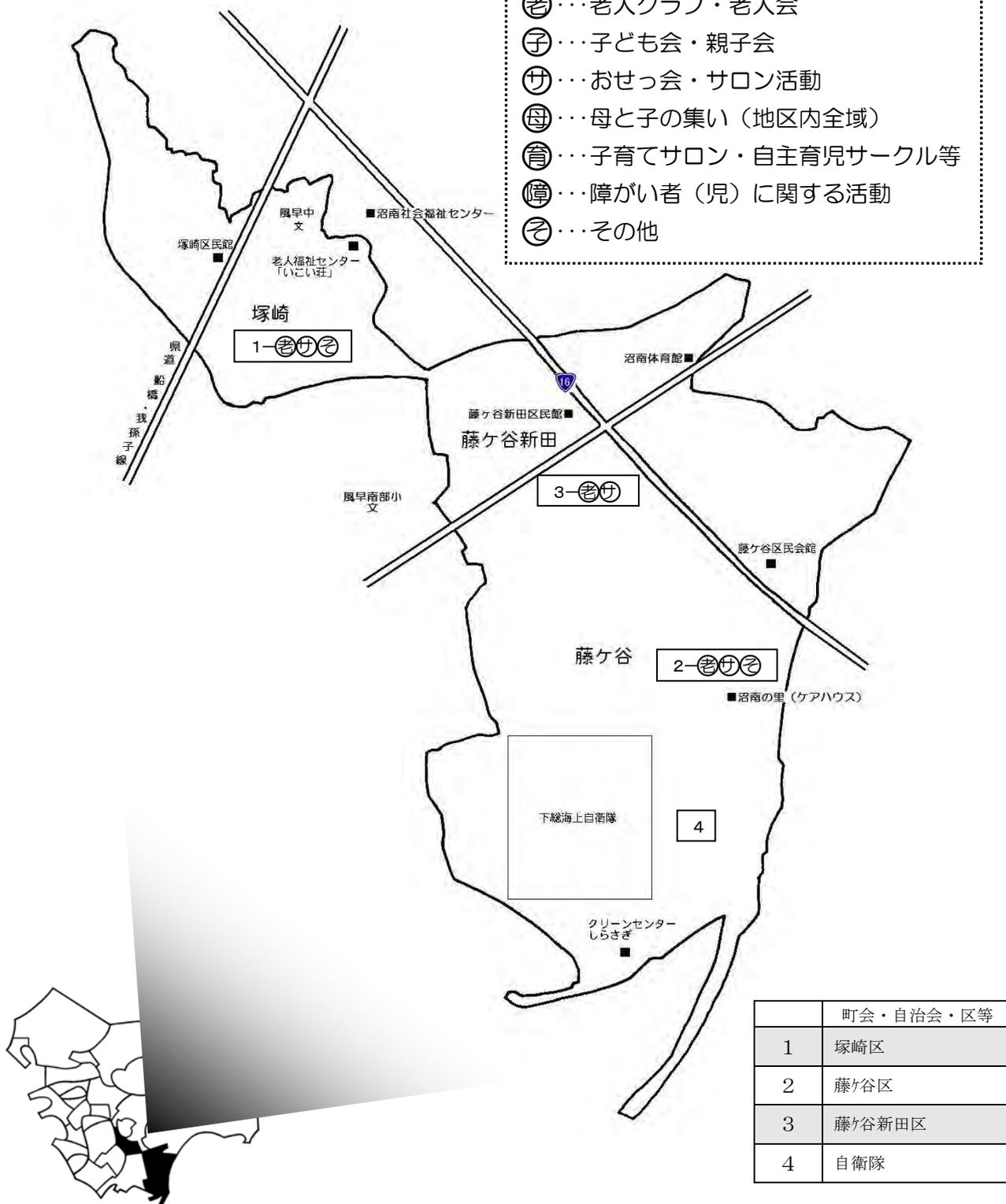
⊕…おせっ会・サロン活動

⊗…母と子の集い（地区内全域）

⊗…子育てサロン・自主育児サークル等

⊗…障がい者（児）に関する活動

⊗…その他



風早南部地区活動マップ その2

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

〈数字〉町会・自治会・区等		〈㊟〉老人クラブ・老人会		〈㊟〉女性の会	
	名 称	総世帯数(加入世帯)	名 称	会員数	有無
1	塚崎区	1,124(1,110)	塚崎あけぼの老人クラブ	39	○
2	藤ヶ谷区	488(488)	藤ヶ谷老人会	34	○
3	藤ヶ谷新田区	158(153)	宮後会	51	
4	自衛隊	700(700)			

■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

町会・自治会・区等		〈㊟〉おせっかい・サロン活動		制度ボランティア	
	名 称	名 称	会 場	民生委員 児童委員	健康づく り推進員
1	塚崎区	塚崎ふれあいサロン	塚崎区民館	5 (5)	
2	藤ヶ谷区	藤ヶ谷ふれあいサロン	藤ヶ谷公民館	3 (3)	8 (1)
3	藤ヶ谷新田区	藤ヶ谷新田ふれあいサロン	藤ヶ谷新田青年館	1 (1)	
4	自衛隊			0 (0)	0 (0)
				主任児童委員 3 (0)	食生活推進員 0 (0)

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位に活動を示したものです。

※民生委員・児童委員（主任児童委員）、柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、（ ）内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

〈㊟〉子育てサロン・自主育児サークル等

名 称	会 場

〈㊟〉母と子の集い（地区内全域）

名 称	会 場

〈㊟〉障がい者（児）に関する活動

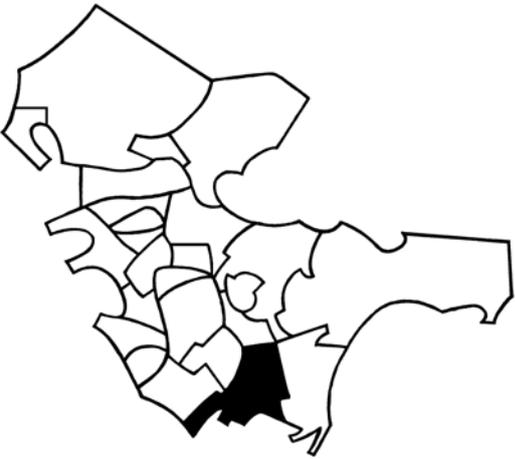
名 称	会 場

〈㊟〉その他

名 称	会 場
婦人自衛消防隊活動	藤ヶ谷新田区公認
防犯パトロール活動	風早南部小学校区
子安講	地区集会場（地区別若手女性の会）
さわかや会	藤ヶ谷新田区民会館（女性有志と高齢者の会）
藤友会活動	藤ヶ谷区民館（農家の女性の会）
なかよし会	塚崎区の高齢者のあつまり会

# 高柳地区計画書

## 高柳地区データ

	人口データ	
	平成17年4月1日現在	
	高柳地区	柏市全域
人口(人)	16,031	376,018
世帯数(世帯)	5,137	129,680
4歳以下人口(人)	856	16,713
4歳以下人口比率(%)	5.3	4.4
14歳以下人口(人)	2,625	51,823
14歳以下人口比率(%)	16.4	13.8
65歳以上人口(人)	2,074	58,342
高齢化率(%)	12.9	15.5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 高柳地区社会福祉協議会の概要

平成16年度実績

事務所	高柳地域活動室(児童センター内)
役員数	13名
運営委員数	委員38名 福祉委員41名
委員会等	総務委員会、広報委員会、在宅委員会、ボランティア委員会、福祉委員会
主な活動	拠点活動、異年齢交流事業、研修会、福祉あゆみ教室、福祉講座、ふれあいサロン、ストレッチ講座、見守り活動

### 〇〇ふるさと協議会の概要

平成16年度実績

事務所	—
役員・運営委員数	—
専門部	—
主な活動	—

※平成18年2月27日に風早南部地域ふるさと協議会設置

## 高柳地区懇談会の様子



## 高柳地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 17 年 7 月 13 日 (水) 13:30～14:30	第 1 回懇談会打ち合せ	3	1	0
第 1 回懇談会	平成 17 年 8 月 6 日 (土) 9:30～12:00	現状の把握と課題の発見	13	2	3
第 2 回懇談会	平成 17 年 10 月 1 日 (土) 13:00～15:00	課題に対する解決方法	19	3	2
第 3 回懇談会	平成 17 年 12 月 3 日 (土) 13:00～15:30	今後の地域活動に向けて	21	3	3
確 認 会 議	平成 18 年 1 月 28 日 (土) 12:30～14:45	地区計画（案）確認	9	2	2

■会議及び懇談会開催数／全5回開催

■参加延べ人数／地域延べ65名／市社協職員延べ11名／行政職員延べ10名

■会場は高柳地域活動室1回、高柳区民会館3回、高柳近隣センター1回

高柳地区計画

高柳地区 地域健康福祉活動

**① 住民主体の地域づくりを目指して**

- ★世代を超えた住民同士が、コミュニケーションをとれる場を設ける。
- ★防犯・交通安全活動等を通じ、あいさつ運動ができる環境をつくる。

**② よりよい連携の中での活動を目指して**

- ★個々の団体が活動をオープンにし、情報を共有化できるしくみをつくり連携を図る。
- ★地域での文化を継承させるため、活動主体が門戸を開く。また異世代との交流を図り、新しい世代が活躍できる場をつくる。
- ★「安全」をキーワードに、地域と学校の連携を強化し、若い世代の親とつながりを持つ。

重点目標

- ★今ある活動を大切にしながら、団体・個人が交流を持ち、会話のできる地域づくり。
- ★孤立傾向にある住民に対し、周囲の目配り、気配り、見守り意識を福祉活動関係者からはじめ、地域のネットワークを広げていく。
- ★子供へのサポート活動（登下校等の児童の見守り・子供会との連携）。
- ★行政に頼らないで活動できる体制づくり⇒団体の連携。

**③ 活動上の悩みの解決方法**

- ★誰もが参加しやすく、若い世代がリーダーとして、また継続して活動が行えるような体制をつくる。
- ★良い組織体制をつくるには、より専任で、各自が適材適所の役割り分担で活動できるしくみが必要。

**④ 安心して住み続けられる地区を目指して**

- ★情報の共有化や意見交換を図れる場を設け、地域ネットワークの充実を図る。
- ★活動の押しつけではなく、活動の選択肢を広げ、いろいろな人が参加できる環境をつくる。
- ★地域での子供への目を増やし、それが高齢者の楽しみ、生きがいにつながるような事業を展開する。

柏市社会福祉協議会・柏市

## 高柳地区懇談会のまとめ

①

### 住民主体の地域づくり を目指して

#### 現状

◇若い世代の住民人口が急増している一方で地元の若者は地域から離れていく。世代の違いから、考え方や習慣も違い、一体となり行事に参加できる環境が作りにくい。高齢化も進み助けあい活動が難しい。

#### 理想

◇地域がひとつの大家族であり、互いを気づかい、見守り活動が自然と行えるようなネットワークのある地域住民。

#### 理想に向けて

- ★世代を超えた住民同士が、コミュニケーションをとれる場を設ける。
- ★防犯・交通安全活動等を通じ、あいさつ運動ができる環境をつくる。

③

### 活動上の悩みの 解決方法

#### 活動上の課題

◇リーダーや活動の担い手不足である。役員が固定され、一人何役もの役をこなし、個人の負担が大きい。また、個人情報保護法の問題から、見守り活動に支障があり、活動しにくい状況である。

#### 解決方法

- ★誰もが参加しやすく、若い世代がリーダーとして、また継続して活動が行えるような体制をつくる。
- ★良い組織体制をつくるには、より専任で、各自が適材適所の役割分担で活動できるしくみが必要。

②

### よりよい連携の中での 活動を目指して

#### 現状

◇地域では、学校や児童を中心とした事業から、必要に応じ団体間の連携は図られている。しかし全体的な相互連携を図る機会は充分とはいえない。

#### よりよい連携関係に向けて

- ★個々の団体が活動をオープンにし、情報を共有化できるしくみをつくり連携を図る。
- ★地域での文化を継承させるため、活動主体が門戸を開く。また異世代との交流を図り、新しい世代が活躍できる場をつくる。
- ★「安全」をキーワードに、地域と学校の連携を強化し、若い世代の親とつながりを持つ。

④

### 安心して住み続けられる 地区を目指して

#### 現状

◇緑も多く伝統文化のある地域である。ボランティア活動も非常に活発であり、特に児童に対しては地域全体が目をつけている。反面高齢者に対する活動が比較的少なく、ボランティア団体同士の連携、また世代を超えた住民間の関係が希薄。

#### これからの地区に向けて

- ★情報の共有化や意見交換を図れる場を設け、地域ネットワークの充実を図る。
- ★活動の押しつけではなく、活動の選択肢を広げ、いろいろな人が参加できる環境をつくる。
- ★地域での子供への目を増やし、それが高齢者の楽しみ、生きがいにつながるような事業を展開する。

# 高柳地区活動マップ

その1

## 地図記号一覧

数字・・・町会・自治会・区等

⊖・・・老人クラブ・老人会

⊕・・・子ども会・親子会

⊗・・・おせっ会・サロン活動

⊙・・・母と子の集い（地区内全域）

⊚・・・子育てサロン・自主育児サークル等

⊛・・・障がい者（児）に関する活動

⊜・・・その他



みんな集まれ柳の木・おやじの会  
⇒ 地域全体の活動



○ 防犯パトロール・消防団  
○ スクールガード  
○ 交通安全推進隊  
○ TCN  
⇒ 各地区に設置されている



	町会・自治会・区等
1	高柳区
2	中ノ牧自治会
3	しいの木台区

# 高柳地区活動マップ

# その2

## ■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

〈数字〉町会・自治会・区等			〈㊟〉老人クラブ・老人会		〈㊤〉子ども会・親子会	
	名 称	総世帯数(加入世帯)	クラブ名	会員数	名 称	会員数
1	高柳区	3,067(2,823)	高柳高友会	62		
2	中ノ牧自治会	320(320)	東映老友会	34		
3	しいの木台区	1,750(1,500)	しいの木台クラブ	55	日の出子供会	54
			若葉会	40		

## ■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

町会・自治会・区等		〈㊤〉おせっ会・サロン活動		制度ボランティア	
	名 称	名 称	会 場	民生委員 児童委員	健康づく り推進員
1	高柳区	ふれあいサロン	高柳近隣センター	13(13)	8(7)
2	中ノ牧自治会		高南台集会所		
3	しいの木台区	ふれあいサロン	しいの木台会館	5(5)	コミュニティア
				主任児童委員	食生活推進員
				1(1)	0(0)

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位の活動を示したものです。

※民生委員・児童委員（主任児童委員）・柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、（ ）内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

## ■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

### 〈㊤〉子育てサロン・自主育児サークル等

名 称	会 場
双子サークル	しいの木台会館

### 〈㊤〉母と子の集い（地区内全域）

名 称	会 場
母と子の集い	高柳近隣センター

### 〈㊤〉障がい者（児）に関する活動

名 称	会 場
あしたば工房	わかたけ社会センター

### 〈㊤〉その他

名 称	会 場
陽だまりの会	在宅介護支援センター「そよ風」
みんな集まれ柳の木	地域全般
おやじの会	地域全般
ラジオ体操の会	しいの木公園
防犯パトロール	各地区にて活動
スクールガード	各地区にて活動
交通安全推進隊	各地区にて活動
T C N	各地区にて活動

## ■伝統行事に関する活動

名 称
高柳香取神社の祭礼・御奉射祭り(オビシヤ)
大杉様信仰の保存
東葛印旛大師巡拝の参加

# 手賀地区計画書

## 手賀地区データ

	人口データ	
	平成 17 年 4 月 1 日現在	
	手賀地区	柏市全域
人 口(人)	5, 0 5 2	3 7 6, 0 1 8
世 帯 数(世帯)	1, 0 9 5	1 2 9, 6 8 0
4 歳以下人口(人)	1 3 5	1 6, 7 1 3
4歳以下人口比率(%)	2. 7	4. 4
14 歳以下人口(人)	5 6 0	5 1, 8 2 3
14歳以下人口比率(%)	1 1. 1	1 3. 8
65 歳以上人口(人)	1, 1 0 5	5 8, 3 4 2
高 齢 化 率(%)	2 1. 9	1 5. 5

※上記データは、柏市社協の独自データです。

## 地区社会福祉協議会とふるさと協議会の活動

### 手賀地区社会福祉協議会の概要

平成 16 年度実績

事 務 所	沼南社会福祉センター地域活動推進室
役 員 数	1 1 名
運営委員数	委員 3 0 名 福祉委員 2 4 名
部 会 等	広報部会
主な活動	ふれあいの会、視察研修、広報紙発行、福祉まつり参加、アネシス盆踊り参加、大津ヶ丘ふるさとまつり参加

### 〇〇ふるさと協議会の概要

平成 16 年度実績

事 務 所	—
役員・運営委員数	—
専 門 部	—
主な活動	—

※ふるさと協議会：未設置

## 手賀地区懇談会の様子



## 手賀地区計画策定までの経過

	期 日	内 容	参加人数		
			地 域	市社協	行 政
打 ち 合 せ	平成 17 年 8 月 26 日 (金) 20:30~21:00	第 1 回懇談会打ち合せ	2	1	0
第 1 回懇談会	平成 17 年 9 月 28 日 (水) 19:00~21:00	現状の把握と課題の発見	10	3	2
第 2 回懇談会	平成 17 年 10 月 25 日 (火) 19:00~22:00	課題に対する解決方法	26	5	2
第 3 回懇談会	平成 17 年 11 月 22 日 (火) 19:00~21:30	今後の地域活動に向けて	25	5	1
確 認 会 議	平成 18 年 2 月 21 日 (火) 19:00~20:15	地区計画 (案) 確認	7	1	2

■会議及び懇談会開催数／全5回開催

■参加延べ人数／地域延べ70名／市社協職員延べ15名／行政職員延べ7名

■会場はいずれも、手賀公民館（手賀構造改善センター）

手賀地区計画

手賀地区 地域健康福祉活動

① 住民主体の地域づくり  
を目指して

- ★若い世代も参加した懇談や地域別、世代別の井戸端会議の機会をつくる。
- ★歩いて行ける距離にお茶飲みできるふれあいサロンなどの場をつくる。
- ★知らせあい、誘いあい、支えあいの精神をもちながら、何事にも楽しく活動を行う。

よりよい連携の中での  
活動を目指して

②

- ★区（長・役員）、学校（先生、PTA、評議員）、民生委員・児童委員（主任児童委員）、老人クラブ、福祉委員、福祉団体・施設職員、行政職員、その他（個人や団体）が話し合う機会、情報交換や意見交換ができる場「懇談会」を定期的に行う。
- ★区を越えた交流の場、活動の場をつくる。

重点目標

- ☆知らせあい、誘いあい、支えあい精神の啓発及び活動の展開。
- ☆地域の拠点整備（確保）。
- ☆住民が話し合う場、懇談する場の設定。
- ☆健康づくり、介護予防につながる取り組み。
- ☆幅広い世代間が交流できる取り組み。

③ 活動上の悩みの  
解決方法

- ★リーダーは、仕事を分散できるよう調整会議を行い、PTA等の若い世代にも参加してもらい、悩みや解決策と一緒に考えていく場を設け、担い手の裾野を広げる。
- ★地域の情報や趣味活動ができるようなふれあいサロンを展開し、地域連帯感を図る。
- ★地域の活動拠点をつくる。まずはどんぐりの家が利用しやすくなるよう関係機関に働きかけていく。
- ★市社協職員が地域にでられるよう要望する。

安心して住み続けられる  
地区を目指して

④

- ★協調性、顔見知りが多い関係を維持していく取り組み。
- ★伝統行事に多くの住民が触れさせる機会をつくる。
- ★同世代及び世代間が交流できる取り組み、しくみづくりを行い、全住民が区会に加入する取り組み。
- ★不法投棄や空き巣防止のため、荒地をつくらないようにする取り組み。

柏市社会福祉協議会・柏市

## 手賀地区懇談会のまとめ

1

### 住民主体の地域づくりを目指して

#### 現状

- ◇この地域は農村が多く、作業の機械化・自動化により近隣の助けあいの土壌がなくなってきた。近所の助けあいが希薄な傾向。
- ◇共同生活が出来ない世代が多くなり、個人主義・利己主義になってきている。

#### 理想

- ◇“結い”の制度が生き続け、高齢者及び障害者等が家に閉じこもることなく声のかけあいがあり、地域活動への参加協力ができている地域。

#### 理想に向けて

- ★若い世代も参加した懇談や地域別、世代別の井戸端会議の機会をつくる
- ★歩いて行ける距離にお茶のみできるふれあいサロンなどの場をつくる。
- ★知らせあい、誘いあい、支えあいの精神をもちながら、何事にも楽しく活動を行っていく。

3

### 活動上の悩みの解決方法

#### 活動上の課題

- ◇地域のリーダーや担い手となる後継者がいない。今後、地区社協の委員や事務を担ってくれるか心配である。
- ◇噂話や陰口等の世間話を好む人が多いようで、それが気がかりで地域活動がやりにくい。

#### 解決方法

- ★リーダーは、仕事を分散できるよう調整会議を行い、悩みを共有しあう。
- ★PTA等の若い世代にも参加してもらい、悩みや解決策と一緒に考えていく場を設け、担い手の裾野を広げる。
- ★地域の情報や趣味活動ができるようなふれあいサロンを展開し、地域連帯感を図る。
- ★地域の活動拠点をつくる。まずはどんぐりの家が利用しやすくなるよう関係機関に働きかけていく。
- ★市社協職員が地域にでられるよう要望する。関係機関に働きかけていく。

2

### よりよい連携の中での活動を目指して

#### 現状

- ◇区を中心とした各種団体、委員、学校関係、施設等と相互に連携しあいながら地域の活動に取り組んでいる。
- ◇個々には、情報交換、協力関係ができていて、それぞれが連携している。

#### よりよい連携関係に向けて

- ★区（長・役員）、学校（先生、PTA、評議員）、民生委員・児童委員（主任児童委員）、老人クラブ、福祉委員、福祉団体・施設職員、行政職員、その他（団体や個人）が話し合う機会、情報交換や意見交換ができる場「懇談会」を定期的に行っていく。
- ★区を越えた交流の場、活動の場をつくる。

4

### 安心して住み続けられる地区を目指して

#### 現状

- 【良いところ】
- ◇協力してくれる住民が多い。協調性がある地域。
- 【問題なところ】
- ◇不法投棄が多い。空き巣、農作物の盗難などの犯罪が多い。
- ◇交通の便が悪く外出がままならない人の生活が心配である。
- ◇未婚者が多い。

#### これからの地区に向けて

- ★協調性、顔見知りが多い関係を維持していく取り組み。
- ★伝統行事に多くの住民が触れさせる機会をつくる。
- ★同世代及び世代間が交流できる取り組み、しくみづくりを行い、全住民が区会に加入する取り組み。
- ★不法投棄や空き巣防止のため、荒地をつくらないようにする取り組み。

手賀地区活動マップ

その1

地図記号一覧

数字・・・町会・自治会・区等

⊖・・・老人クラブ・老人会

⊕・・・子ども会・親子会

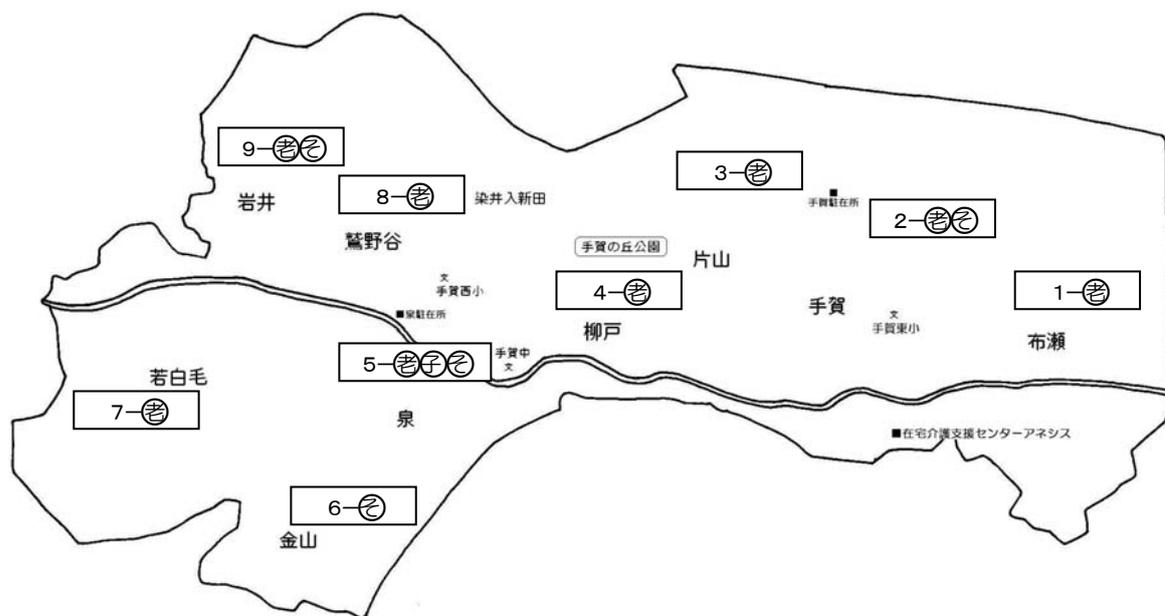
サ・・・おせっ会・サロン活動

母・・・母と子の集い（地区内全域）

育・・・子育てサロン・自主育児サークル等

障・・・障がい児（者）に関する活動

その他



	町会・自治会名・区等
1	布瀬区
2	手賀区
3	片山区
4	柳戸区
5	泉区
6	金山区
7	若白毛区
8	鷺野谷区
9	岩井区

# 手賀地区活動マップ

# その2

## ■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数

	《数字》町会・自治会・区等		《㊟》老人クラブ・老人会		《㊦》子ども会・親子会		《㊧》その他	
	名称	総世帯数(加入世帯)	クラブ名	会員数	名称	会員数	名称	
1	布瀬区	162 (162)	布瀬老人クラブ	96				
2	手賀区	192 (191)	手賀第1長寿会 手賀第2長寿会	46 54			花つばき会（若老会） 交通安全推進隊	
3	片山区	87 (87)	片山老人クラブ	51				
4	柳戸区	64 (60)	柳戸柳和会	31				
5	泉区	223 (217)	泉老人クラブ	61	泉子ども会	38	出前DEサロン	
6	金山区	48 (48)					お茶のみ会	
7	若白毛区	140 (120)	若白毛老人クラブ	36				
8	鷺野谷区	102 (99)	鷺野谷老人クラブ	32				
9	岩井区	77 (60)	岩井老人クラブ	30			花つばき会（若老会） 子どもお泊り会（子安講）	

## ■町会・自治会・区等単位の活動と制度ボランティア数（つづき）

	町会・自治会・区等			《㊦》おせつ会・サロン活動		制度ボランティア	
	名称	名称	会場	民生委員 児童委員	健康づく り推進員		
1	布瀬区			1 (1)	7 (0)		
2	手賀区			1 (1)			
3	片山区			1 (1)			
4	柳戸区			1 (1)			
5	泉区			1 (1)			
6	金山区			1 (1)			
7	若白毛区			1 (1)			
8	鷺野谷区			1 (1)			
9	岩井区			1 (1)			
				主任児童委員 3 (1)	食生活推進員 0 (0)		

※上記のデータは、町会・自治会・区等エリア単位の活動を示したものです。  
 ※民生委員・児童委員（主任児童委員）・柏市民健康づくり推進員の人数は、当該町会・自治会・区等を担当している人数を示し、（ ）内は、町会・自治会・区等より推薦された人数です。

## ■地区内で行われている活動（上記に記載されていない町会等の単位の活動を含む）

### 《㊦》子育てサロン・自主育児サークル等

名称	会場

### 《㊦》母と子の集い（地区内全域）

名称	会場
母と子の集い	沼南保健センター（マップ外）

### 《㊦》障がい者（児）に関する活動

名称	会場

### 《㊧》その他

名称	会場
各老人クラブ	（内容）地域の清掃・草取り等、ふれあい弁当を活用した食事会
エコウォーク in 手賀（実行委員会）	（内容）環境改善・保全活動 （会場）手賀中学校及び各会場（全域）

## ■地区内の主な伝統行事

名称	場所（地域）	名称	場所（地域）	名称	場所（地域）
手賀囃子	大杉神社（手賀、泉）	初午	稲荷神社（手賀）	十九夜講	（鷺野谷、泉）
八日講	片山青年館（片山）	天道念仏	（手賀、片山、岩井）	御岳講	（片山、岩井）
天神講	龍泉院（片山、手賀、泉）	送り大師	<巡拝>（全域）	古峰講	（片山、泉、金山、手賀）
田の神講	泉青年館（泉）	若白毛囃子	若白毛八坂神社（若白毛）	大杉ばやし	（布瀬、片山、金山）
子安講	（手賀、片山、泉、若白毛、岩井）	手賀アンバ様（大杉様）	八幡神社（手賀）	鳥びしゃ	鷺野谷星神社、泉妙見社（鷺野谷、泉）
奥州講	（金山、岩井）	川施餓鬼	片山地先手賀沼べり（片山、岩井）	梅花講	（泉）
庚申講	（手賀、片山、柳戸、泉）	妙見講	（片山）		

※地域により子安講と十九夜講は同じ呼称

柏市社会福祉協議会・柏市